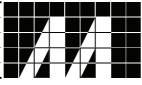
鳥取家畜保健衛生所検査棟増築工事(建築)

No.	図面名称	Scale	No.	図面名称	Scale
	表紙 図面リスト				
A - 0 1	木造建築工事特記仕様書(1)		S-01	木造構造関係共通事項(その1)	
A-02	木造建築工事特記仕様書(2)		S-02	木造構造関係共通事項(その2)	
A-03	木造建築工事特記仕様書(3)		S-03	木工事・軸組構法工事 補足特記仕様書(その1)	
A - 0 4	木造建築工事特記仕様書(4)		S-04	木工事・軸組構法工事 補足特記仕様書(その2)	
A-05	木造建築工事特記仕様書(5)		S-05	地盤改良特記仕様書	
A-06	配置図 附近見取図	1/300	S-06	基礎伏図、基礎リスト	1/100、1/20
A — 0 7	仕上表		S-07	構造伏図(1)	1/100
A - 0 8	敷地求積図 家畜焼却施設求積図	1/300、1/100	S-08	構造伏図(2)	1/100
A-09	床面積求積図 改修前平面図	1/200、1/100	S-09	軸組図(1)	1/100
A — 1 0	改修後平面図	1/30、1/100	S-10	軸組図(2)	1/100
A – 1 1	立面図 断面図	1/100			
A-12	立面図 [改修前・後]	1/100			
A – 1 3	床伏図 天井伏図	1/100			
A – 1 4	矩計図(1)	1/10、1/30			
A – 15	矩計図(2)	1/30			
A – 1 6	平面詳細図	1/50			
A — 1 7	展開図(1)	1/50			
A – 18	展開図(2)	1/50			
A – 1 9	展開図(3)	1/50			
A-20	展開図(4)	1/50			
A – 2 1	部分詳細図	1/50			
A-22	建具キープラン 建具表	1/100、1/50			
A-23	ユニットバス詳細図	1/20			
A-24	什器詳細図(1)	1/20			
A-25	什器詳細図(2)	1/20			
A-26	什器詳細図(3)	1/20			
A-27	什器詳細図(4)	1/20			
A-28	外構配置図 外構詳細図 [改修前]	1/100、1/5、1/20、1/100			
A-29	外構配置図 外構詳細図 [改修後]	1/100、1/5、1/20、1/100			
A-30	仮設計画図 概略工事工程表				





| (西村)

表紙 図面リスト

Scale

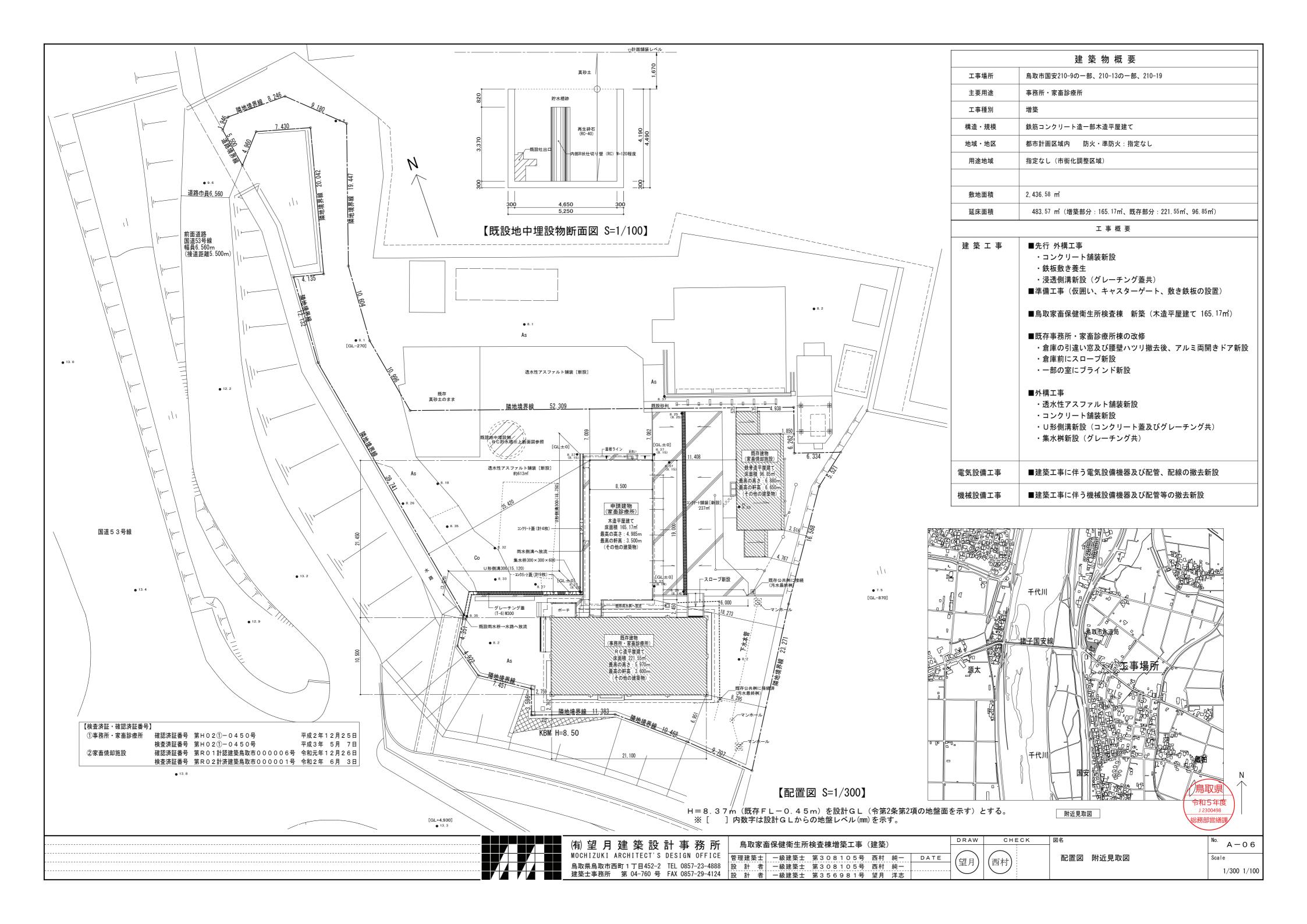
木造建築工事特記仕様書		特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設 特定建設資材廃棄物の種類 再資源化等をする施設の名称 所 在 地		《技能士名札参考図》	.	鳥取県景観形成条例	※ 対象工事 · 対象外工事
		コンクリート・ュンクリート及び鉄から成る建設資材		□ 技能士 ← 対象性の概模により色を変えることも可	.	省エネ法	※ 対象工事 · 対象外工事
I 工事概要		・ 木材 ・ アスファルト・コンクリート		職種建築大工 級別1級 一技能士の種別 技能士の級の別	•	鳥取県公共事業 環境配慮指針	※ 対象工事 · 対象外工事
1. 工事場所鳥取市国安210-9の一部、210-13の一部、210-19	○ 環境への配慮	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		LG	2 0) 足場その他	足場を設ける場合は、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版2.2.4(2)によるほか、設置 (2.2.4
2. 敷地面積2, 436. 58 ㎡		本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の 1) から 4) を満たすものとする。		勤務先 OO工務店		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	においては「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3) 手すり先行専用足場方式により行うこと
3. 地域・地区 1 都市計画区域(⊙内 (・市街化区域 ⊙市街化調整区域 ・非線引き区域) ・外)		1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、		条行 〇〇〇〇〇〇〇会 名札の発行元	仮設。		
2 用途地域等 (指定なし) 3 防火地域等 (・防火地域 ・準防火地域 ① 指定なし)		その他の木質連材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、 アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する		9.0 mm	事) 監督職員事務所	※ 設ける ㎡ ① 設けない (2.3.1 現場に常備する備品等は、監督職員の指示を受けて設置すること
4. 工事概要		「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する 2) 接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する	・施工の検査等	見本施工の実施 · 行なう (1.5.5)) 表示板	※ 工事表示板 ・ お願い表示板
1. 建物 番号 名 称 エ事種別 構 造 階数 建築面積(m²) 延べ面積(m²)		3) 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジーnーブチル及びフタル酸ジー2ーエチルヘキシル等を含有しない 難揮発性の可塑材を除く)が添加されていない材料を使用する		見本施工を行なう製品()			
1 検査棟 新築 W造 1 164.80 165.17 2 事務所・家畜診療所 改修 RC造 1 243.34 221.55		4) 1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、 アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする	① 化学物質の濃度測定	1) 測定対象室のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定 (1.5.9) し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する。)		建築工事中 地色 自 御通行中の皆様へ 地色 地色 地色 地色 地色 地色 地色
		また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外		・パラジクロロベンゼンを追加して分析を行う 測定対象室(一般検査室、精密検査室、臨床検査室)			工事名 ○○○○○ 新設工事
計 408.14 386.72		①建築基準法施行令第20条の第7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド		2) パッシブ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。			00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
2. 工作物		発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の第7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料		①30分間換気 測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む)を開放し、30分間換気する ②15時間閉鎖	5		施工者 ○○○○○離役 88 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
		ホルムアルデヒド放散量 第三種 ①建築基準法施行令第20条の第7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料		①の後、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納			
3. 外構		②建築基準法施行令第20条の第7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)に基づく環境物品等		部分の扉は開放したままとする。 ③測定			ご協力よろしくお願いします。
U形側溝、浸透側溝及び集水升 新設 透水性アスファルト舗装、コンクリート舗装 新設		の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項に留意すること。		イ ②の状態のままで測定する。 ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えな			記人委領 1. 書体は角ゴシックとする。 2. お願い表示板は平易な表現及び内容とし、
4. 造園	○ 材料の品質等	材料・機材等の品質及び性能 (1.4.2) 1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するも		い場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時~3時が測定時間帯の中央 となるよう、10時30分~18時30分までの時間帯で測定する。			監督職員が指示するものとする。
+ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		のとする		ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。 ④分析	0) 工事用水	構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)
		2) 本工事に使用する材料のうち、3) に指定する材料の製造業者等は、次の(1)~(6)の事項を満たすものとし、その証明となる資料(外部機関が発行する証明書の写し)を監督職員に提出して承諾を受け		測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。 ⑤その他) 工事用電力	構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる(※ 有償 ・ 無償)
Ⅱ 建築工事仕様		るものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること		監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受ける。) 工事用仮設物	構内既存の施設 ・ できる ○ できない
1. 共通仕様 (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「木造建築		(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (3) 安定的な供給が可能であること	○ 完成写真	下記のものを監督職員に提出する		工事現場のイメージアップ	
工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「木造標仕」という。)による。また、木造標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「標仕」とい		(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること		区 分 分類・規格 撮影箇所 部数 備 考 ※ 工事記録写真 カラーサービス判 各工種の工程毎 1部	3		
う。)による。 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事		(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること 3) 製造業者等に関する資料の提出が必要な材料		※ 完成写真 カラーサービス判 <u> </u>	±		土工事
仕様書を適用する。		床型枠用鋼製デッキプレート 現場発泡断熱材		∴ 外部 6箇所 2部・ 内部 箇所 部	<u> </u>) 埋戻し及び盛土	埋戻し土 種 別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 【3.2.3】【表3.2.1
(3) 受注者は完了検査(中間検査を含む。)の検査には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料等 (報告書等)を用意すること。		鉄骨柱下無収縮モルタル フリーアクセスフロア 無収縮グラウト材 可動間仕切		・ パネル カラー ・ 四r切 箇所 2部	地		・ 建設汚泥から再生した処理土 G C種の場合(建設発生土受入量() m3 発生場所:
2.特記仕様		乾式保護材 移動間仕切 既調合モルタル トイレブース		・ 半切 箇所 ・ 全紙 箇所	基礎		D種の場合は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験 実施要領(案)」により、六価クロム溶出試験を行う。
(1) 項目は、⊙印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。		ルーフドレイン 煙突用成形ライニング材 吸水調整材 天井点検口		・ □ ○ 電子データ又はネガの提出[工事記録写真] (○ 要 ・ 不要)	工工工		盛土 種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 【3.2.3】【表3.2.1
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。		錠前類 床点検口 グレーチング		① 電子データ又はネガの提出[完成写真] (○ 要 · 不要)	7		・ 建設汚泥から再生した処理土 [G C種の場合 (建設発生土受入量 () m3 発生場所:
(3) 特記事項に記載の()内表示番号は、木造標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。		自動扉機構 屋上緑化システム 自閉式上吊り引戸機構 トップライト	① 完成時の提出図書	下記のものを監督職員に提出する (1.7.1~2) ※ 原図A1版又はA2版(設計図の第2原図訂正不可) 1 部			D種の場合は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験 実施要領(案)」により、六価クロム溶出試験を行う。
(4) 特記事項に記載の【】は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5) ⑤印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(以下「グリーン購入法」という。)の特		重量シャッター ポリマーセメントモルタル		※ GADデータ 1 式 ※ 原図の2つ折製本 2 部			
定調達品目を示す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」(環境省のホームページから ダウンロード可能)による。		軽量シャッター 既調合目地材		※ 原図の縮小版の2つ折製本(A4版) 2 部) 建設発生土の処理	※ 郊外指示の場所に処分(3.2.5)○ 構内指定場所に敷き均し
(6) 木造標仕、標仕で「特記がなければ」以降に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改定により(条例を含む)抵触する場合には、関係法令等の遵守(1.1.13)の規定を優				- 複写 縮小版A3バラ焼 部			・構内指定場所にたい積
先する。	・特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な工法については、材料製造所の指定する工法とする。		完成図の種類及び内容 ○ 案内図・配置図・面積表 : 配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む (BMの表示)) 地業工事
	技能士	(1.5.2) 下表により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をすると共に、他の技能者) 支持地盤	· 杭基礎 [4.3.4,5] [4.5.5,6]
① 適用基準等② 建築工事標準詳細図(令和4年版)図 直土交通省大臣官房官庁営繕部監修		に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと (技能士:職業能力開発促進法による一級技能士又は単一等級の資格を有する者)					支持地盤の位置及び種類(基礎杭の先端の位置含む) ・ 図示による()・
		また、その技能士はその者が技能士であることがわかる名札を常時着用すること エ 事 種 目 技能検定職種 技 能 検 定 作 業		● 構造図 : 杭、構造躯体等を表示する○ その他 (設計図に倣う)			連続基礎 支持地盤の位置及び種類(基礎底部の位置含む)
投		仮設工事 とび ② とび作業 鉄筋工事 鉄筋施工 ② 鉄筋組立作業		※ 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付けること 提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする			 ・ 図示による()
事		コンクリート工事 型枠施工 ① 型枠工事作業		近田はた肥土自及び肥土自己自び自lfに除わる自然性別に成る使用性は、元圧自に抄破するものとする			○行わない
○ 届出手続等工事の施工に伴い必要な官公署、その他への手続き、検査並びにその費用は本工事請負者の負担とする。		コン/リート圧送施工 ② コン/リート圧送工事作業	砂 設備工事との取り合い	設備工事との取り合い 建築 電気設備 機械設備			行う位置等
- 電気保安技術者 (1.1.3)		とび ・とび作業 塗装 ・建築塗装作業		・ コンクリート壁、床等貫通部 補 強 ※ ・ ・ ・			・ 図示による()・ 原位置掘削時の根切りを試験堀とする
工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規定第5条に定める工事 担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務をおこなうものとする。		コンクリートプ ロック・エーエルシーハ フ ロック建築 ・ コンクリートプ ロック工事作業 ・ 北・押出成型セメント板工事 エーエルシーハ ネル施工 ・ エーエルシーハ ネルエ事作業		● 埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの 仮枠及び埋込部分の補強 補 強 ※ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・) 砂利地業	材 料 【4.6.2 ① 再生クラッシャラン G ・ 切込砂利及び切込砕石
・ 工事安全計画書 (1.3.3)		防水工事 防水施工 ・ 7スファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ 7クリムゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業		● 埋込形機器取付用の天井、壁の切込加工、切 込 ・ ※ ※下地の補強 ※ ・ ・ ・			砂利厚さ [4.6.3 ・ 60mm ①100mm
建築工事安全施工技術指針及び建設公衆災害防止対策要領を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する		・ 塩化に -ル糸ノー防水工事作業 ・ ゼント糸防水工事作業		○ 天井点検口 ※ ・ ○ 機器類のコンクリート基礎 屋内・屋外設置 ・ ※			● 適用場所 ・ 基礎梁下、基礎スラブ下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下
 ・ 特定建設資材の分別解体等及び再資源化等 ・ 特定建設資材の分別解体等及び再資源化等 本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事 		石工事 石材施工 ・ 石張り作業 タイル工事 タイル張り ・ タイル張り作業	① 設計GL	※図示・・			②図示による()
本工争は、付定性成員付を用いた建築物等に除る解体工争又はての爬工に付定性放員付を使用する利業工争であって、その現場が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日 法律第104号。 以下「建設リサイクル法」という。)施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の		ホエ事 建築大工 ① 大工工事作業 屋根及びとい工事 建築板金 ② 内外装板金作業	耐荷重及び耐外力	※図小・ 建築基準法に基づき定められた区分等) 捨コンクリート地業	捨コンクリート厚さ 【4.6.4 ・ 50mm ○ 30mm
工事であるため建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措		スレート施工 ・ スレート工事作業 金属工事 内装仕上施工 ・ 銅製下地工事作業	日本人の前外列	基準風速 Vo= 32 m/s			施工範囲 【6.14.1
置を講ずることとする。 エ事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、予定していた条件により難い場合は、監督職員と協		建築板金 ① 内外装板金作業		地表面粗度区分 ・ I ・ II			・ 基礎梁下、基礎スラブ下、土に接するスラブ下 ① 図示による()
議するものとする。 また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び		建具工事 サッシ施工 じょが用サッシ施工作業	・ 保全に関する資料	下記のものをJIS A4版ファイルに製本して監督職員に提出する。 (1.7.3))		設計基準強度 [6.14.1
所在地、再資源化等に要した費用を書面にて監督職員に報告する。		・ 木造用サッシ施工作業 ガラス施工		主な主要資材、機器等のメーカー及び施工者一覧表 機器性能試験成績書及び取扱説明書			
分別解体の方法 分別解体等の方法		が 53用74M施工 ・ 建築フィルム作業 木製建具施工 ○ 木製建具加工作業		○ 保証書○ 官公署届出書類(保守に必要とするもの)			· 15cm ⊙ 18cm ·
工程 作業内容 手作業、機械作業併用(範囲) ・新営工事 ・造成等の工事		自動ドア施工 ・自動ドア施工件業 カーデンウォール工事 カーデンウォール施工作業		 建築物の保守に関する説明書、指導案内書・) 床下防湿層	施工範囲 (4.6.5] (1.6.5) (2.6.5) (3.6.5)
・ 増築工事 ・ 基礎の工事 ・ (※図示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			① 火災保険等	・ エ事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害をてん補するため火災保険等に加入する。			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
・ 基準(いの工事 ・ (※図示 ・) ・ 上部構造部分の工事 ・ (※図示 ・) ・ 外装の工事 ・ (※図示 ・)		・ かへ、テルス・カーペット系床仕上工事作業(2級及びプラステック系床仕上工事作業を含む) 表装 登装作業	→ 八次体校号	工争目的物及の工争材料等工争能工造中の争成に行う損害をそれ情するにの欠災体険等に加入する。 保険の加入期限 ※工事完成引き渡しまでの間			
・ 屋根の工事・ (※図示 ・)		排水工事 配管 ・ 建築配管作業 ・ 溶解パイントマーカー工事作業 ・ 加熱パイントマーカー工事作業	・建設リサイクル法	※ 対象工事 · 対象外工事			防湿度の位置
・ 建築股備工事 ・ (※図示 ・) ・ 内装等の工事 ・ (※図示 ・)		調表	- 鳥取県福祉の	※ 対象工事 ・ 対象外工事			総務部営繕課
- その他 · (※図示 ·)			まちづくり条例				
		─────────────────────────────────────	計事務所	鳥取冢齝保健衛生所検査棟増築工事(建築) ───	RAW	CHECK	図名 No. A — O 1
		MOCHIZUKI ARCHITECT'S 自取自自取市市研11円452-2	DESIGN OFFICE 管	理建築士 一級建築士 第308105号 西村 純一 DATE	雲月) (ⅰ	西村)	木造建築工事特記仕様書(1) Scale
		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	FAX 0857-29-4124 設	計 者 一級建築士 第308105号 西村 純一 計 者 一級建築士 第356981号 望月 洋志			-

				T				
3	基礎工事	② 混和材料	○ 混和剤 [6.3.1] [6.3.2] 混和剤の種類 ・「標仕」 6.3.1(4)(a)による ・	5	製材 (5.2.2) (6.2.2) ①目視等級区分構造用製材、機械等級区分構造用製材、広葉樹製材、枠組壁工法構造用製材		・木ねじ・軟鋼線材	
土 工 ⊙ 鉄筋	【5.2.1】【表5.2.1】 規格の名称 種類の記号 使用箇所 呼び径 (mm) 備考		・ 混和材 混和剤の種類 ・ 「標仕」 6.3.1(4)(b)による ・		部位 品名 樹種 構造材の種類 等級 含水率 その他 柱 構造用製材 スギ 機械等級 E50 2級 SD15又はD15		・ 特殊ねじ ・ コースレッド ・ 真ちゅう	
地業	異形鉄筋 ※ SD295 基礎 ※ D16以下 (鉄筋コンクリート ※ SD345 ※ D19以上	○ レディーミクストコンク	[6.4.1]	法	垂木、筋かい 構造用製材 スギ SD15又はD15 梁、火打 構造用製材 スギ 機械等級 E50 SD15又はD15			
•	用棒鋼)	リート製造工場の選定	生コンクリート工場を選定する際には、JISマーク表示認定工場で、かつ、コンクリート主任技師等の 常駐と全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等から選定すること。	壁 構	土台 構造用製材 ヒノキ		○ボルト、アンカーボルト、ナット種類材質適用径表面処理、部品等級など	
礎	継手の工法 [5.3.4] [5.5.3] [5.6.3]	● 無筋コンクリート	適用箇所	道 系)			<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""></td>	
	部位 ※ ガス圧接 ・ 機械式縦手		○ 「標仕」 6.14.1(4)による箇所・ 「標仕」 6.14.1(4)以外の箇所	工事	・ 記入無き梁桁、母屋、垂木等の曲げ材のうち、見えがかり材の等級は甲種構造材2級、見え隠れ部分の		・ 全ネジ六角ポルト ・ SS400 N19 ~ N150 ・ ステンレスポルト ・ SUS304	
	・柱、梁の主筋 ・溶接継手 ・重ね継手 ・床、壁の鉄筋 ※ 重ね継手		・ 図示による() 設計基準強度 ※ 18 (N/mm2) ・ 【6.14.1】	. 6	等級は甲種構造材3級とする。その他、乙種構造材は2級とする。 ・主要構造部には機械等級区分構造用製材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない			
	○ その他の鉄筋() ○ 重ね継手 ・主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ 【5.3.4】		スランプ ① 15cm - 18cm	軸	・ 材の曲がりについては、上記に関わらず目視等級1級相当とする。・ 無等級材		※ 材質は綱、ステンレス鋼、非金属。径と長さの組み合わせは「JIS B 1180」参照。	
		・ ひび割れ誘発目地 打継目地	目地寸法 ※9. 7. 3による [6.8.1] [9.7.3] [11.1.3] 間隔 ※ 図示による ・	構	寸法、樹種、含水率及び村面の品質 ※ 図示による ・ 縦振動ヤング係数測定の対象部材 ※ 図示による ・		・座金 適用 材質 適用径 形状・表面処理 その他	
	· 継手位置図		位置 ※ 図示による ・ ひび割れ誘発目地、打雑目地の深さ寸法は、打増し厚さ部で処理する	軸	国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材 含水率 ※ 図示による		- 座金 - SPCC (JIS G 3131) - M8 ~ M24 - 角座金 - 丸座金 - SPHC (JIS G 3141) - 電気めっき	
	・ 図示による()			構 造 	● 下地用製材 樹種、等級、寸法及び含水率 ※ 図示による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
	鉄筋の定着方法 [5.3.4]	○ コンクリートの仕上り	部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 【6.2.5】【表6.2.3】	<u>で</u> エ	◆ 集成材、構造用単板積層材		※ 座金は用途ごと(引張、せん断)に下表により使い分ける。 ボルト径に対する座金の大きさ 8 10 12 16 20 24	
	・ 図示による() ・		※ 「標仕」 表6.2.3による ・	事	部位 品名 樹種 曲げヤング係数区分 材面 接着 強度等級 品質性能		引張を受けるボルト 厚さ 4.5 4.5 6 9 9 13 角座金の一辺 40 50 60 80 105 125	
	鉄筋の定着長さ 【5.3.4】		合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ [6.2.5] [6.6.6] [6.8.2] [表6.2.4] 種 別 適 用 箇 所	7	柱、梁 構造用集成材 杉 ・1級 ・2級 ・使用環境 1 ・3級 ・使用環境 2		丸座金の直径 45 60 70 90 120 140 せん断を受けるボルト 厚さ 3.2 3.2 3.2 4.5 6 6	
	・ 図示による()		・ A種 ○ B種 スローブ	件 組 壁			角座金の一辺 25 30 35 50 60 70 丸座金の直径 30 35 40 60 70 80	
● 鉄筋のかぶり厚さ	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) 【5.3.5】 【表5.3.6】		- · C種 · 図示	五 法			・ラグスクリュー、ドリフトピン、木栓及び木だぼ	
	・ 図示による() ・	○ 型枠	せき板の材料及び厚さ [6.8.2] ○ 合板 (○ 12mm ・)	事	・丸太村 樹種、寸法、含水材及び末口径 ※ 図示による		種類 材質 適用径・長さ 表面処理、その他 ・ドリフトピン(寸胴) ・ SS400 SWRM8 ~ 12 ・ 電気めっき	
	柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 無し		・ 断熱材の使用	8	縦振動ヤング係数測定の対象部材 ・ 図示による ・ 木質接着成形軸材料、木質複合軸材料、木質断熱複合パネル、木質接着複合パネル		・ドリフトピン (全ネジ) ・SS400 SWRM8 ~ 12 ・電気めっき ・ラグスクリュー ・SWRCH10R ・電気めっき	
	- ・有り 適用箇所() 最小かぶり厚さ		○ 行わない ・ 行う MCR工法用シート	丸 太 _	形状、寸法及び含水材 ※ 図示による・・		(コーチスクリューボルト) (JIS G 3507) ・ スプリットリング ・ SS400	
	- 鉄筋径の1.5倍以上 -		・ 用いる 打増し厚さ	太 組 ○ ^{構造用面材} 構	合板及びその他のボード類 (5.2.3) (6.2.3) 種類 厚さ (mm)・規格等 施工箇所 (構造材・仕上げ材の別)		・シアプレート ・電気めっき ・木栓 ・堅木	
	軽量コンクリートで土に接する部分		・ 20mm ・ 打増し範囲	法 工 車	厚さ (mm) ・ 5.5 ・ 9 ① 12 ・ 24 ② 図示 接着の程度 ① 特類 ・ 1類		・ 木だぼ ・	
	 ⊕無し • 有り 適用箇所() 		・ 図示による() ⊙ 用いない	•	等級 · 1級 ○ 2級		- 接着剤	
	・ 木造構造関係共通事項(配筋標準図)表4.1に加える厚さ ()mm ・		スリーブの材種 【表6.8.1】 ① 標準仕様書 6.9.3 (i) (2) 及び標準仕様書 表6.9.1による	9 C	繋		種類 ※ 図示による・・	
		④ 防腐・防蟻処理	・防腐・防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材 (4.2.1)	Ľ T	厚さ (mm)・ 曲げ強度区分・	○ 仕口及び継手の形状加	※ 仕口及び継手の方法は構造図による。一般的な適用慣例については、「木工事・軸組構法工事 補足	
	 ⊕無し • 有り 適用箇所() 	木造	○薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理○薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理	パーネー	パーティクルボード 接着剤区分・ 難燃性区分・ 表裏面の状態区分・		特記仕様書」 2. 軸組構法接合部標準仕様書による。	
	・ 木造構造関係共通事項(配筋標準図)表4.1に加える厚さ ()mm ・	事	○JIS K 1571に適合する表面処理用木材保存材 ・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理	ル エ 法	構造用パネル 等級 ・ 1級 ・ 2級 厚さ (mm)・ 硬質木片セメント板 G 厚さ (mm)・	・ 孔あけ加工	・ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径とする (5.4.3) (6.4.5)	
	鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く) 【5.3.5】 【図5.3.6】 ① 木造構造関係共通事項(配筋標準図)5.1(d)による		・合板等の加圧注入等による防腐・防蟻処理	エ 事	構造用せっこうボードA種 厚さ (mm)・ 構造用せっこうボードB種 厚さ (mm)・	○ 表面仕上げ	●見え掛り面の表面の仕上げ程度 (5.4.4) (6.4.6)	
	・ 図示による() ・		適用部位 防腐・防蟻処理が不要な樹種 加圧注入処理材 塗布等処理材 土台 ○ ヒノキ ○ K3 ·		せっこうボード 厚さ (mm) ① 12.5 強化せっこうボード 厚さ (mm) ・ シージングボード 厚さ (mm) ・		○機械加工 ・A種 ※B種 ・C種・手加工 ・A種 ・B種 ・C種	
○ 各部配筋	各部配筋 [5.3.7] ・ 木造構造関係共通事項(配筋標準図)による		外周柱下部 1 m ・ ・ K3 ・ ① 塗布 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		厚さ (mm)・ 材質 ・	○ アンカーボルトの設置	=	
	・ 図示による()	14 00 1-40 + 7 04 00 - \ D	その他 ・ K4 ・ 適用部位、配筋 ※ 図示による ・		せっこうラスボード 厚さ (mm) ・ 厚さ (nm) ・ 厚さ (nm) ・ 種類 ・		※ 図示による ・○アンカーボルトの保持、埋込み工法の種別・A種 ○B種	
・ 圧接完了後の試験	・ 外観試験 [5.4.10]	リートによる床下の防蟻 処理	適用部位、配筋 ※ 図示による・ (4.2.2)			(・) 接合部の工法	・A 種 ・ B 種 ・	
・ 注接元] 夜の試験	介拠 (A) (全数)	・ 地盤の土壌の防蟻処理	適用部位: ((4.2.3)		油、樹脂などの特殊処理・ 難燃性区分・ 表裏面の状態区分・	日本 技芸部の工法	・情運性を接合する到及し小ほしの性類、本数及い间隔 ※ 図示による	
		- 地盤の工場の防壌処理	瀬川郎四: (4.2.3) 薬剤及び使用量 ・		表面状態による区分 · S-RN · S-RS 構造用パーティクルボード 曲げ強さによる区分 · S18	・ 接合金物の工法	・熱橋を形成する位置に設置する接合金物への現場発泡断熱材の厚さ (5.5.8)	
	・ 「標仕」 5.4.10(f)による ・ 引張り試験	- 材料等	本工事で使用する材料については、部位別材料表による		耐水性による区分 ・ REG ・ MR1 ・ MR2 厚さ (mm) ・ 表面状態による区分 ・ RN ・ RS	・ 釘及び木ねじの工法	・部位ごとの釘の種類及び釘打ちの間隔 (5.5.9) ※ 図示による	
	試験片の採種数は、1ロットに対して(※ 3本 ・)とする 試験ロット:1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所	○ 防腐措置	床下換気 ・ ねこ土台 ◆ 換気孔		構造用ミディアムデンシティ ファイバーボード (MDF) 接着剤による区分 ・ U ・ M ・ P	• 原寸図	・ 作成する ・作成しない (6.4.2)	
	武សログド・1個の15米切が1日に17月に正按回加とする。なお、200回加と超えるとさば200回加 ごととする。 試験片を採種した箇所の処置:ガス圧接		小屋裏換気方法は木造標準仕様書4.2.4(3) ・ (a) (b) ・ (c) ・ (d) ・ (e)		厚さ (mm)・ 品名 () 作粧ばり構造用合板 厚さ (mm)・	→ ぶり囚 → 基礎天端及び柱底均し		
			換気孔の大きさ ※ 図示による ・		接着の程度 · 特類 · 1類 単板の樹種名 ()	モルタルの仕上げ	モルタルの厚さ ※ 20mm程度 柱底均しモルタルの工法 ・ A種 ※ B種	
	コンクリート工事	• 防火耐火処理等	・ 国土交通大臣の認定を受けた材料又は工法 () (4.3.1)		品名 () 接着性能 () 樹種名 ()	・ 接合金物の工法	熟橋を形成する位置に設置する接合金物の現場発泡断熱材 (6.5.9)	
コンクリートの 使用骨材による	普通コンクリートの設計基準強度 【6.2.2】【6.2.4】【表6.2.2】 設計基準強度 (N/mm2) スランプ 適 用 箇 所		防火被覆の材料及び工法 (4.3.2) ・ 防火被覆の材料 ・ 図示による ・		101年日		厚さ · mm	
種類及び強度	○ 24 ○ 18 · 15 ○ 図示 ○ 21 ○ 18 · 15 ○ スローブ、土間		・防火被覆の厚さ ・ 図示による ・ 防火被覆の留付け材の種類 ・ 図示による		保存処理・	輪型ジベル	輪型ジベル (6.6.15) 種類 材質・形状・寸法等	
	· 18 · 15 ·		・防火被覆の留付け間隔 ・ 図示による ・ 防火被覆の下地材への留付け長さ ・ 図示による ・	 接合金物・接合具等	接合金物 (5.2.4) (5.5.8~13) (6.2.4) (6.5.9~6.5.14)			
	軽量コンクリートの設計基準強度 【6.10.1】【6.10.2】【6.10.3】【表6.2.2】 設計基準強度(N/mm2) スランプ 適用箇所		・防火被覆の下地材への端あき距離 ・ 図示による ・ 防火被覆の下地材への接着剤の使用 ・ 図示による ・		種 別 材 質 表面処理 適用、形状、その他	・ 圧入型ジベル	圧入型ジベル (6.6.16) 種類 材質・形状・寸法等	
	· · · · ·		・防火被覆の目地等の処理方法 ・ 図示による ・ 柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 ・ 図示による		・ Cマーク			
	種 別 【6.2.1】【表6.2.1】		・防火被覆処理部への二次部材の取付け 防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理 ・ 図示による		・ その他の金物 ・ ・ 鋼材 ・ SS400 形状は接合詳細図による。	10 表面仕上げ	見え掛り面の表面の仕上げ 鳥取県 機械加工 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 令和5年度	
コンクリートの類別	※ I類 (JIS A 5308「レディーミクストコンクリート」に適合) ・ II類		防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・ 図示による ・			事 ○ 木材の含水率	内装及び外装の木下地、木造作及び木仕上げの材料	
気乾単位容積重量	普通コンクリート ※2.3t/m3 程度 ・ [6.2.3] 軽量コンクリート ・		燃えしろ層の工法 (4.3.3)		動及び木ねじ 種類 材質 適用径 使用箇所頭部/胴部の形状		○ A種 · B種 総務部営繕課	
○ セメント	種 類 [6.3.1] [6.13.2] [表6.3.1]		・燃えしろ層の厚さ ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理 ・図示による		○ N釘 ○ 鉄 N19 ~ N150 ・ ステンレス銅	○ 木材	木材のうち、桧、杉及び松は、「鳥取県産材産地証明制度」の認証を受けたものを使用すること。	
	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 使用部位(下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、		・接合部にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ・ 図示による ・ 燃えしろ層への二次部材の取付け		・ C N 釘 ・ 鉄 CN25 ~ CN150 耐力壁、床版、屋根 ・ B N 釘 BN25 ~ BN125		製材 (10.2.2) ・下地用針葉樹製材、造作用針葉樹製材、広葉樹製材	
	かつ28日目で402J/g以下のものとする。 ・ 高炉セメントB種 G 使用部位(1FLより下部(立上り部含む))		燃えしろ層の配管等貫通部処理 図示による 燃えしろ層への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理		・ Z N釘 ZN45 ~ ZN90 ・ G N釘 GNF25 ~ GNF125 せっこうボード用		部 位 品 名 樹 種 等級 形状 含水率 その他 針葉樹製材 スギ 2級 押角 SD20又はD20	
	・ フライアッシュセメントB種 [G] 使用部位()		・ 図示による		・ S N 釘 3. 05mm シージ ング インウュレイションファイバ ー木 ート *********************************			
○ 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 【6.3.1】 ※ A B (※コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3.0kg ³ /m以下)		不燃処理木材等 (4.3.4) ・ 図示による ・					
				計事務所	鳥取家畜保健衛生所検査棟増築工事(建築)	AW CHECK	図名 No. A — O 2	
			MOCHIZUKI ARCHITECT'S	DESIGN OFFICE	管理建築士 一級建築士 第308105号 西村 純一 DATE	月) (西村)	木造建築工事特記仕様書(2) Scale	
			■	TEL 0857-23-4888 FAX 0857-29-4124	设計者 一級建築士 第308105号 西村 純一 设計者 一級建築士 第356981号 望月 洋志		-	
				L		· · · · · ·	·	

O ^ 15/47	∆15.00 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		万様十の即位はては、 ※同二	, 751 adms			1= 7 m h t	
○ 合板等	合板等 (10.2.3) 種 類 厚さ (mm) ・ 規格等 施工箇所 (構造材・仕上げ材の別) 厚さ (mm) ⊙ 5.5 ・ 9 ・ 12 ・ 15 図示による 接着の程度 ⊙ 1 類 ・ 2 類	⊙ ≥ ι	瓦桟木の留付け工法 ※図示 ・ 棟の工法 ※図示による ・「標仕」13.4.3(4)(7)~(4)による といの材種 ・ 硬質塩化ビニル樹脂	- ステンレス製建具	簡易機密型 ・適用する ・適用しない [16.6.2] [表16.6.1] 外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-2 ・ S-3 ・ [16.4.2] [表16.6.1] 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ・適用する (等級・) ・適用しない ステンレス鋼板 (屋外) ※ SUS430JIL ・ SUS443J1 ・ SUS304 [16.6.3]		ガラス留め材 [16.14.3] 建具の種類 材種 鋼製 ※ シーリング材 アルミニウム製 ※ シーリング材 ・ ガスケット (グレイジングチャンネル形)	
	表板の種別 · 広葉樹 ① 針葉樹 表面性能		② 図示		ステンレス鋼板 (屋内) ※ SUS430 · SUS430JIL · SUS443J1L · SUS304 表面仕上げ ※ HL仕上げ · 鏡面仕上げ ·		ステンレス製 ※ シーリング材 木製 ※ シーリング材	
	難燃処理 ・ する ○ しない 防虫処理 ・ する ○ しない ・生地透明塗料塗り (ラワン合板程度)	(4) ・ ラス系下地 左 ウ	[15.2.3] 種類 ・直張りラスモルタル下地 ・直張りラスシート下地 ・通気構法単層下地 ・通気構法二層下地 ラス	○ 木製建具	ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ [16.6.5] 建具の加工、組立時の含水率 ※ B種 ・ [16.7.2]	ガラスブロック積み	製造所 JIS A 5212によるもの 【16.14.5】 寸法 (mm) 厚さ (mm) 表面形状	
	・不透明塗料塗り(しな合板程度) 厚さ (mm)・ 接着の程度 ・ 特類 ・ 1 類	事	区分 ・ 平ラス ・ コブラス ・ 波形ラス ・ リブラス 重量 ・		建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ 第三種			
	天然木化粧合板 G 単板の樹種・防虫処理・する・しない 難燃処理・する・しない	・ モルタル塗り	外壁タイル張り下地等の均しモルタルの接着力試験 ・行う ・行わない 【15.3.5】		・ フラッシュ戸 合板の種類 規格等 普通合板 G 表面の樹種		建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。 壁用金属枠及び接着剤・・設ける(形状・※図示・・・) 化粧目地モルタルの色・※標準色・・特注色	
	防炎処理 ・する・しない 厚さ (mm)・ 特殊加工化粧合板 接着の程度 ・特類 ・ 1類	・ しっくい塗り	既調合しっくい 製造所 ・ [15.10.2] 種類 ・		生地、透明塗料塗り (※ラワン程度 ・)		シーリング材の種別 ・ 金属製化粧カパー 材質 ・ステンレス ・アルミニウム製	
	表面性能 化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装	・ 小舞壁塗り	色土 種類 · 【15.11.2】 色砂 種類 ·		不透明塗料塗り (※しな程度 ・) 板面の品質 ()		寸法 ・図示による ・ 形状 ・図示による ・	
	厚さ・15・ 技術性を		小舞壁の工程 ※A種 ・B種 【15.11.5】【表15.11.9】 土物仕上げ 工法の種類 ・ 【15.11.7】		接着の程度 (・1類 ・2類) ・天然木 化粧合板 樹種名 ()	① 材料	屋内で使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 【18.1.3】	
	仕上げ塗装等 ※ 塗装品 間伐材等の適用 ・ あり 厚さ ・ 15 ・	① 仕上塗材仕上げ	大津仕上げ 工法の種類 · 【15. 11. 8】		接着の程度 (・1類 ・2類)	塗 装 工	※ 規制対象外 ・ 第三種 ・ 防火塗料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする (箇所:)	
	樹種 ※ なら ・ ひのき 工法 ※ 釘どめ工法 (C種) 仕上げ塗装等 ※ 塗装品 ・ 無塗装品	O ILLEMILII	※ 規制対象外 ・ 第三種		表面性能 () タイプ 接着の程度 (・1類 ・2類)	事	- 大の回加を除る例入物料とする (回加.) [18.2.2~7]	
○ 耐候性処理	屋外に使用する仕上げ木材への木材保護塗料塗り 適用範囲: (図示による) (10.3.1)		仕上塗材の種類 種類 呼び名 防火材料 仕上げの形状 ・薄付け仕上塗材 ・ 外装薄塗材Si ・ 砂壁状		表面板の厚さ ※表16.7.6による ・ かまち戸 【16.7.2】		下地面等 種別	
○ 防腐・防蟻処理 G			・ 薄付け仕上塗材 ・ 外装薄塗材Si ・ 砂壁状 ・ 可とう形外装薄塗材Si ・ ゆず肌状(・ 吹付け ・ ローラー塗り) ・ 外装薄塗材E ・ さざ波状		・ かまらけ かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※36mm ・建具表による		鉄銅面 ※C種 ・A種 ・B種 亜鉛めっき銅面 ・A種 ・B種	
	保存処理性能区分 · K 2 ⊙K 3 · K 4		・可とう形外装薄塗材E ・ 平たん状 ・防水形外装薄塗材E ・ 凸凹状(・ 吹付け ・ こて塗り)		・ ふすま 張りの種別(・ I 型 ・ I 型)		モルタル面及びせっこうプラスター面 ※8種 ・A種 コンクリート面、A L C n が 礼面及び押出成形セメント板面 (DP塗装除く) ※8種 ・A種 せっこうボード面及びその他 目地:維目処理工法 ※A種 ・B種	
・ FRP系塗膜防水	根太掛の防腐・防蟻処理 ※ する ・ しない (11.2.4) 下地合板の防虫処理 ※ する ・ しない		・ 外装薄塗材S ・ 着色骨材砂壁状(・ 吹付け ・ こて塗り) ・ 内装薄塗材 L ・ 砂壁状じゅらく ・ 京壁状じゅらく ・ 京壁状じゅらく		上張り (・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度) 押入等の裏側は雲花紙程度 縁仕上げ (・ 塗り縁 ・ 生地縁(素地) ・ 生地縁(ウレタンクリアー塗装)) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による		ボード面 目地:継目処理工法以外 ※8種・A種	
W	下地合板の上の防火板 ・ 設置する ・ 設置しない 水張り試験 ・ 行う ・ 行わない		- 内装薄塗材Si		・ 戸ぶすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・ 紙張り障子	- 錆止め塗料塗り	[18.3.2,3] 下地面等 工程の種別 塗料の種別 見え掛り部分 ※A種 SOPの場合 ※A種	
● ○ シーリング	(11.3.2) (表11.3.1) 施工箇所 シーリング材の種類 (記号)		<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""><td></td><td>・ 쇖張り啐士 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</td><td></td><td>鉄鋼面 見え隠れ部分 ※B種 ・A種 DPの場合 ※B種 EP-Gの場合 ※B種 ・A種</td></td>	<td></td> <td>・ 쇖張り啐士 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</td> <td></td> <td>鉄鋼面 見え隠れ部分 ※B種 ・A種 DPの場合 ※B種 EP-Gの場合 ※B種 ・A種</td>		・ 쇖張り啐士 見込み寸法 ※30mm ・建具表による		鉄鋼面 見え隠れ部分 ※B種 ・A種 DPの場合 ※B種 EP-Gの場合 ※B種 ・A種
	サッシ廻り、不燃化粧板継ぎ目 変成シリコーン系(MS-2)		・外装厚塗材E ・ ・内装厚塗材C ・ ・内装厚塗材 ・			枠、くつずりの材料 ・建具表による ・ ※取付け調整は、1名以上の技能士が自ら作業するとともに、他の技能者に対して、施工品質の工場を図る		亜鉛めっき鋼面 鋼製建具 ※A種 ・B種 SOPの場合 ※A種 ・B種 鋼製建具以外 ※B種 ・A種 EP-Gの場合 ※C種
・ シーリング材の試験	シーリング材の目地寸法 ※木造仕様書11.3.3(1)(7)~(分)による・ ※ 簡易接着性試験・ (11.3.5)		・ 内装厚塗材 L ・ 内装厚塗材 G ・ 内装厚塗材 S i	○ 鍵	ための作業指導を行うこと。 マスターキー ・ 製作する ○ 製作しない 【16.8.4】			
12 · タイル	タイルの形状、寸法等 [11.2.2] [11.3.2]	-	 ・ 内装厚塗材E ・ 複層塗材CE ・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ○ 凹凸模様 		その他の鍵 ※各室3本1組 ・ 鍵箱 ※ 有 ・無	○ 塗料	登装 種別 塗料の種類	
タイル	施工 主な用途に よる区分 形状寸法 (mm) 再生材の 適用 G 販水率による区分 うわぐすり (型) 役物 色 耐寒害性 (乗 有 (型) 本の区分 (型) 本の区分 (型) 工 (型) 工		・可とう形複層塗材CE ・ ・複層塗材Si 上塗材 ・複層塗材E ・ ・ 耐候性 ※ 耐候形3種・	自動ドア開閉装置			・合成樹脂調合 木部屋外 ※A種 ・B種 ※1種 ・2種 - ペイント塗り(SOP) 木部屋内 ※B種 ・A種 ※1種 ・2種 - 鉄鋼面 ※B種 ・A種 ※1種 ・2種 ・	
事	玄関ホール 200×200 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		・ 複層塗材RE ・ 溶 媒 ※ 水系 ・溶剤系 ・ 複層塗材RS ・ 樹 脂 アクリル系		・ SSLD-1 ※標準仕様書表 ・ 適用する ・ 光線 (反射) スイッチ ・ 行う ・ SSLD-2 16.9.1による ・ 適用しない ・ 音波スイッチ (適用箇所は		SX MI	
			・防水形複層塗材CE ・ 外 観 ※ つやあり ・ つやなし ・防水形複層塗材E ・ メタリック ・防水形複層塗材RE ・ 増塗材 ・ 適用する		・ DSLD-1 ・ 電波スイッチ 建具表による) ・ DSLD-2 ・ タッチスイッチ ・ 行わない ・ 図示 ・ ペダルスイッチ		・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD) ※B種 ・A種 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	
	試験張り ・ 行う ・ 行わない	_	・軽量骨材仕上塗材 ・吹付用軽量塗材 ・砂壁状 ・平たん状 ・こて塗用軽量塗材 ・		押しボタンスイッチ多機能便所スイッチ		コンクリート面及び ・A種 上塗り等級1級 押出成形セメント板面 ・B種 上塗り等級2級	
□ 13 ○ 下地及び下葺 屋 担	野地板 材質、厚さ ※「木造標仕」 5.7.9 による・ (14.2.2) 下葺材料 ※改質アスファルトルーフィング (14.2.2)		防火材料の指定 ※ 屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする 下表以外は表6. 2. 5及び15. 4. 2による 【表6. 2. 4】 【15. 4. 2】	自閉式上吊り引戸装置	: 自閉式上吊り引戸装置の性能 ※ 「標仕」表16.10.1による · 【16.10.3】		・C種 上塗り等級3級 ・つや有合成樹脂 コンクリート面、モル エマルションペイ タル面、せっこうブラ	
及び	→般タイプ ・複層基材タイプ ・粘着層付タイプ)		施 工 箇 所 平たんさ (mm) 備 考 フリーアクセススロア (パネル構法) 範囲 1 mにつき10以下	ガラス	・ 合わせガラス [16.14.2] 品種 構成種類 性能		ント塗り(EP-G) スター面、せっこうボ ード面その他ボード面 第	
と ① 金属板葺 い 工	(14.3.2) (表14.3.1) 施工箇所 長尺金属板の種類 厚さ(mm) 屋根葺形式 ○図示 ※塗装溶融 55% アルミニウム-亜鉛合金 ※ 0.4 ○立平葺		7リ-7クセスフロア(溝構法)範囲 3 mlcつき7以下		※ フロート合わせガラス ※ フロート板合わせがラス ・ I 類 ・ 熱線吸収、フロート板合わせガラス ・ 網入磨き合わせガラス ・ 網入磨き、フロート板合わせガラス ・ II - 1 類 ・ II - 2 類		受力 (EP) ※B種 ・A種 ー 一 一	
事	めっき鋼板及び綱帯 (CGLCCR-20-AZ150) ・ 0.35 ・ あり掛葺 ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び綱帯 ・ 芯木なし瓦棒葺	15 ① アルミニウム製建具	性能等 [16.2.2] [表16.2.1]		・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス・ 亜類・強化ガラス		- 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) ※B種 ・A種	
	(CGCCR-20-Z25) ・横葺 ・ ・	· 建 · 具 · T	外部に面する建具		材料板ガラスによる種類 種 類 性 能		塗り → オイルステイン塗り (OS)	
	固定釘の材質 ※ 表13.3.2による 心木の防腐・防蟻処理 ※ 行う ・ 行わない) 事 	断熱ドアセット・断熱サッシ G ・ 適用する 断熱性の等級 () 表面処理 【16.2.4】		・型板ガラス ※型板強化ガラス ・熱線吸収板ガラス		・木材保護塗料塗り(WP) ※B種 ・A種 高日射反射率塗装 G を適用する場合の適用箇所は、屋上・屋根面の金属面とする。	
	吊子、釘の留付け間隔 ※ 図示 工法 (13.3.4) (13.3.5) (13.3.6) (13.3.7) (13.3.8)		※ B-1種 ・B-2種(・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) 結露水の処理方法 ※図示による 水切り板、ぜん板 ※図示		品種 性能 色調 ※ 熱線吸収フロート板ガラス ・1種・2種 ・ブルー ・グレー ・プロンズ ・熟線吸収網入り磨き板ガラス	18 ○ 接着剤	壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量 【19.2.2】	
	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (※1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び	・ 樹脂製建具	性能等 【16.3.2】 【表16.3.2】 【表16.3.3】		○複層ガラス 断熱性 日射熱遮へい性	内	※ 規制対象外 ・ 第三種 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする	
	積雪荷重に対応した工法) ・ 適用しない 雪止め ○		外部に面する建具 ・ A種(建具符号:) ・ B種(建具符号:) 防音ドアセット・防音サッシ ・ 適用する		・ 断熱複層ガラス ・ 1種 U 1 U 2 U 2 ・ 3種 U U - 3 - 1 ・ U - 3 - 2	事 〇 ビニル床シート G	種類 JIS記号 施工箇所 色 柄 特殊機能 厚さ (mm)	
・ 粘土瓦葺	(14. 5. 1)	断熱ドアセット・断熱サッシ G ・ 適用する 断熱性の等級 (・H-4 ・H-5) 表面色 ・ 【16.3.4】 水切り板、ぜん板 ※図示		・ 日射熱遮へい複層ガラス ・ 4種 E 4 ・ 5種 E 5 ・ 熱線反射板ガラス		発泡層のないもの ※FS (複層ピール床シート) 図示 ・マーブル柄・耐動荷重・・ ・無地・ 無地・ 柄物 ・ 柄物	
	種類 役物瓦 施工箇所 製法に 形状に 寸法に 大きさ 産 地 役物瓦 よる区分 よる区分 よる区分 よる区分	- 鋼製建具	水切り板、ぜん板 ※凶ホ 簡易機密型 ・適用する ・適用しない 【16.4.2】【表16.4.1】		・ 然線反射板カラス 色調 ※ 熟線反射ガラス ・ ブルー ・ グレー		**	
			外部に面する建具の耐風圧性 ※ S-2 · S-3 · 【16.4.2】 【表16.2.2】 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 · 適用する (等級 ·) · 適用しない		- 高性能熱線反射ガラス - ブロンズ ・ シルバー		 帯電防止 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10⁷7~1×100Ω程度 	
	材料 ※ JIS A 5208 及び図示による 瓦桟木 材質 ※杉又はひのき ・		鋼板 【16.4.3】 【16.4.4】 【表16.4.2】 材料 めっき付着量 備 考		品種 日射熱遮へい性 耐久性 ガラスの種類 ※ 熱線反射ガラス ・ 1種 ・ A種	・ ビニル床タイル G	【19.2.2】 — JIS記号 施工箇所 色柄 寸法 特殊機能 厚さ(mm) 備考	
	寸法 ※幅21×高さ15(mm)以上 ・ 棟補強用心材 材質 ※杉又はひのき ・		・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) ※Z12又はF12 ・表16.4.2による ・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板) ※Y08		・高性能熱線反射ガラス ・2種 ・A種 ・B種 ・3種 ・B種		・FT (複層t*ニル床9イル) ・無地 ・柄物 ・300×300 ・450×450 ・帯電防止 ・防滑性 ・防滑性 ※ 2.0 ・2.5 ・3.0	
	寸法 ・ 下葺材料 ※改質アスファルトルーフィング下葺材 (・一般タイプ ・複層基材タイプ ・粘着層付タイプ)	· 鋼製軽量建具	簡易機密型 ・適用する ・適用しない 【16.5.2】 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ・適用する(等級・) ・適用しない		反射皮膜面 ※ 内面 ・ 外面 映像調整 ※ 行わない ・ 行う ・ 倍強度ガラス		- KT - 無地 · 30×300 - 帯電防止 · 2.0 (コンボ・ジ・ションビ・ニル床タイル) - 柄物 · 450×450 - 防滑性 · 3.0	
	工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適田オス(建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法		鋼板の厚さ ・標準仕様書 表16.5.1による [16.5.3] 鋼板 [16.5.3]		材料板ガラスによる種類の名称 色 調 ※ フロート倍強度ガラス ・ ブルー・グレー・ブロンズ・・		・ FOA ・無地 ・500×500 ・帯電防止 ・ 急取 場	
	※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び) 積雪荷重に対応した工法)・適用しない		区分 材質 鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 召合わせ、縦小口包み板、押縁 ※鋼板		_・ 熟線吸収倍強度ガラス		(直敷きt -ルはタイル) ・ 柄物 ・防滑性 特殊機能 帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1. 2以上~3. 2未満 J 2300498	
							 帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1. 2以上~3. 2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10⁷~1×10¹⁰Ω程度 ・ 	
				計事務所	鳥取家畜保健衛生所検査棟増築工事(建築) DRA	W CHECK	図名 No. A-03	
			MOCHIZUKI ARCHITECT'S 鳥取県鳥取市西町1丁目452-2	DESIGN OFFICE TEL 0857-23-4888	议 引 14 一 放生栄工 あるひolひ3方 四州 祀一 │	西村	木造建築工事特記仕様書(3) Scale	
			建築士事務所 第 04-760 号	FAX 0857-29-4124	設計者 一級建築士 第356981号 望月 洋志		_	

	[19. 2. 2]	○ せっこうボードその	他 [19.7.2.3]	· 鏡	取付箇所 ・図示による ・ () 【20.2.10	】 · 屋外掲示板	本体材質 ※ステンレス製・
	・ ビニル幅木 材質 ・ 軟質 高さ (mm) ※60 ・ 75 ・ 100	のボード張り	合板類、MDF及びハーティグルボートのボルムアルテビト発散量 ※F☆☆☆☆	- sg.	対法 (mm) ・図示による ・	2 産が物が似	照明器具 ・有り ・無し 掲示板面材質 ・
	厚さ (mm) ※1.5以上・ - ゴム床タイル 座室の種類 ※単層品 ・複層品 - 複層品		種類 JIS 記号 厚さ(mm)、規格等 ・ 硬質木毛セメント板 G HW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・	⊙ 表示	・案内板 ・庁舎案内板 (※標準詳細図による ・図示による) 【20.2.11	1	施錠装置 ※有り ・無し 形状寸法 ※図示による ・
	・ ゴム床タイル 座室の種類 ※単層品 ・複層品 色柄 () 厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0		・中質木毛セメント板 G MW ・15 ・20 ・25 ・普通木毛セメント板 G NW ・15 ・20 ・25		・各階案内板 (※標準詳細図による ・図示による) ・視覚障害者用案内板 (※共通詳細図による ・図示による)	・ くつふきマッ	ト ※ 塩化ビニル又はゴム製(受け枠ステンレス製(SUS304)) ワンライン型
	す法(mm) () 1.0 14.5 10.0 19.0)		・ 硬質木片セメント板 G HF ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ ・ 普通木片セメント板 G NF ・ 30 ・		● 全名札 ※標準詳細図による ・市販品 ・ピクトグラフ 標準案内図用記号 ※JIS Z8210による ・図示による 形状・その他 ※図示による		・ 硬質アルミニウム合金製(受け枠ステンレス製(SUS304))・ ステンレス製(SUS304)(受け枠ステンレス製(SUS304))
・ カーペット敷き G	・織じゅうたん [19.3.3,4] 【表19.3.1】		○ けい酸カルシウム板 0.8FK 1.0FK 0.8FK 0.8		・庁名文字 ※標準詳細図による ・ ・切抜文字 (・ステンレス製・黄銅製) ・箱文字 (・ステンレス製・黄銅製)	・ピクチャーレ・	
	種別		・ロックウール化粧吸音板 DR ・フラットタイプ(・9・12・) ・不燃 ・凹凸タイプ(・12 ・15 ・19 ・) ・不燃		字数 () 文字の大きさ (x) ・対人衝突防止表示 ・図示による ・非常用進入口 ・図示による		移動フック ケ/m 安全荷重 ※ 1 5 kg以上 ・
	・B種 ・ルーフパイル ・ダプルフェースカーペット ・柄物 ・適用しない ・C種 ・カット、ループ併用 ・アキスミンスター カーペット (標準品)		・ ロックウール吸音ボード1号 RW-B ・ 25 ・ グラスウール吸音ボード32K GW-B ・ 25(ガラスクロス包)		・非市内進入口 ・図小による 案内用図記号はJIS2810による	・ 誘導用床材、注 用床材	注意喚起 材種 ・ レジンコンクリート製(厚さ60mm) ・ 磁器質タイル製
	下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・		・ 不燃積層せっこうボード GB-NC ※12.5 (不燃) ・15 (不燃) ・ 化粧無 (下地張り用) (BB-NC) (BB-NC)	○ ブラインド	[20. 2. 14	1	表面形状 J I S T 9 2 5 1 による 寸法 ※ 3 0 0 × 3 0 0 ・
	・タフテッドカーペット				スラットの材種 アルミニウム合金製 ・アルミスラット・クロススラット スラットの種類 ※ギア式 ・コード式 ※1本操作コード式 スラットの幅(mm) ※25 ・35 ・75以上 ・100		色 黄色
	パイル形状 パイル長さ (mm) 工法 帯電性 備考 ・カットパイル ・5~7 ・ ※全面接着工法 ・適用する ・ルーフパイル ・4~6 ・ ・ゲリッパー 工法 ・適用しない		・せっこうラスボード GB-L 9.5 ・化粧せっこうボード (木目) CB-D 12.5 (不燃) 幅 440mm 程度	・ロールスクリーン	材種 遮光性能 - 【20. 2. 15	・ アスベスト成計 処理方法	形板の ※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者であること。 処理を行うアスペスト成形板の仕様等
	・ルーフパイル ・4~6・ ・グリッパー 工法 ・適用しない ・カット、ループ 併用 ・		模様 (・ 柾目 ・ 板目) 専用下地材有り ① 化粧せっこうボード GB-D 9.5 (準不燃)	カーテン及びカーテン	品質 操作方法 ・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式 , 【20.2.16	,	材料名 厚さ (mm) 処理を行う範囲
	下敷き材(グリッパー工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・		(トラバーチン模様) ・普通合板 G 表板の樹種	レール	カーテン 施工箇所 きれ地の品質等(製造所) ひだの種類 開閉形式 カーテン操作方式	1	
	・ニードルパンチカーペット		生地、透明塗料塗り (※ラワン程度 ・) 不透明塗料塗り		· 片引き · 引分 ※手動 · 電動		
	厚さ (mm) () 帯電性 ・適用する (性能:※人体帯電圧3kv 以下 ・) ・適用しない		イ 次明 坐 科 坐 り (※し な 程度 ・) 板面 の 品質 ()		カーテンレール及び付属金物 施工箇所 強さによる区分 材料による区分 仕上げ 形状 付属金物		施工調査
	備考()						※ 行う ・ 行わない 石綿作業主任者
	・タイルカーペット パイル形状 種別 施工箇所 寸法 総厚さ (mm) 備 考 8 9 8 9 6 5		・防虫処理 ・天然木化粧合板 G 樹種名()		暗幕用は300mm以上の召し合せの重掛けとする		特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者の中から選任する。 特別管理産業廃棄物管理責任者 保温材については、排出事業者は特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させる。
	※ ルーフバイル ・ 第二種 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		接着の程度 ・1類 ・2類 厚さ(mm) ()	○ 点検口	天井 村種 アルミニウム製 寸法 (mm) ※450×450 ・600×600 形式 一般型 外枠 Q額線タイプ ・目地タイプ		「宋温村に ついては、併山事来有は特別管理性未廃来物管理具定有の負債を有する有を設定し管理させる。 管公署その他への手続き 改修工事標準仕様書(9.1.3(b)(2))によるほか、次の必要な手続きを行う
	・カットパイル ・第二種 ・第二種 ・第二種 ・第二種 ・ 500×500 ・6.5		・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理 ・特殊加工化粧合板 G 化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装)		内枠 ●額縁タイプ ・目地タイプ 床 材種 アルミニウム製 寸法 (mm) ・450×450 ※600×600		(1)建築物解体等作業届(所管労働基準監督署) (2)特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書(都道府県知事)
	・カット・ループ併用 ・第二種 ・第二種 タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し・		表面性能 () タイプ 接着の程度 ・1類 ・2類 厚さ(mm) ()		形式 ※屋内用一般型 ・密閉形		安全衛生管理 洗浄設備
	階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・ 下敷き剤 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種1号 呼び厚さ 8mm		- ・ メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 による (※ 1.2 ・)	・ 旗竿受金物	材 種 ・ ステンレス製 (SUS 304)		(i) 洗眼、うがいの設備を設ける (ii) 更衣設備等を設ける
○ 合成樹脂塗床	見切り、押え金物の材質、種類及び形状 ※図示 - 【19. 4. 2、3】 種別 施工箇所 工法 仕上げの種類		・ ポリエスチル樹脂化粧板 ・ ミディアムデンシティ MDF ・3 ・7 ・9 ・12 ・	・ 車止め支柱	形式 材種 柱径、肉厚 (mm) 高さ (mm) ・上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・ステンレス製 ・スプリング式 ・		表示・掲示 改修工事標準仕様書 (9.1.2(f)(1)、(3)による表示・掲示を行う。 作業場の養生
	「厚膜型塗床材		ファイバーボード G ・ 無研磨板 V N ・ 研磨板 V S				処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉塵飛散を防止する。 対象室(
	- 厚膜型塗床材 - 薄膜流し展べ 工法 - 平滑仕上げ - 厚膜流し展ベエ法 - 防滑仕上げ - 厚膜流し展ベエ法 - 防滑仕上げ		・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ ・ 化粧パーティクルボード G ・ 単板オーバーレイ DV ・ プラスチックオーバーレイ DO	・フェンス	フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス		除去物及び汚染物の処分等 保温材については、改修工事標準仕様書 (9.1.3(c)(4)) による。
	・樹脂もクル工法 ◎ 平滑仕上げ ● 防滑仕上げ		・ フラスチックオーハーレイ DO ・ 塗装 D C ・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃) ・	7137	フェンへの性域 ・ ヒールでは は ・ トラン・	排 · 配水管	排水管用材料 【21. 2. 1】【表21. 2. 1】
	塗料のホルムルデヒド放散量 ※規制対象外		・ ハードボード (素地) G HB ・未研磨板 (・スタンダード ・テンパード RN) ・研磨板 (・スタンダード ・テンパード RS)		・アルミフェンス 高さ ・図示による ・	排水水工工	材種
・ フローリング張り	単層フローリング 【19.5.2~7】 種類 工法 樹種 厚さ (mm) 間伐材等		・ ハードボード (化粧) G ・ 内装用 D I ・ 外装用 D E ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・	・ プレキャストコンク リート	※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/㎡を満足する調合強度	1	・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ VP ※図示
	・フローリング1号 ・釘留め工法(根太張り) ・なら ・15 ・		・ インシュレーションボード G IB A級 (・天井仕上 ・内装仕上 ・) ・9 ・12 ・15 ・18 ・		・図示による 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。		・ VU ※図示 ・ RS-VU G ※図示
	ボード 1 等		天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 ※図示による		水底房でためた前昇者で監督物具に提出する。 ・図示による 取付け方法		基床の厚さ及び種類 ・図示による 砂地業に用いる材料 ※標準仕様書 (21.2.3) (a)(1) ・図示による
	・フローリング ・接着工法 ・ なら ・ 15 ・ ブロック 1 等 フローリングボードの大きさ ※標準仕様書表19.5.1,3,5		※図小による 合板類の張付け ・ A種 ・ B種 せっこうボードの目地工法 ※仕上表による ・		※図示による		砂利地業に用いる材料 ※標準仕様書 (21.2.3) (a) (2) ・図示による 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤
	複合フローリング			・ 間知石及びコンクリー 間知ブロック積み	-ト 材 種 種類 質量区分 備考	1	コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書 (6.14) 設計基準強度18N/mm2 とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の調合(容積比)
		● 壁紙張り	[19.8.2、3] 		・間知石 ・花こう岩 — — — ※		政計学中理(文 (10V) IIIIに とりも。たたし、コンプラードが同場な場合の向右(存在比) セメント 1:砂2:砂利 4程度とする。 ・図示による
	・天然木化粧複合 ・釘留め工法(根太張り) ・なら ・A種 ・15 ・ フローリング ・釘留め工法(直張り) ・ ・B種 ・12 ・		紙 繊維 プラス 無機質 その他 リング性が 鳴ち		・コンクリート	① 側溝、排水桝	等
	※C種 ・12・ ・接着工法 ・なら ・A種 ・12・		廊 下 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		目塗り ・図示による ・ 伸縮目地 材種 ・図示による ・	例	等 側溝、排水桝等 【21.2.2】 形状及び寸法 ○図示 ・ 砂地業に用いる材料 ※標準仕様書 (21.2.1) (7) (7) ・図示
	・B種 ・12 ・		- ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		厚さ ・図示による ・		砂利地業に用いる材料 ※標準仕様書 (21.2.1) (7)(4) ・図示 コンクリート基礎等に用いる材料
	フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外 ・ 接着工法の場合の裏面緩衝材 ※合成樹脂発泡シート		コンクリート・A L C 面の素地ごしらえ ※B種 - A種 せっこうポード面の素地ごしらえ ※B種 - A種	• 屋内掲示板	枠の材質 ※ アルミニウム製 表面の材質 ※ 塩ビ発泡シート張り		※標準仕様書(6.14) 設計基準強度18N/mm2 とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の調合(容積比) セメント1:砂2:砂利4程度とする。
	県産材の活用 ・適用する(樹種) ・適用しない			・ 洗面カウンター	材 種 ・メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) ・人工大理石		· 図示
		① 断熱·防露 G	[19.1.2] 断熱材のホルムアルデヒド放散量		奥行き(mm) ・ 約 450 ・ 約 600	鋳鉄製ふた	
・豊敷き	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床:・KT-I・KT-I・KT-I・KT-I・KT-N) [19.6.2] [表19.6.1] 下地の種類 ・標準仕様書表12.6.1]による床組	熱	※規制対象外 ・ 防湿材 種類 ※ JIS A 6930 ・ JIS Z 1702 ・ JIS K 6781	・防炎垂れ壁	・固定式 材質 厚さ(mm) 高さ(mm) 備 考		鋳鉄製マン ・水封形 ・T-2用 ・有り 左記以外の品質等は(公社) ホールふた ・簡易密閉形 ・T-6用 ・無し 空気調和衛生工学会SHASE-S209
	・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロン) G	防 露	厚さ ① 0.15mm 気密材 種類 · JIS A 6930 ※ JIS A 6111 ·		※ 網入り磨板ガラス ※ 6.8 ※ 500 アルミ製枠付き ・線入り磨板ガラス ・		(パッキン式) ・T-20用 による ・密閉形 (テーパ・パッキン式)
	畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない 材料を使用したものとする。	글	厚さ ○ 0.15mm 防風材 種類 ※ JIS A 6111 ・		・可動式 有 高さ(mm) 備 考 ・垂直降下式 ※ 不燃布 ※ 500 ガイドレール		(テーパ・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパ・パッキン形)
	・ 衝撃緩和型量	ット	防湿層 ※省略しない ・省略する		** 500 ** 固定式 (壁埋込型) ** 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・		RS-VUG
		以 び そ	気流止め 材料 ○ 図示による 「19.1.5] 天井断熱の場合の天井点検口 ○ 図示による ・ 断熱防湿タイプ 断熱材及び防湿材の気密措置 ・ 図示による		・回転降下式 鋼板製又はアルミ製 ※ 500 表面仕上げ ・800 ※ 天井材張り	○ グレーチング	材質 形式 田冷 適田荷雷 パンパー 亜鉛 めつさ 上面形状
		の 他 ・ 空業系サイデノング	断熱材及ひ防湿材の気管措直 · 図示による (20.3.2)		・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		○鋼製 ○受枠付き、 ・溝ふた ・歩行用 ・細目 ・ () ・凹凸形
		エー事	建具上部の雨水の排出路 ※ 図示による シーリング材の目地寸法 ※ 図示による				ホールふた ボルト固定 (横断用) ・
		・複合金属サイディン	グ 材料 ※ 図示による (20.3.3)				(側溝用) (利-5用 ・細目 ・ 一14用 ・ T-14用 ・ T-20用
		・ 階段滑止め	材種 ステンレス製(SUS304) (・埋込工法 ※接着工法) 【20.2.7】				→ ファル ・ 受枠付き 、 ・ 溝ふた ・ 歩行用 ・ 細目 ・ () ・ 凹凸形 ⊨ 🖂 🖂 🖂 🖂 🖂 🖂 🖂 🖂 🖂 🖂 🖂 🖂 🖂
			端部フラットエンド ※有(※タイヤと同材 ・ステンレス鋼) ・無型式 ※ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り 幅 (mm) ※約35				ス製 ボルト固定 (横断用)
	T. Control of the Con		ード ※ホワイトボード ほうろう 形状・寸法は図示による 【20.2.9】				・桝ふた用 ・T-14用 J 230049
		・黒板及びボワイトボ	・黒板 ※焼き付け 色彩 ※緑 形状・寸法は図示による				・U字溝用 ・T-20用 総務部営編
		・無板及びホワイトホ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	計事務所	鳥取家畜保健衛生所検査棟増築工事(建築)	RAW CHEC	- C 1 MAN C CONT
		・無板及びホワイトホ	·黑版 ※焼き付け 色彩 ※繰 形状・寸法は図示による (有) 望 月 建 築 設 MOCHIZUKI ARCHITECT'S	DESIGN OFFICE	馬取家	RAW CHEC	K Ma

② ① 街きょ、縁石、側溝	街きょ、縁石、側溝 【21.3.1】	・ ブロック系舗装	・コンクリート平板舗装	1						
排 水 工 事	種類 形状、寸法 ・線石 ・図示 ・		種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 目地材 備考 ※普通平板(N) ※300角 ・60 ※砂 表面加工							
	○U形側溝 ○図示・ ○U形側溝ふた・・図示・・・		・透水平板(P) ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し							
	・ 図示・ 地業の材料 ※標準仕様書 (4.6.2) (a)による ・ 図示による 砂利地業の厚さ ※100 (mm) ・ 図示		歩道部に使用するコンクリート平板は G (再生材料を用いた舗装用ブロック) とする。透水平板は G (透水性コンクリート) とする。							
	コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書 (6.14)		回 (透水性コングリート) とする。 仕上り面の平たん性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内 ・							
	設計基準強度18N/mm2 とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の調合(容積比) セメント 1:砂2:砂利 4 程度とする。 ②図示による		・インターロッキングブロック舗装 曲げ強度 地で							
⊙ 埋戻し土	○ 図示による ※ B種 [3.2.3]		種類							
② 路床	98.t= m ++ 181		・透水性ブロック (P) 歩道部 ※60 ・ ※3.0 ・標準品・ ・歩道部に使用するブロックは G (再生材料を用いた舗装用ブロック)とする。透水性ブロックは							
→	路床の材料 【22. 2. 2, 3, 5】 【表22. 2. 1】 種別 材料 厚さ (mm) ・盛士 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・図示		G (透水性コンクリート) とする。 仕上り面の平たん性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm以内							
	・建設汚泥から再生した処理土 G ・ ・		- 舗石舗装 種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 施工方法 基層							
	・ 凍上抑制層 ・ 再生クラッシャラン G ・ クラッシャラン ・ 切込み砂利 ・ 図示 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下) ・		※ 小舗石 (花こう岩) ・ 80 ・ うろこ張り ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装							
	・フィルター層 ・川砂、海砂又は良質な山砂(75 μmふるい通過量 6 %以下) ・図示 ・ ・	砂利敷き	仕上り面の平たん性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内 [22.9.1]							
	路床安定処理・添加材料による安定処理		種別 ・ A種 (施工範囲:・図示による ・通路 ・) ・ B種 (施工範囲:・図示による ・建物周囲 ・)							
	種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種	• 路面表示塗料	JIS K 5665 (路面標示用塗料) による							
	添加量 kg (目標CBR ・5以上 ・) ・ジオテキスタイル		種類 施工 適用 色 幅(mm) 塗布厚さ(mm) ・1種 G 常温 液状 ・白 ・150 ・1.0 ・2種 G 加熱 ・ 100 ・ 100 ・ 100							
	単位面積質量 ・60g/㎡以上 ・ 厚さ(mm) ・0.5~1.0 ・ 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・		・3種1号 溶融 粉体状 G 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料							
	透水係数 - 1.5¥U+00D710-1cm/sec以上 試験 砂の粒度試験 - 行う - 行わない	22 ・ 植栽地の確認	土壌の水素イオン濃度 (pH) 試験 ・行う ・行わない 【23.1.3】							
	路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない	植 様 栽 工 事								
○ 路盤	路盤の厚さ ①図示による ・	・植栽基盤の整備	[23.2.2~4] 植栽 工法 有効土層の厚さ (cm) 整備範囲 土壌改良材	1						
	路盤材料 ・砕石 ○再生クラッシャラン G ・クラッシャラン鉄鋼スラグ G		・樹木 ※A種 樹高12m以上 ・B種 (※100 ・120 ・150) ・葉張り部分 ・C種 樹高7m以上~12m未満 ・植栽部分							
	・ ・図示による 試験		・D種 (※80 ・100) ・図示 樹高3m以上~7m未満 ・							
	路盤締固め度の試験 ※行う ①行わない		(※60 · 80) 樹高3m未満 (※50 · 60)							
・ アスファルト舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示による・ [22.4.2~6] 材料 アスファルト ・ 再生アスファルト G ・ ストレートアスファルト		※芝、地被類 ※B種 ※20 ・植栽部分 ・適用する ・ 図示 ・適用しない							
	骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 [G]		植栽基盤の排水設備 ・設ける (※図示 ・) ・設けない							
	加熱アスファルト混合物等の種類 区分 地域 種類 表層 ・一般地域 ・密粒度アスファルト混合物(13)	・植込み用土	※ 現場発生土の良質土 ・ 客土 【23.2.3】	1						
	・細粒度アスファルト混合物 (13)・寒冷地域・密粒度アスファルト混合物 (13 F)	・ 土壌改良材	- パーク堆肥 G 【23.2.3】 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示による	1						
	・細粒度アスファルト混合物 (13 F) 基層 一般及び寒冷地域 粗粒度アスファルト混合物 (20)		使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (•50L •)							
	シールコートの施工 ・行う ・行わない 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない		 ・ 汚泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト) G 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示による 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・10L ・) 							
○ コンクリート舗装	舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ コンクリート舗装の厚さ 【22.5.2~6】【表22.5.4】		材料 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を							
リーング「「開教	舗装の種類 部位 厚さ(mm) コンクリート舗装 車道部 ・図示 ○150 ・	· 樹木	使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする 樹種、寸法、株立数等 ※図示による 【23.3.2】	1						
	歩道部 ・図示 ・70 ・ 転圧コンクリート 車道部 ・図示 ・150	・支柱	支柱材 ※ 丸太 (間伐材) G · 真竹 【23.3.2,3】							
	縁部立下り寸法等 ・図示による 材料 コンクリート ①「標仕」表22.5.2による ・		防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 形式 ・図示による							
	早強セメント ・使用する (使用しない) 注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ	・ 幹巻き用材料	材料 [23.3.2] ※ 幹巻き用テープ ・ わら及びこも	1						
	転圧コンクリートの工法 ※図示による・ 目地 種類、間隔、構造 ※「標仕」表22.5.4及び図22.5.1による ・図示による	・芝	種類 ※ コウライシバ ・ノシバ [23.4.2] ************************************	1						
	試験 コンクリート版厚さの試験 ①行う ・行わない		芝張りの工法 平地 ※目地張り ・べた張り 法面 ・目地張り ※べた張り							
・カラー舗装	[22.6.2~6] 種類 部位 車道部の基層 厚さ(mm)	I	新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯補償の期間 【23.3.4】 【23.3.6】 【23.4.7】	1						
	・加熱系 ・7スファルト混合物 ・車道部 ・無し ・右油樹脂系混合物 ・歩道部 ・有り	の枯保証	※引渡しの日から1年 ・無し 移植樹木の枯損処置を行う期間 ※引渡しの日から1年 ・毎し							
	・		※引渡しの日から1年 ・無し							
	が行 添加する材料 ・着色骨材 () ・自然石 () 配合 () ・ (
	結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量 ・ 樹脂系混合物、ニートエ法及び塗布工法の配合等 ・									
	装 【22. 7. 2~6】 適用範囲:歩道									
	材料 厚さ (mm) ストレートアスファルト ○図示									
	試験 透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ○行う ・行わない 舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの									局取県 令和5年度
										」2300498 総務部営繕調
							D.P.A.Y.	01150%		
			·····································	計事務 S DESIGN OFF	所 鳥取家畜保健衛生所検査棟増 CE 管理建築士 一級建築士 第308	築工事 (建築)	DRAW	CHECK 図名		No. A — 0 5
			□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	-2 TEL 0857-23-4 号 FAX 0857-29-4	888 設計者 一級建築士 第308 124 設計者 一級建築士 第356	1 0 5 号 西村 純一 DATE 1 0 5 号 西村 純一 GA 1 号 望日 洋宝	(望月) (西	耐 7	<造建築工事特記仕様書(5)	Scale -
				-5 1700 0007 20 F	127 設 計 名 一椒建栄工 弟356	981亏 呈月 沣心		:		



【外部仕上表】

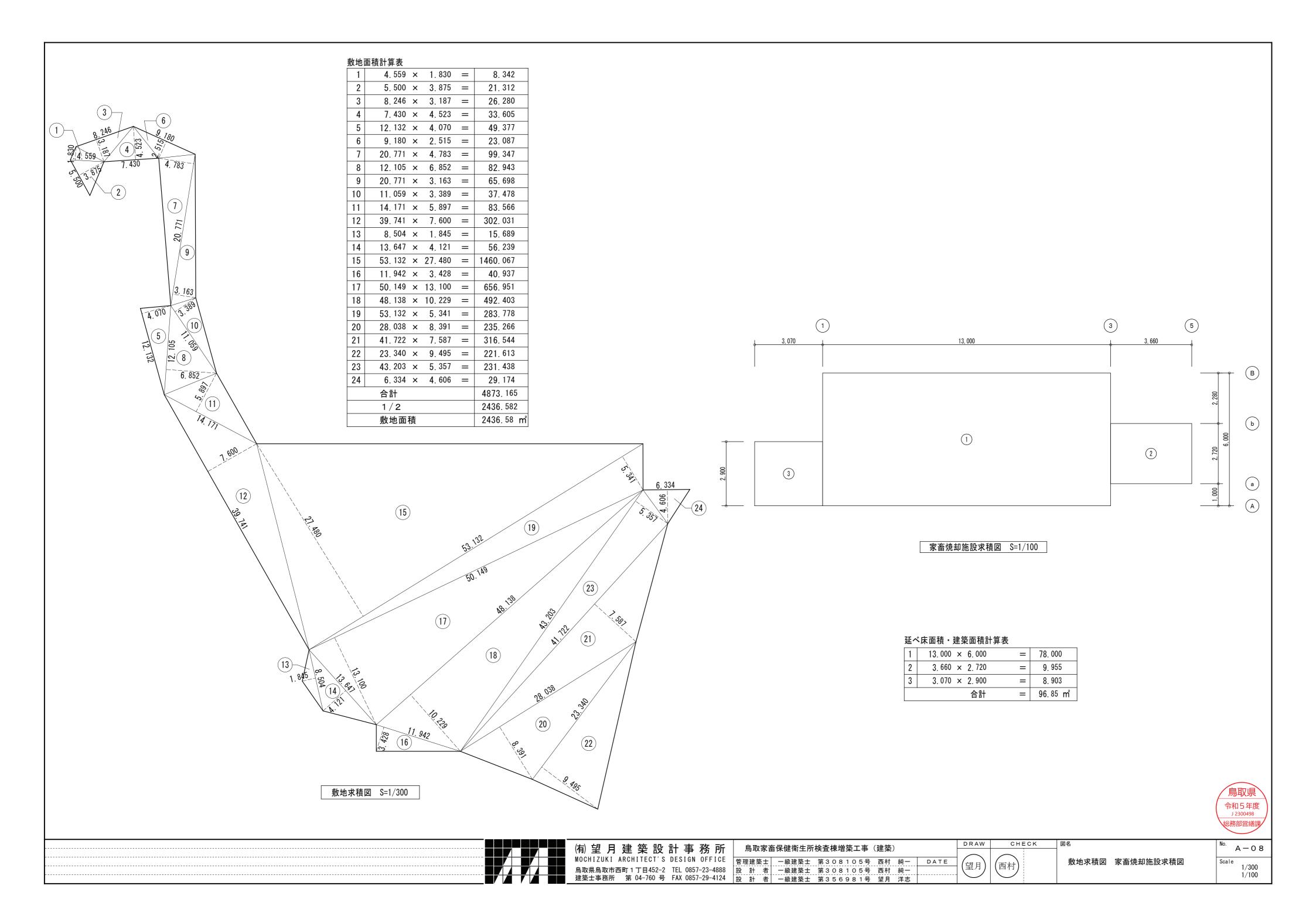
部 位	凡例No.	部位	凡例No	仕 様	部位	凡例No.	
屋根 1	1 仕上:カラーGL鋼板 厚0.4(裏貼:なし)立て葺(勾配1.5寸 @394)	基礎立上り	6	モルタル塗刷毛引き仕上	Exp. J金物	9	外壁コーナー/カラーアルミ製 (クリアランス 1 5 0)
	下葺:ゴムアスファルトルーフィング 厚 1.0 葺 野地板:構造用合板 厚 1 2 張	土台水切	7	カラーGL鋼板 厚 0.4 加工		10	屋根-外壁/カラーアルミ製(クリアランス 2 5 0)
	雪止金具:ドブメッキ製 アングル:ドブメッキ製 L-40×40×3 2段	外 壁	8	仕上塗:可とう性塗材 厚3.5mm こて塗<参考:アイカ ジョリパットネオ JQ-650 エンシェントブリック柄>			
	役 物:棟・軒先・雨押え等:屋根同材 下地木:防腐処理材			下 塗:ファイバーベースコート 厚3㎜ 塗	笠 木	11	カラーアルミ製(内勾配) W=225
破風・鼻隠し	2 繊維混入セメントけい酸カルシウム押出成形板 H=210<参考:ニチハ アウティ GLシリーズ> [NM-2098]			下 地:両面ガラス繊維ネット張セメントモルタル板 厚12.5<参考:吉野石膏 デラクリートセメントボード>	庇 1	12	カラーアルミ製(サポート無・積雪150cm対応) 幅7,800 出幅600<参考: アルフィン AD1T 化粧樋付先端部>
軒天	5 パルプ繊維混入セメント板(スチップル調) 厚12 張<参考: ニチハ 軒天12> [NM-3010]			通気胴縁:杉15×60@500	犬走り		コンクリート金ゴテ押え
軒樋	3			下 張:透湿防水シート張	軒天換気材		カラー鋼板製(高耐食仕様、厚0.35)有効換気量:101cm/m<参考:城東テクノ FV-E12-L18>
	落し口:洋風じょうご			耐力面材:ガラス繊維混入せっこうボード(GB-R)厚9.5 張<参考:吉野石膏 タイガーEXハイパー>	床下換気口	13	丸型換気ガラリφ150 ステンレス製(SUS304)防虫金網付 有効換気面積:106cm <参考:クマモト UK-SGN>
縦樋	4 カラー塩ビ製 φ75<参考:エスロン VUC75> 控え金具:ドブメッキ製 @1,200以下			(壁倍率:2.7倍 認定番号:FRM-0678 留付材:NZ50)			
				※注意…耐力面材は構造耐力上必要な壁だけでなく、外壁下地全面に同仕様で施工すること。			

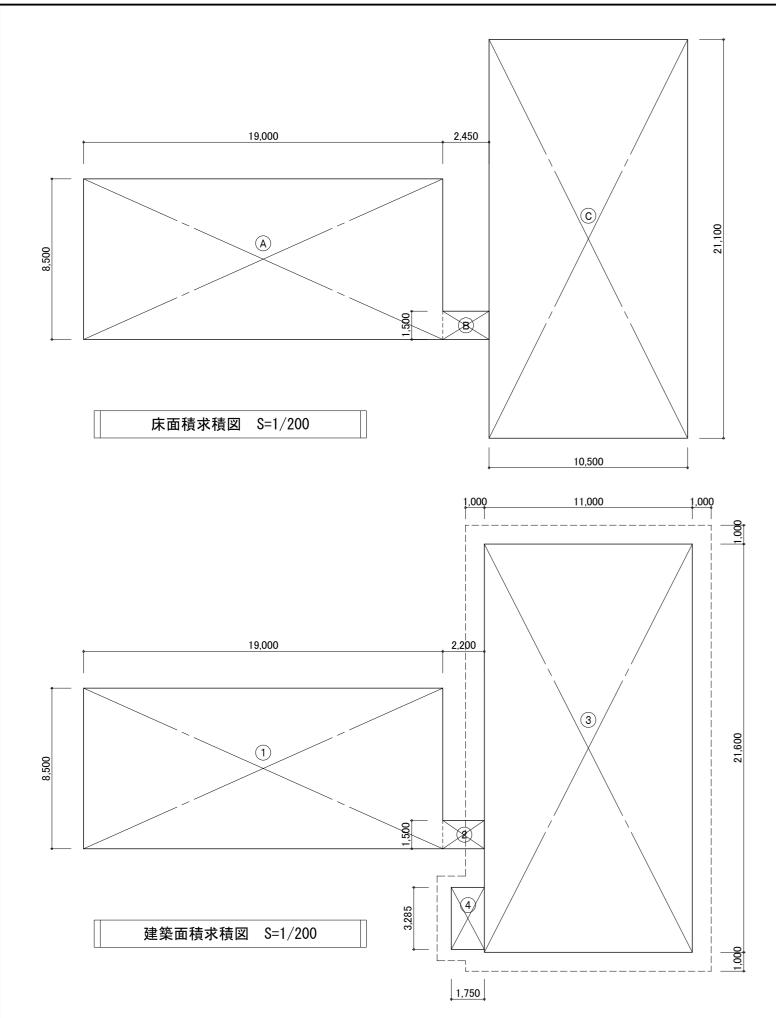
【内部仕上表】

(防滑・流し展ベタイプ) <参考:日本特殊塗料 ユータックコンプリート CPG 耐薬品性長尺ビニル床シート 厚2.0 貼	iU-3N> 下地:ラワン合板 厚5.5張 B	巾 木 3-1 仕上: 水性硬質ウレタン系塗材 厚 0.3 塗 (下地: C-1コテ全面塗)	仕 上 N-1 耐防汚化粧けい酸カルシウム板(比重0.8) 厚6張 目地:シーリング納まり 〈参考:アイカ ルナライトHD>	下地(防火区画図壁記号参照) 石膏ボード 厚 1 2.5 張 胴縁:杉15×45@303	仕 上 C-1 けい酸カルシウム板 厚6 目透し張 EP塗仕上	下 地 (野縁) 天井下地組:木製	 	天井高	備 考 天井物干金物 (3ヶ所) <参考:川口技研 Z-215型>
(防滑・流し展ベタイプ) <参考:日本特殊塗料 ユータックコンプリート CPG 耐薬品性長尺ビニル床シート 厚2.0 貼	iU-3N> 下地:ラワン合板 厚5.5張 B		目地:シーリング納まり		C-1 けい酸カルシウム板 厚6 目透し張 EP塗仕上	天井下地組:木製	E-1 ビニル製見切		天井物干金物 (3ヶ所) <参考:川口技研 Z-215型>
<参考:日本特殊塗料 ユータックコンプリート CPG 耐薬品性長尺ビニル床シート 厚2.0 貼	下地:ラワン合板 厚5.5張 B	(下地:C-1コテ全面塗)		胴縁:杉15×45@303	11				· · · · · · · = · · · · · · · · · · ·
耐薬品性長尺ビニル床シート 厚2.0 貼	下地:ラワン合板 厚5.5張 B		<参考:アイカ ルナライトHD>					2. 870	
								2,870	
	WE ##BAE E 4 OF	3-2 ソフト巾木 H=60	 -1 耐防汚化粧けい酸カルシウム板(比重 0 . 8) 厚 6 張	☆同上			E-1 ビニル製見切		 室名札(平付)250×50(国土交通省建築工事標準詳細図8-4
	捨張:構造用合板 厚12張		目地:シーリング納まり	!	<参考:吉野石膏 ジプトーン・ライト>	!		2 500	<参考:神栄ホームクリエイト SK-613Y-1>
	床組:乾式2重床		<参考:アイカ ルナライトHD>	 				2, 500	
耐薬品性長尺ビニル床シート 厚2.0 貼	下地:ラワン合板 厚5.5張 B	3-2 ソフト巾木 H=60		◇同上			E-1 ビニル製見切		室名札(平付) 250×50
	捨張:構造用合板 厚12張		目地:シーリング納まり		<参考:吉野石膏 ジプトーン・ライト>	-		0.500	
	床組:乾式2重床		<参考:アイカ ルナライトHD>	 				2, 500	
耐薬品性長尺ビニル床シート 厚2.0 貼	下地:ラワン合板 厚5.5張 B	3-2 ソフト巾木 H=60		○	C-2 化粧石膏ボード 厚9.5 (芋目地)張		E-1 ビニル製見切		室名札 (平付) 250×50
						!			
			<参考:アイカ ルナライトHD>			¦		2, 500	
ビニル床シート 厚2.0 貼	下地:ラワン合板 厚5.5張 B	3-2 杉厚30 H=60		↓◇同上	C-2 化粧石膏ボード 厚9.5 (芋目地)張		E-1 ビニル製見切		
								_, -,	
	床組:乾式2重床		OSCL塗	- L				2, 200	
防滑性ビニル床シート 厚2.0 貼	下地:ラワン合板 厚5.5張 B	3-2 ソフト巾木 H=60		☆同上	C-3 多機能けい酸カルシウム板 厚 6 張	<u>:</u> - 下地:シージング石膏ボード 厚9.5張	E-2 ビニル製見切		室名札 (平付) 250×50
	捨張:構造用合板 厚12張		目地:シーリング納まり		<参考:アイカ モイスNT>	天井下地組:木製		2 200	
	床組:乾式2重床		<参考:アイカ ルナライトHD>		※調湿・防臭・防かび性能			2, 200	
シャワーユニット0812									
仕様は別紙詳細図による									
防滑性ビニル床シート 厚2.0 張替	モルタル塗コテ押え B	3-2 ソフト巾木 H=60	クロス張替	◇同上(既存のまま)	既存のまま		既存のまま		
								2, 625	
					<u> </u>				
下 	耐薬品性長尺ビニル床シート 厚2.0 貼 ビニル床シート 厚2.0 貼 防滑性ビニル床シート 厚2.0 貼 シャワーユニット0812 仕様は別紙詳細図による	拾張:構造用合板 厚12張 床組:乾式2重床 下地:ラワン合板 厚5.5張 拾張:構造用合板 厚12張 拾張:構造用合板 厚12張 床組:乾式2重床 「下地:ラワン合板 厚5.5張 拾張:構造用合板 厚12張 床組:乾式2重床 「下地:ラワン合板 厚5.5張 「茶銀:乾式2重床 「下地:ラワン合板 厚5.5張 「茶銀:株田:乾式2重床 「下地:ラワン合板 厚5.5張 「茶銀:株田) 「下地:ラワン合板 厚5.5張 「茶銀:株田) 「下地:ラワン合板 厚5.5張 「大銀:・大田) 「下地:ラワン合板 厚5.5張 「大田) 「下地:ラワン合板 厚5.5張 「大田) 「下地:ラワン合板 厚5.5張 「大田) 「大田)	接張:構造用合板 厚12張 床組:乾式2重床 下地:ラワン合板 厚5.5張 B-2 ソフト巾木 H=60 単 接張:構造用合板 厚12張 床組:乾式2重床 ド地:ラワン合板 厚5.5張 B-2 杉 厚30 H=60 単 接張:構造用合板 厚12張 「床組:乾式2重床 単 床組:乾式2重床 単 床組:乾式2重床 単	拾張・構造用合板 厚 1 2張 日地・シーリング納まり 「未組・乾式 2 重床 日地・シーリング納まり 「未銀・乾式 2 重床 日地・シーリング納まり 「本銀・乾式 2 重床 日地・シーリング納まり 「本銀・乾式 2 重床 日地・シーリング納まり 「本銀・乾式 2 重床 「本銀・乾式 2 重体 2 「表銀・大田 2 「本銀・大田	拾張:構造用合板 厚 1 2張 日地・シーリング納まり 日地・シーリング納まり 日地・シーリング納まり マラン合板 厚 5.5張 B-2 フフト巾木 H=6 0 明1 耐防汚化粧けい酸カルシウム板(比重0.8) 厚 6張 今同上 日地・シーリング約まり マラス・アイカ ルナライトHD> 日地・シーリング約まり マラス・アイカ ルナライトHD> ビニル床シート 厚 2.0 貼 下地・ラワン合板 厚 5.5張 B-2 杉 厚 3.0 H=6 0 円2 課 平3 課下・杉板(本美加工・働き幅120mm) 厚 1.2 構張 のS C L 塗 のS C L 塗 のS C L 塗 日地・シーリング約まり 日地・シーリング約まり 日地・シーリング約まり 日地・シーリング約まり 日地・シーリング約まり 日地・シーリング約まり 日地・シーリング約まり 日地・シーリング約まり 日地・シーリング約まり マラス・アイカ ルナライトHD> 日地・シーリング約まり 日地・シーリング約まり 日地・シーリング約まり 日地・シーリング約まり マラス・アイカ ルナライトHD> 日地・シーリング約まり 日地・シーリング約まり 日地・シーリング約まり マラス・アイカ ルナライトHD> 日地・シーリング約まり マラス・アイカ ルナライトHD> 日地・シーリング約まり マラス・アイカ ルナライトHD> 日地・シーリング約まり マルナー・アイカ ルナライトHD> マラス・アイカ ルナライトHD> マラス・アイカ ルナライトHD> マラス・アイカ ルナライトHD> マラス・アイカ ルナライトHD> マス・アイカ ルナライトHD> マス・アイトHD> マス・アイカ ルナライトHD> マス・アイカ ルナライトHD> マス・アイカ ルナライトHO> マス・アイカ ルナライト 日本・アイカ ルナライト 日本・アイカ ルナライト 日本・アイカ ルナライト 日本・アイカ ルナカ ルナカ ルナカ ルナカ ルナカ ルナカ ルナカ ルナカ ルナカ ルナ	接接、構造用金版 度 1 2 弦	機能・機動的板 厚 1.2 性	指接・機能用金額 厚 1 2 接 発生を表 日曜・シーリング始まり <参考・吉野石舎 ジブトーン・ライト> 「	接接 株式2主味 日報: シーリング除きり 日報: シーリング除きり 名の 日報: シーリングを取り 名の 日報: シーリングを取り 名の 日報: シーリングを取り 名の 日報: シーリングを取り 日本: シーングを取り 日本

特記事項	屋内化学物資濃度測定		略号・記号一覧	
1. ステンレスは特記なき限りSUS304(HL仕上)とする。	測定物質 アルデヒド類 (ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド)		PB 石膏ボード	
2. 工事現場の災害防止については、道路(運搬路)・敷地・周囲の状況を考慮し、適切な対策及び予防措置を講ずること。	VOC類(トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン・パラジクロロベンゼ	·····································	SUS ステンレス	
3. 工程については施設関係者と連絡を密にし、要望に協力しながら施工する。	測定場所 一般検査室、精密検査室、臨床検査室		Exp. J エキスパンションジョイント	
4. 部材・仕上材の材質・色彩等で協議・確認を要するものは、色見本等を監督員に提出し協議の上決定すること。	測定方法 厚生労働省策定基準に準ずる。		LGS 軽量鉄骨	
5. 工事現場では常に整理し、清潔を保ち、工事完了に際しては現場内外を清掃すること。			EP 合成樹脂エマルションペイント	
6. 工事に先立ち、「既存外壁吹付」「既存撤去部石膏ボード」のアスベスト含有調査を行うこと。	使用材料 防火認定番号一覧		SOP 合成樹脂調合ペイント	
	石膏ボード(GB-R) 厚9.5<参考:吉野石膏 タイガーボード>	準不燃 QM-9828	UC ウレタン樹脂ワニス塗	
	石膏ボード(GB-R) 厚12.5 <参考: 吉野石膏 タイガーボード>	不 燃 NM-8619	VOC 揮発性有機化合物	
	両面ガラス繊維ネット張セメントモルタル板 厚12.5<参考:吉野石膏 デラクリートセメントボード>	不 燃 NM-2083		
	ガラス繊維混入せっこうボード (GB-R) 厚9.5 張く参考: 吉野石膏 タイガーEXハイパー>	準不燃 QM-0954-1		
	化粧石膏ボード(GB-D) 厚9.5<参考:吉野石膏 タイガージプトーン・ライト>	準不燃 QM-0524	その他	
	耐防汚化粧けい酸カルシウム板 厚6<参考:アイカ ルナライトHD>	不 燃 NM-5037		
	けい酸カルシウム板(0.8FK) 厚6	不 燃 NM-1217		
	クロス貼(木目調を含む)※準不燃下地	準不燃 QM-0000		
	クロス貼(木目調を含む)※不燃下地	不 燃 NM-0000		
				鳥取県
				J 2300498
				総務部営繕課

仕上表





A 19.000 × 8.500 = 161.500 B 2.450 × 1.500 = 3.675 C 10.500 × 21.100 = 221.550

1 19.000 × 8.500 = 161.50000 2 2.200 × 1.500 = 3.30000 3 11.000 × 21.600 = 237.60000

【既存建物】(事務所・家畜診療所) 延床面積 C = 221.55 ㎡

建築面積 3+4 = 243.34 ㎡

4 1. 750 × 3. 285 = 5. 74875

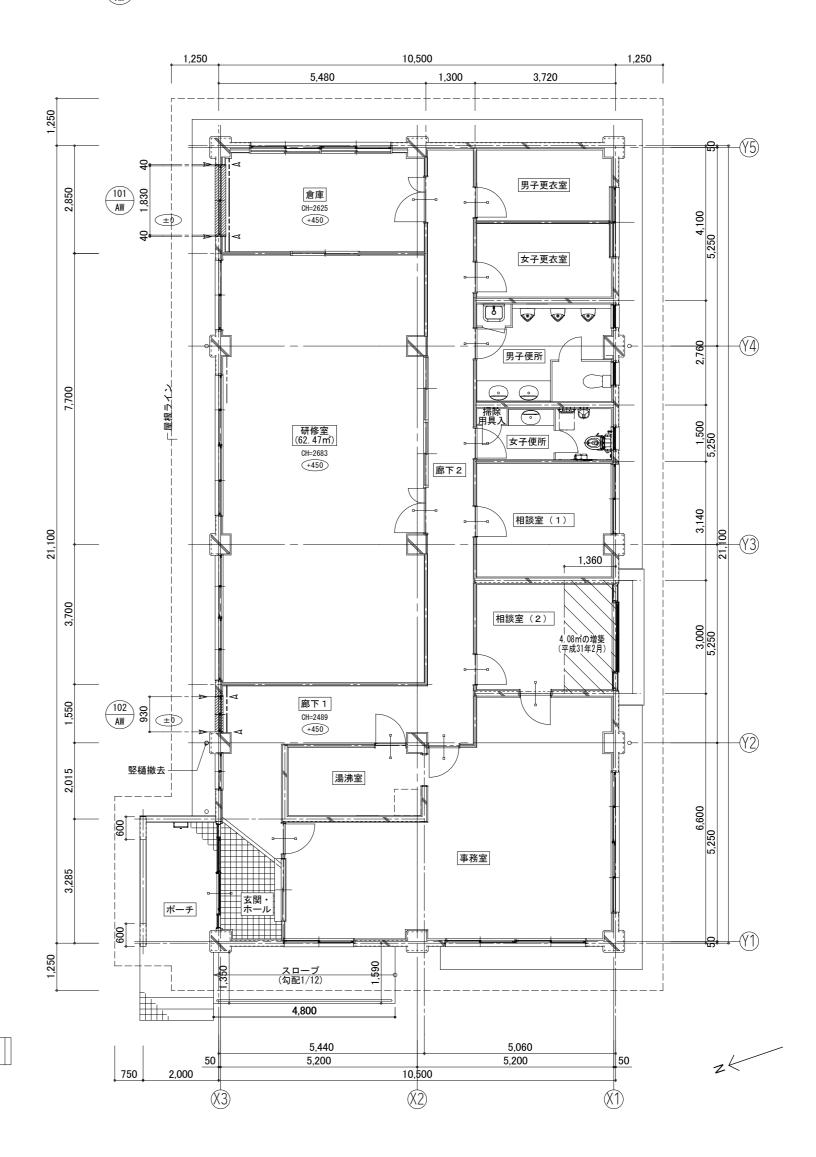
【申請建物】(増築部分) 延床面積 A+B = 165.17 ㎡ 建築面積 1+2 = 164.80 ㎡

【面積表】

【四次公】				
	増築建物 (家畜診療所)	既存建物 (事務所・家畜診療所)	既存建物 (家畜焼却施設)	合 計
敷地面積				2436. 58m²
1階床面積	165. 17 m ²	221. 55 m ²	96. 85 m ²	483. 57m²
延床面積	165. 17 m ²	221. 55 m ²	96. 85 m ²	483. 57m²
建築面積	164. 80m²	243. 34m²	96. 85 m ²	504. 99 m ²

101 AW ・・・アルミ引違い窓 W1800×H1300

102 AW ・・・アルミ引違い窓 W900×H900



【凡例】

: 建具撤去を示す

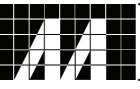
∀ : コンクリートカッター入れ

±0 : G L からの床レベルを示す

----: 仮設間仕切壁 (C種) を示す

平面図(増築・改修前) S=1/100

鳥取県 令和5年度 J 2300498 総務部営繕課



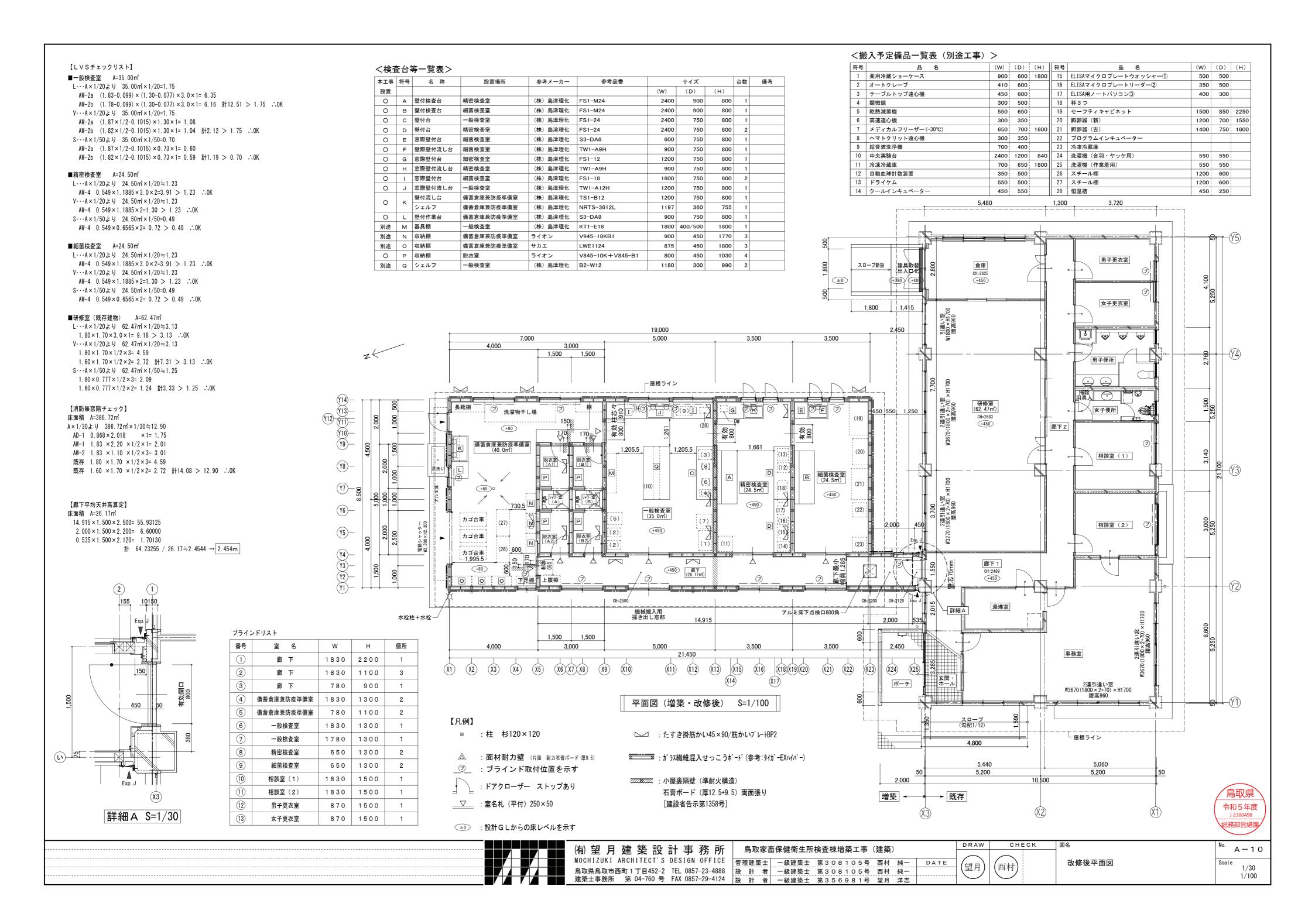
鳥取県鳥取市西町 1 丁目452-2 TEL 0857-23-4888 | 設計者 | 一級建築士 第308105号 西村 純一建築士事務所 第 04-760号 FAX 0857-29-4124 | 設計者 | 一級建築士 第356981号 望月 洋志

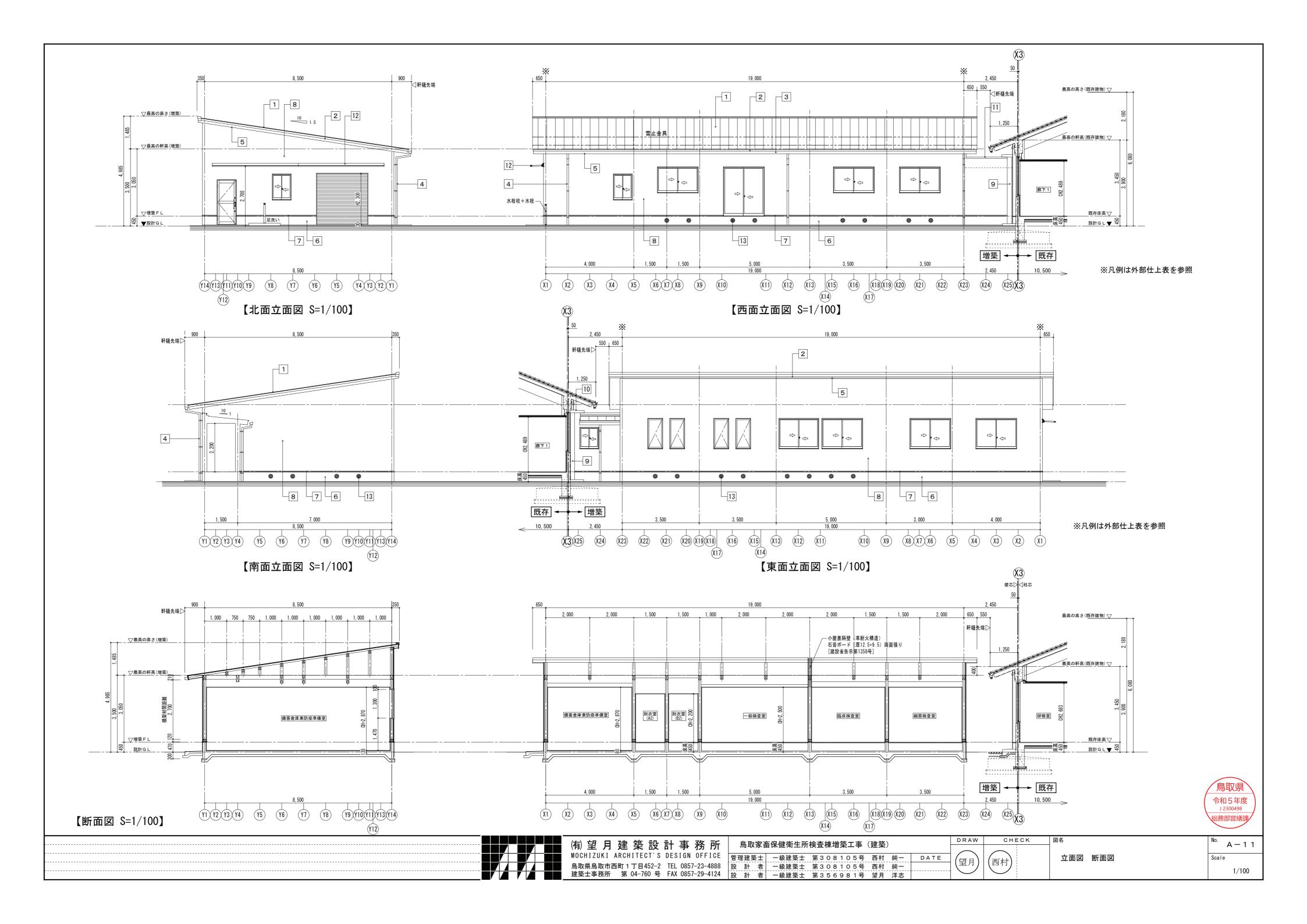
鳥取家畜保健衛生所検査棟増築工事(建築) MOCHIZUKI ARCHITECT'S DESIGN OFFICE 管理建築士 一級建築士 第308105号 西村 純一 DATE

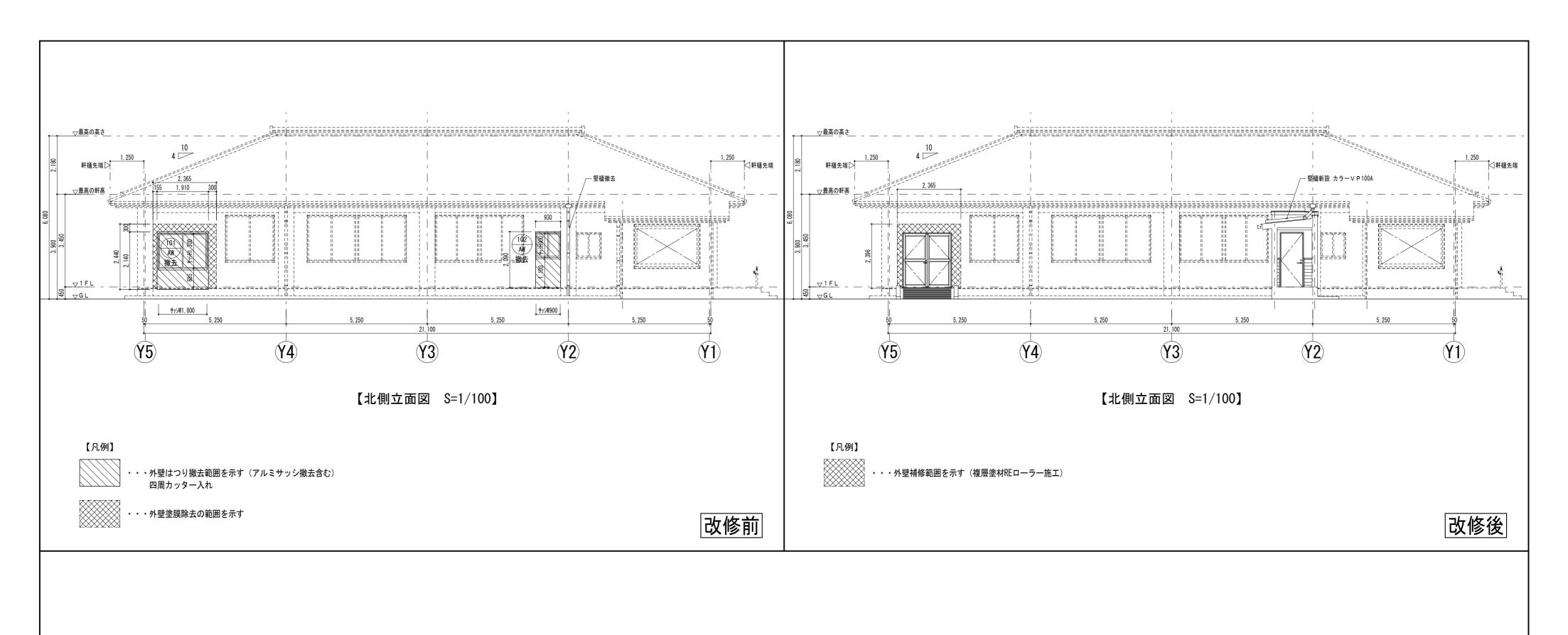
DRAW CHECK (西村) (望月)

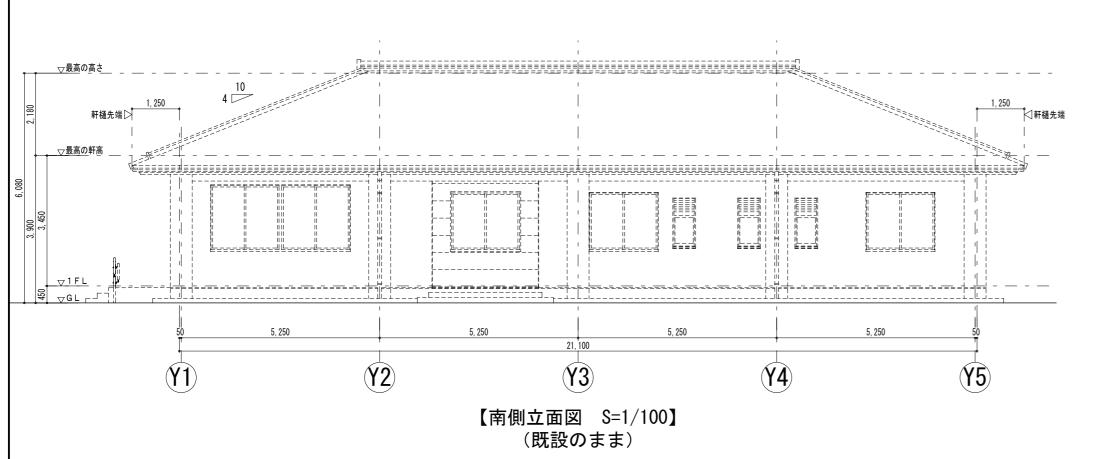
床面積求積図 改修前平面図

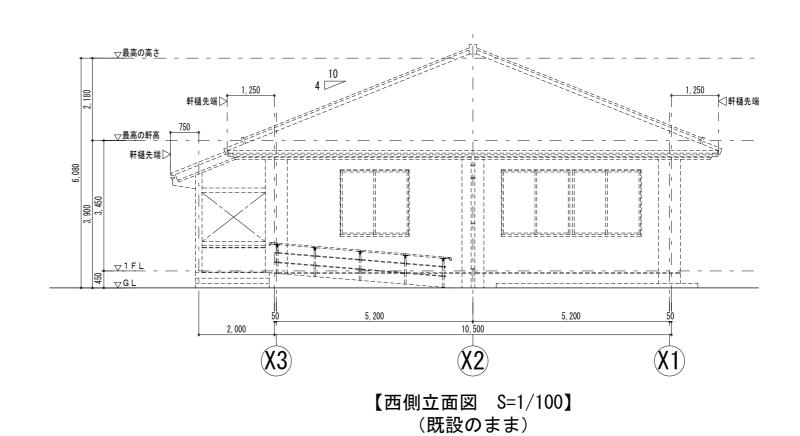
A - 09Scale 1/200



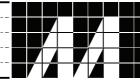












 (有) 望月建築設計事務所
 鳥取家畜保健衛生所検査棟増築工事(建築)

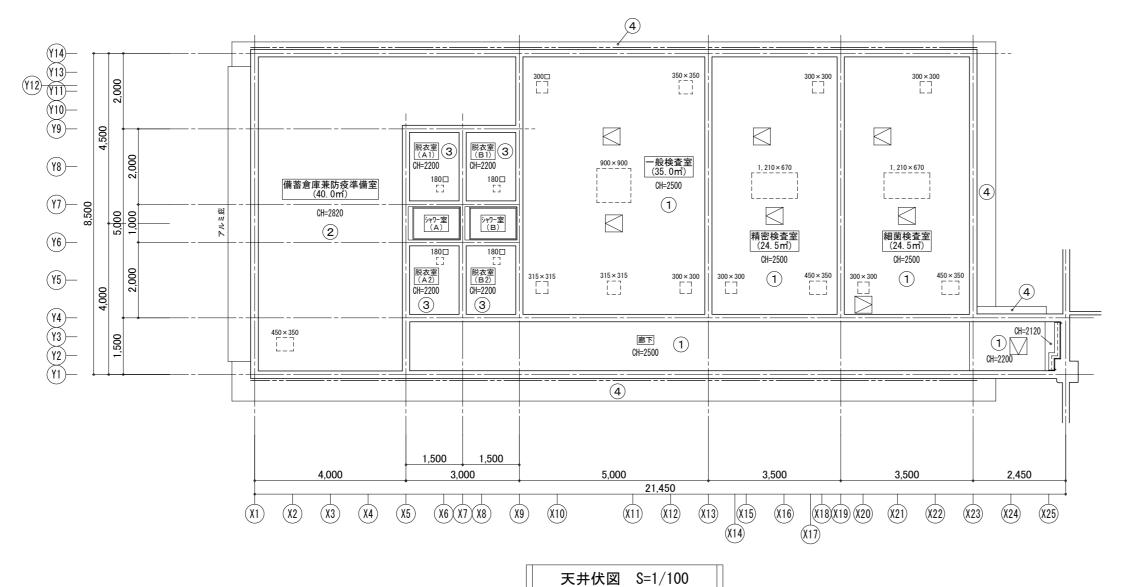
 MOCHIZUKI ARCHITECT'S DESIGN OFFICE
 管理建築士 一級建築士 第308105号 西村 純一 DATE

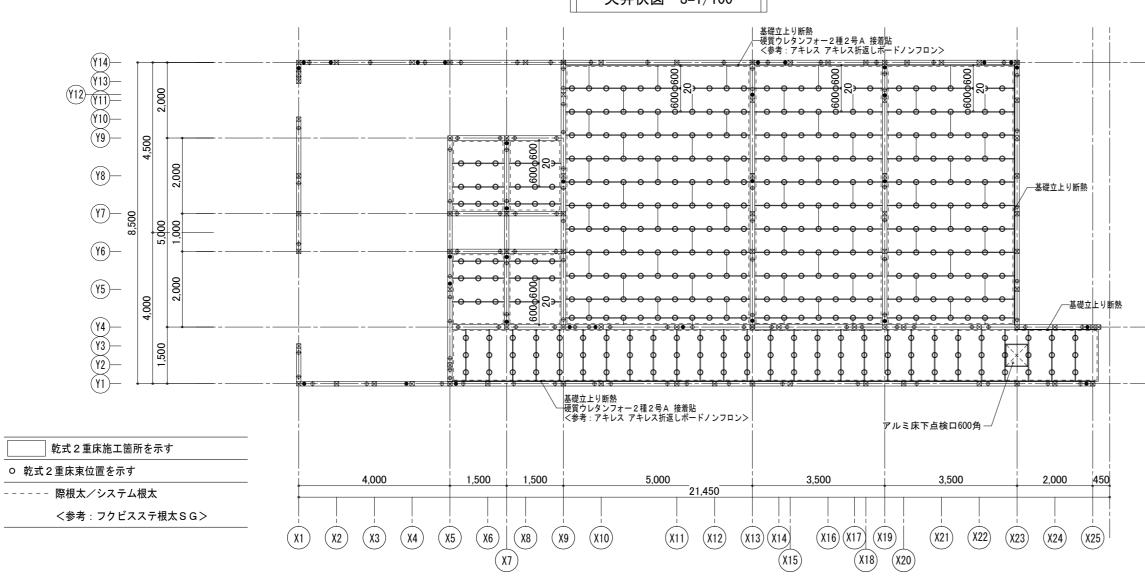
 鳥取県鳥取市西町1丁目452-2 TEL 0857-23-4888
 設計者 一級建築士 第308105号 西村 純一 設計者 一級建築士 第356981号 望月 洋志

DRAW CHECK 望月 (西村)

立面図 [改修前・後]

A - 12Scale

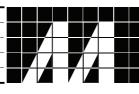




【凡例】

	仕上: 化粧石膏ボード 厚9.5 (芋目地)張
1	<参考:吉野石膏 ジプトーン・ライト>
	天井下地組:木製
	仕上:けい酸カルシウム板 厚6 目透し張 EP塗仕上
(2)	天井下地組:木製
	仕上:多機能けい酸カルシウム板 厚6 張
(3)	<参考:アイカ モイスNT> ※調湿・防臭・防かび性能
	下地:シージング石膏ボード 厚9.5張
	天井下地組:木製
	パルプ繊維混入セメント板(スチップル調) 厚12 張
(4)	<参考:ニチハ 軒天12>[NM-3010]
[-]	設備機器用開口 ※寸法は特記による
	アルミ天井点検ロ 450角
	軒天換気材 カラー鋼板製





床伏図 S=1/100

侑望月建築設計事務所

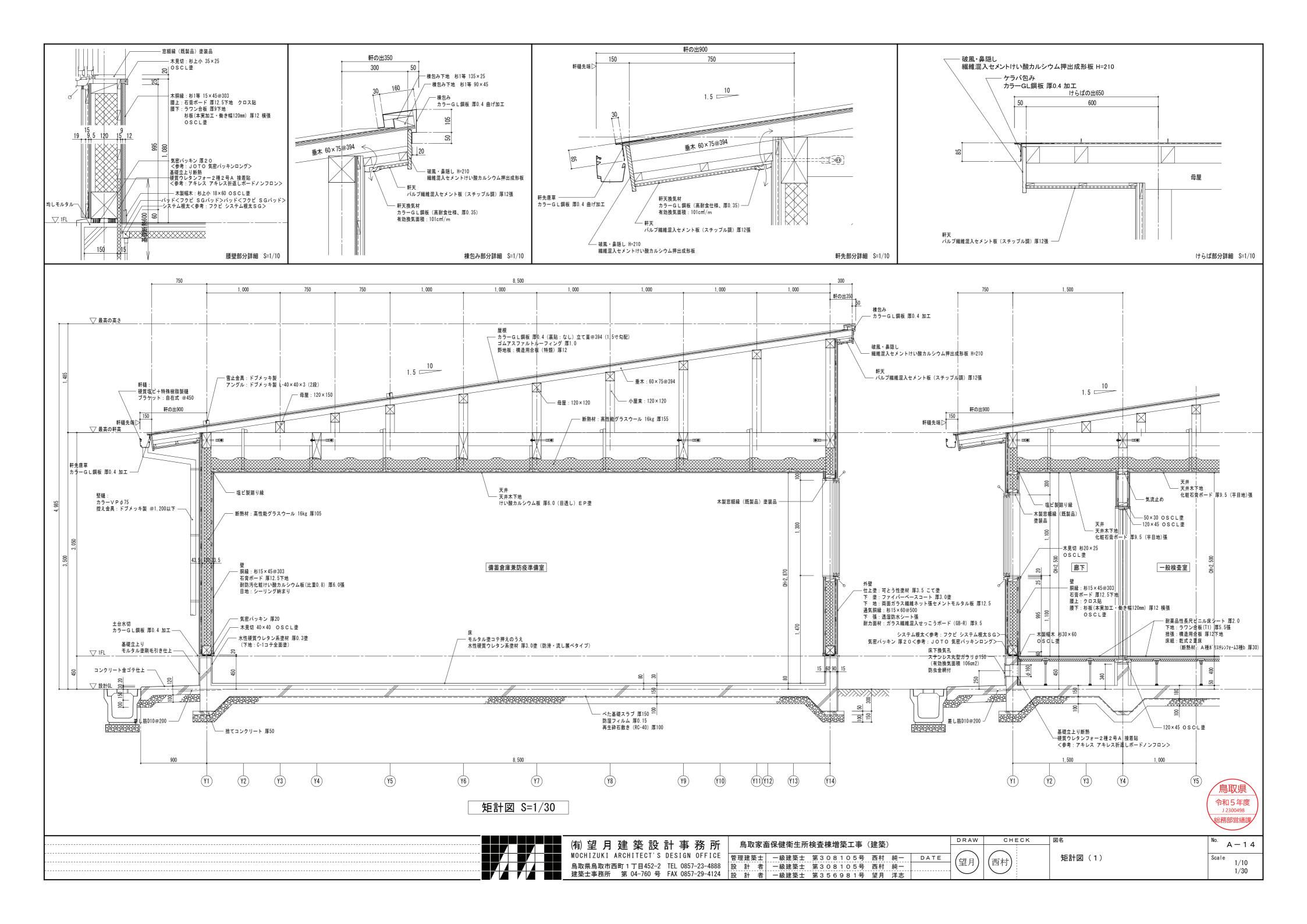
鳥取家畜保健衛生所検査棟増築工事(建築) MOCHIZUKI ARCHITECT'S DESIGN OFFICE 管理建築士 一級建築士 第308105号 西村 純一 DATE (望月) 鳥取県鳥取市西町 1 丁目452-2 TEL 0857-23-4888 設計者 一級建築士 第308105号 西村 純一建築士事務所 第 04-760号 FAX 0857-29-4124 設計者 一級建築士 第356981号 望月 洋志

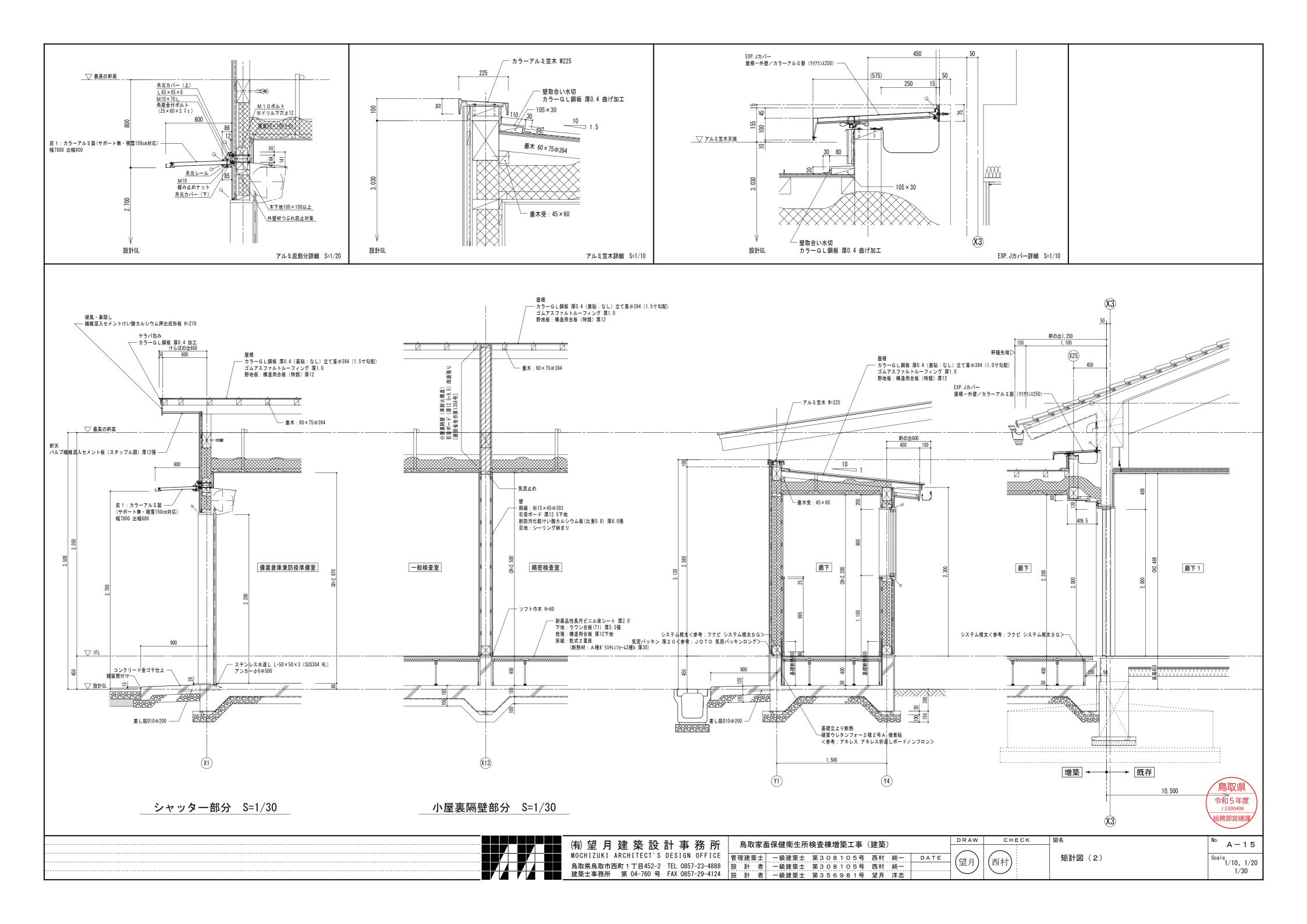
DRAW (西村)

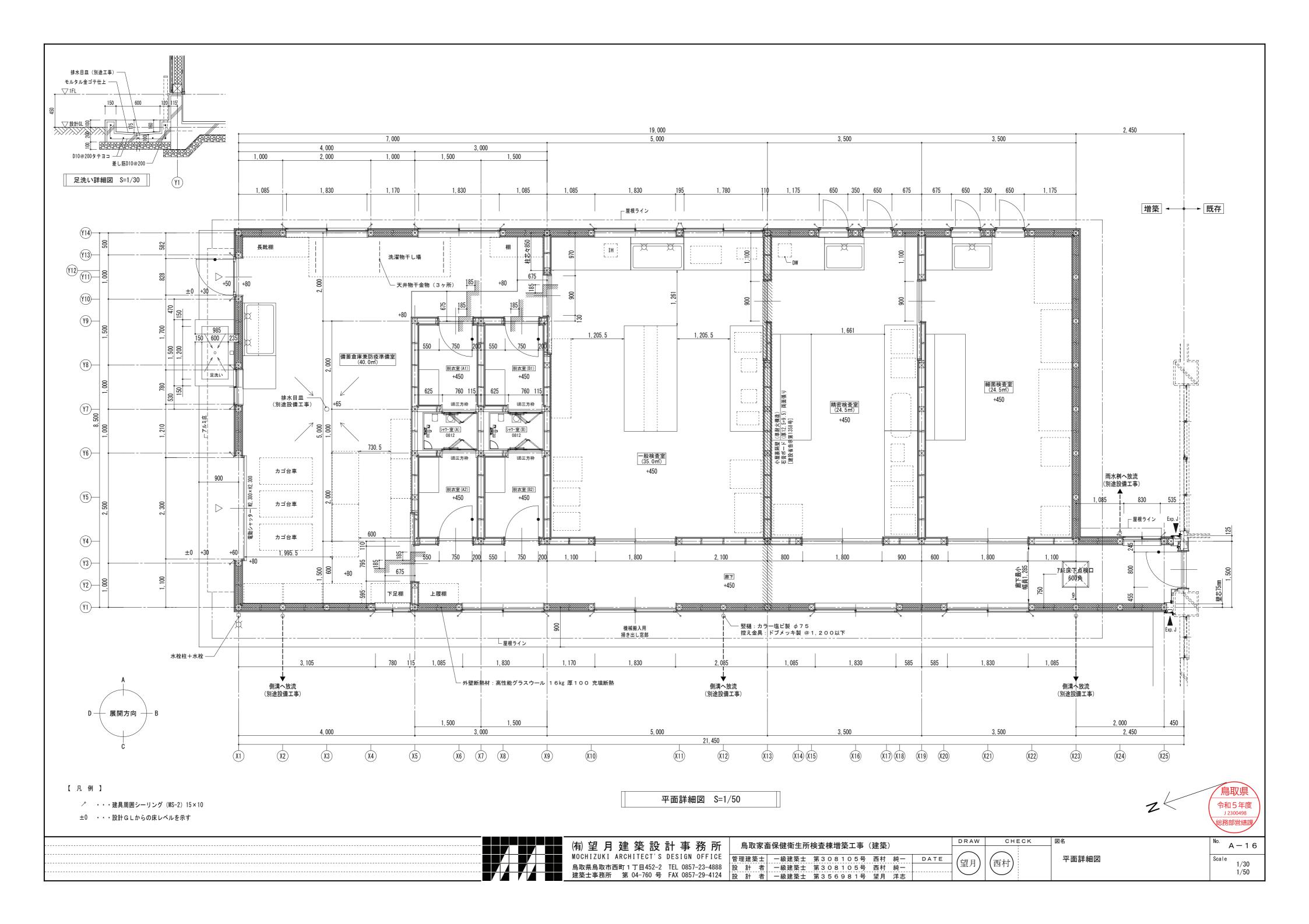
CHECK

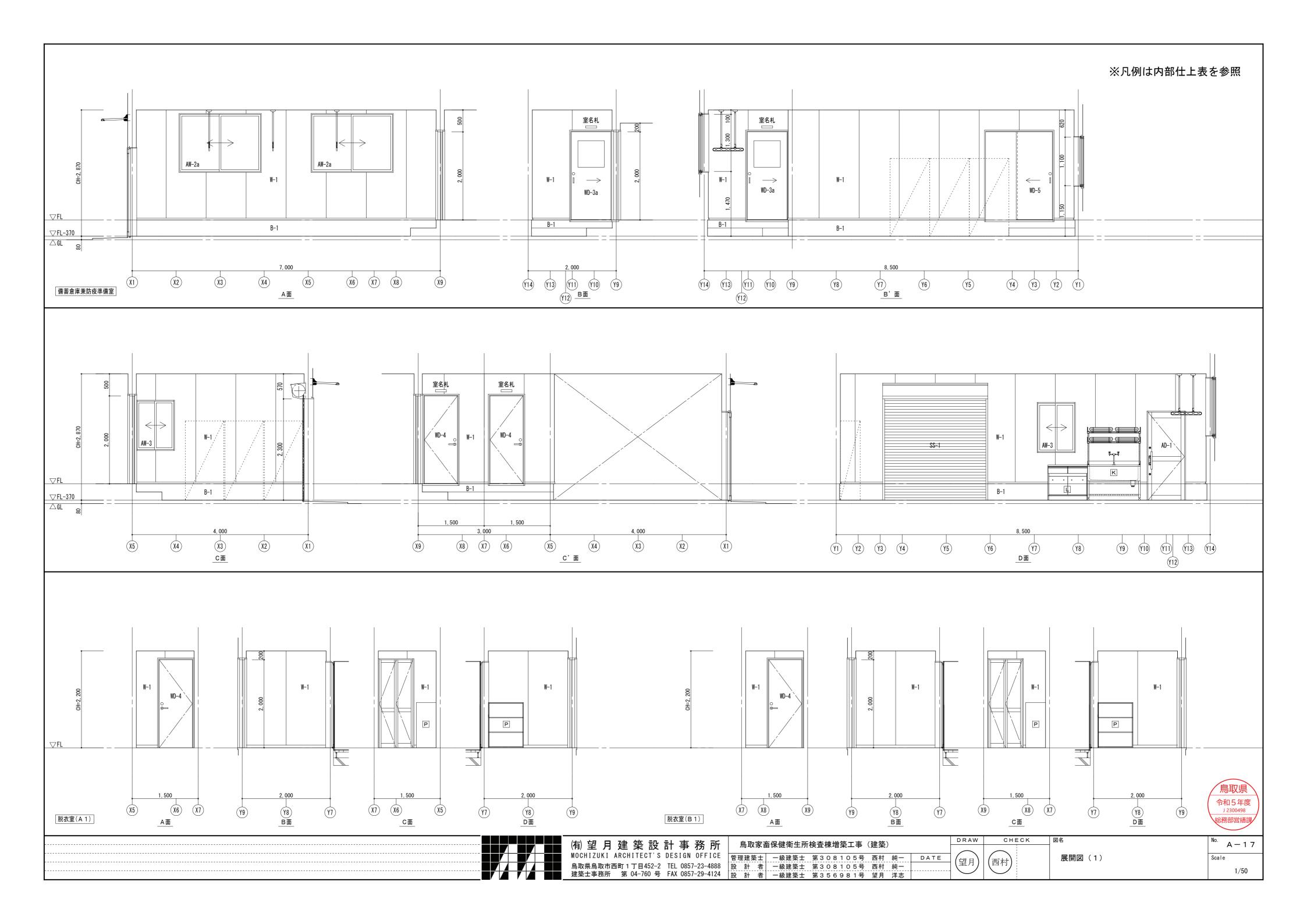
床伏図 天井伏図

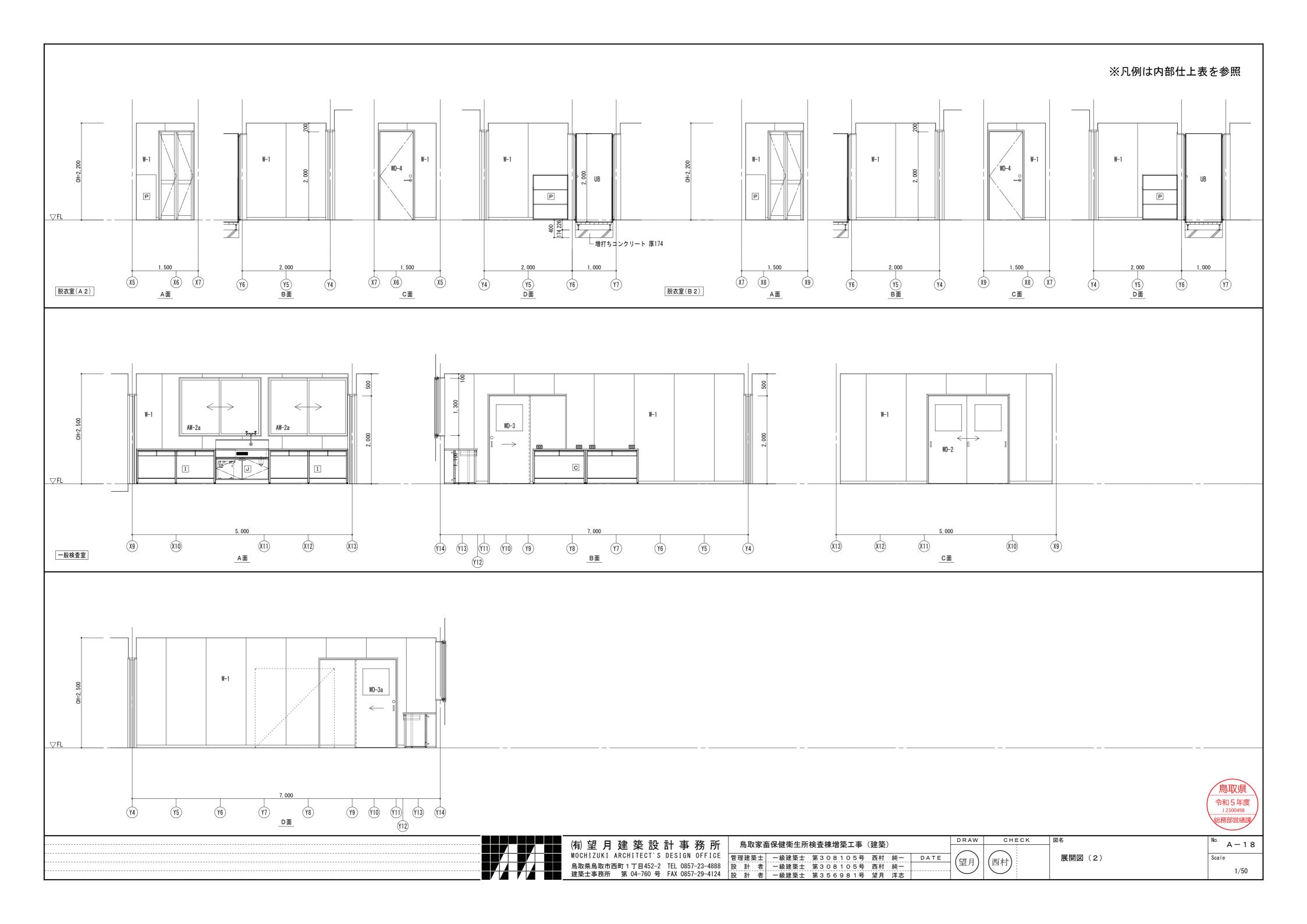
A - 13Scale

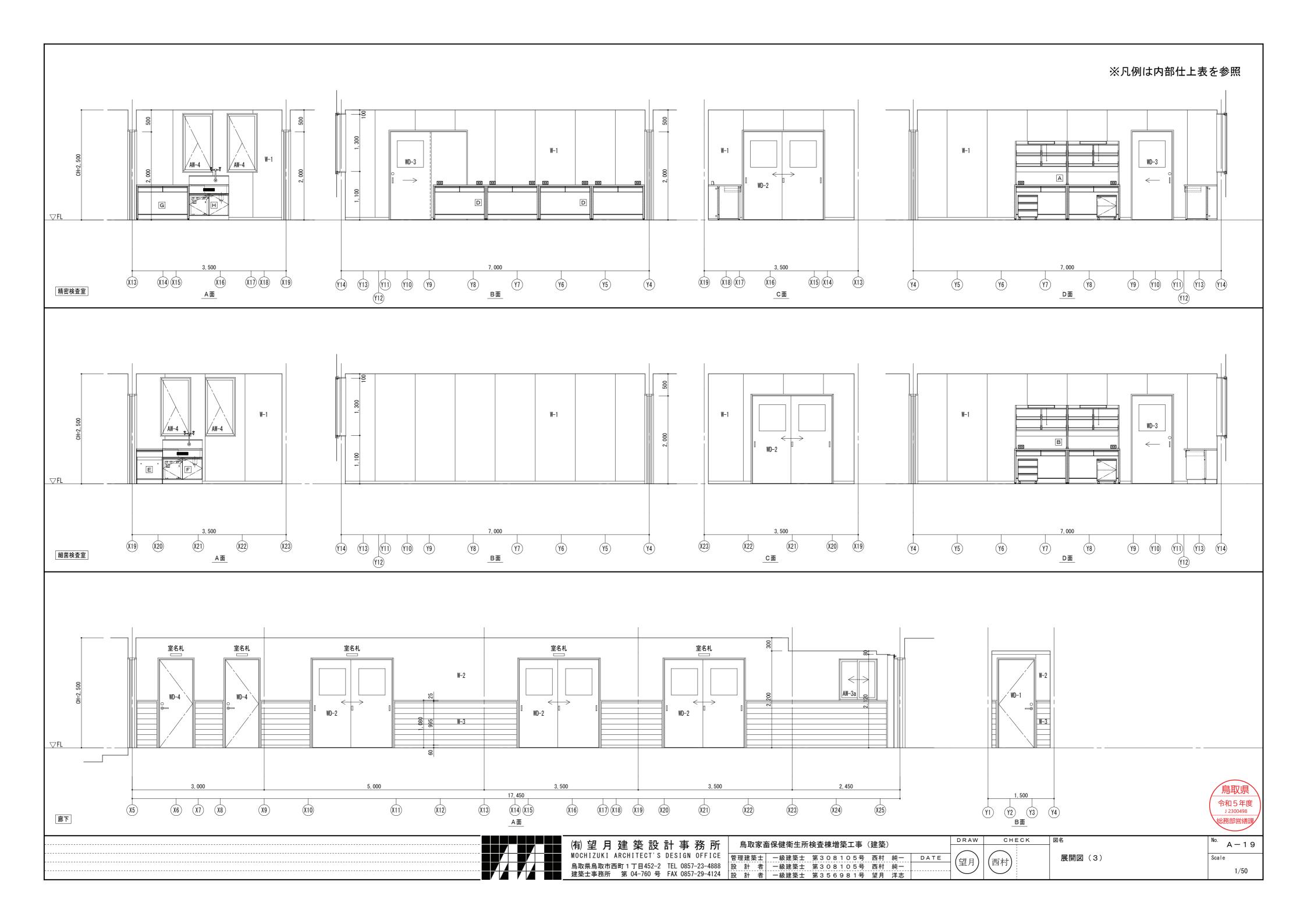






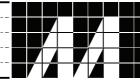






※凡例は内部仕上表を参照 W-2 W-2 AW-1 < AW-2 AW-2 W-3 1, 080 WD-5 W-3 ∇ FL 2, 450 3, 500 5, 000 3, 000 1,500 Y4 Y3 Y2 Y1 17, 450 X15 X14 <u>C面</u> X20 X19 X18 X17 X16 XII X10 X9 X8 X7 X6 X22 X12 X13 X5 廊下



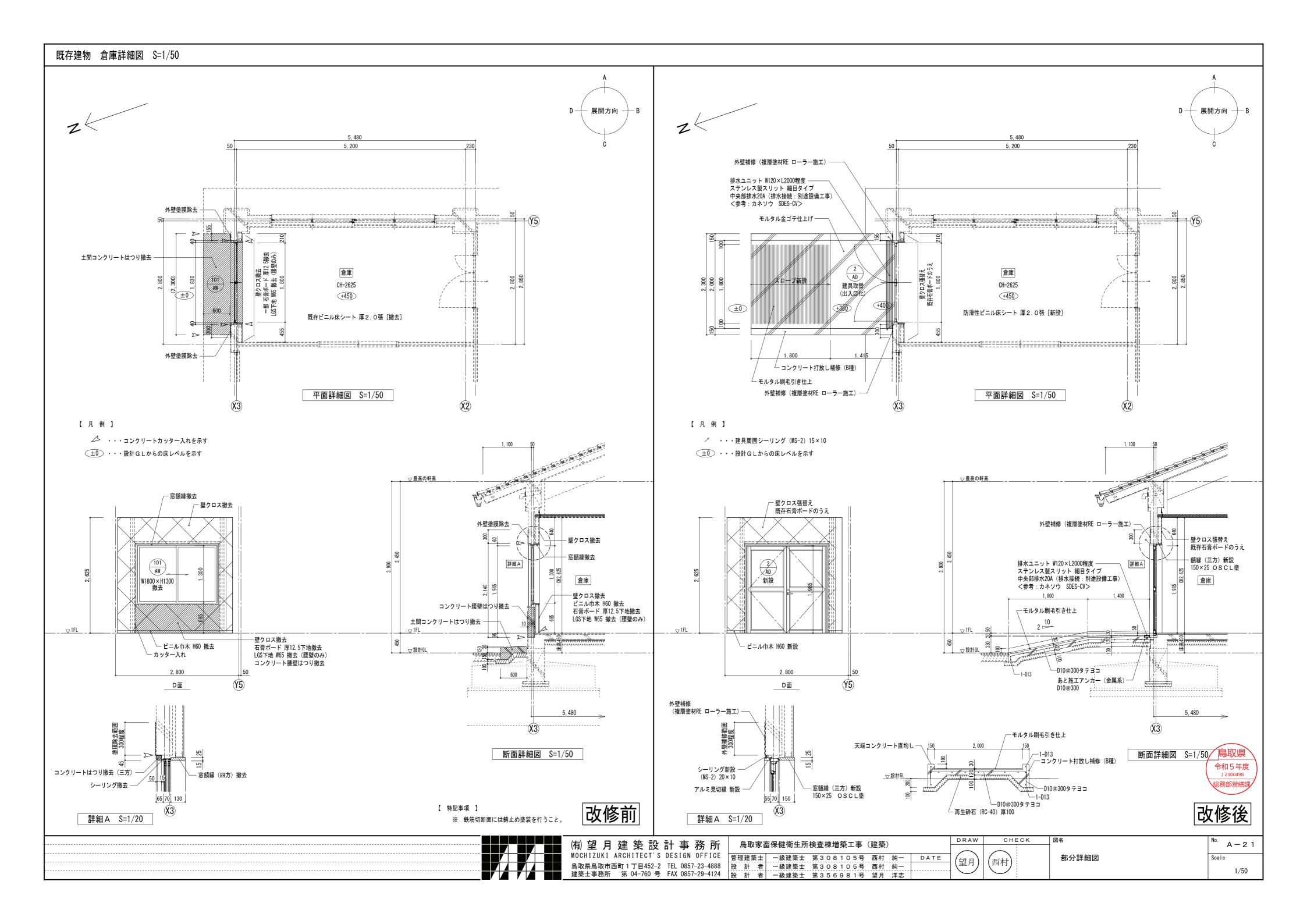


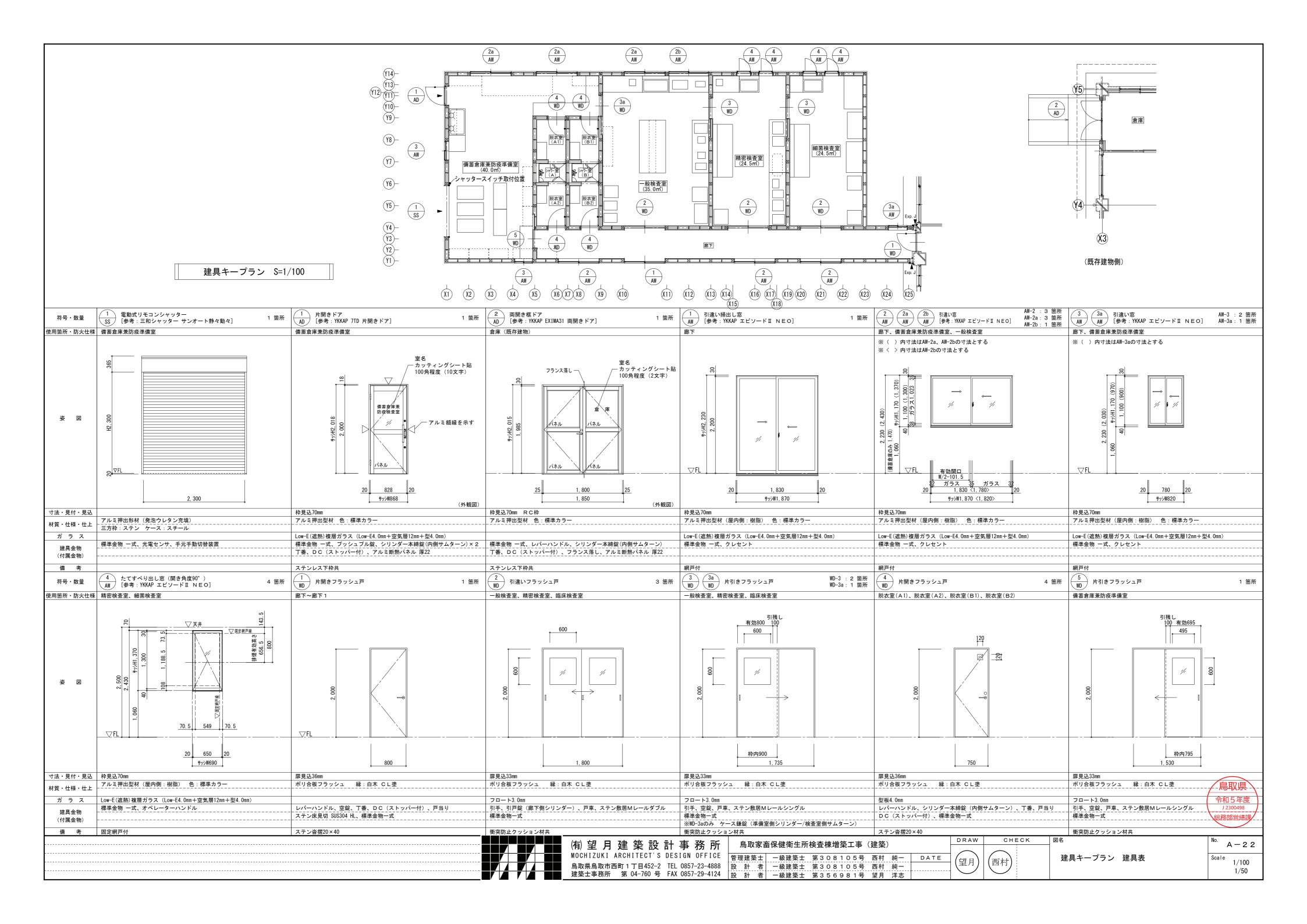
西村

望月

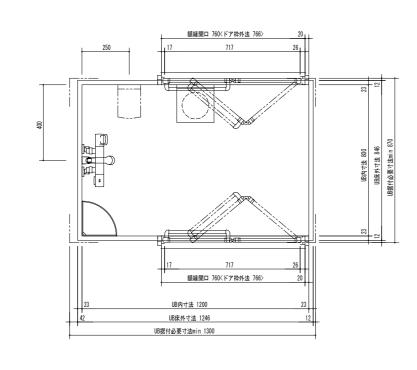
A - 20Scale

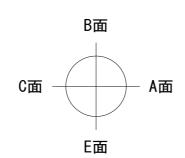
展開図(4)



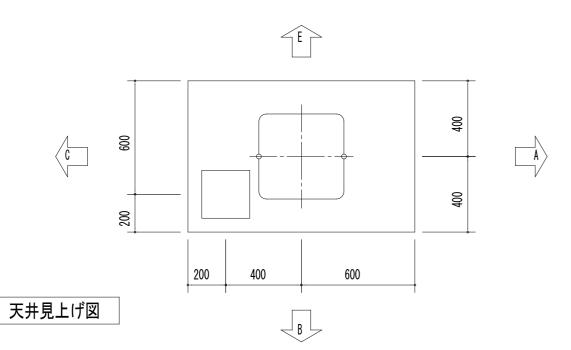


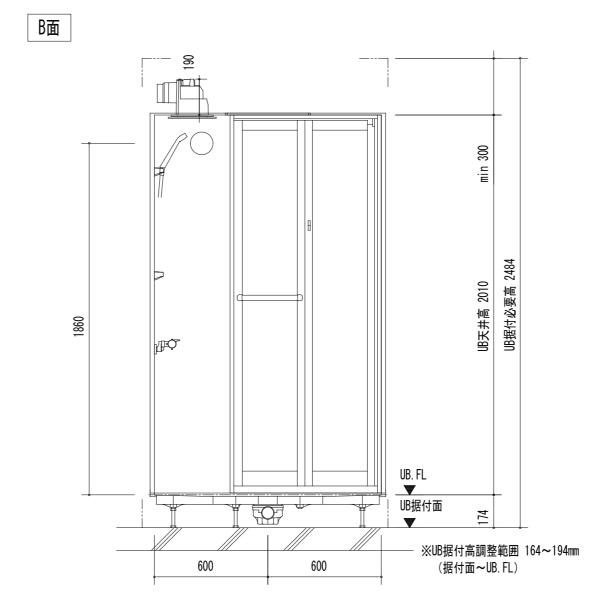
部位/項目	仕様(寸法単位:mm)	壁穴加工
床	FRP 単色 模様付	
壁	化粧パネル(標準クラス)	
天井	化粧鋼板複合パネル	
ドア	折 戸:アルミアルマイト処理 面 材:型板調樹脂板	
水栓金具	壁付サーモ水栓 シャワー専用	現場開口
シャワーフック	樹脂製 2個	現場開口
照明	スリム照明(防湿型) LEDランプ 1灯	現場開口
収納	コーナー棚2段 樹脂製	現場開口
換気扇	天井換気扇	
トラップ	ABS樹脂製 封水50mm	
給水管	Rc1/2 めねじ止	
給湯管	Rc1/2 めねじ止	
雑排水管	塩ビ管 VP50	
		_

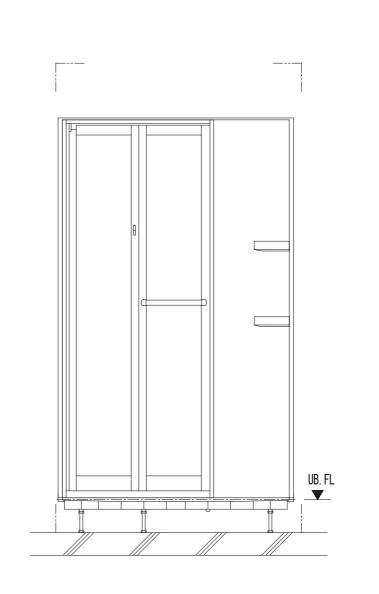


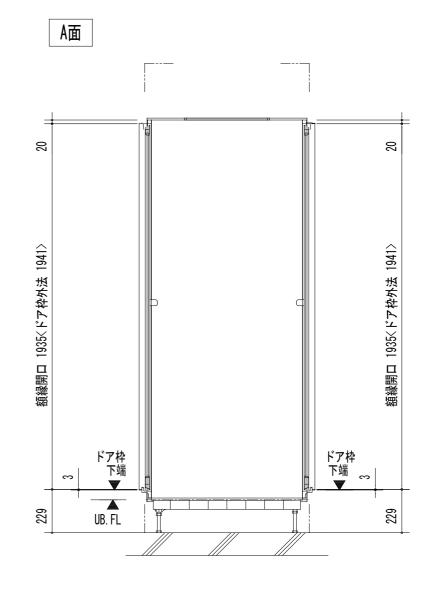


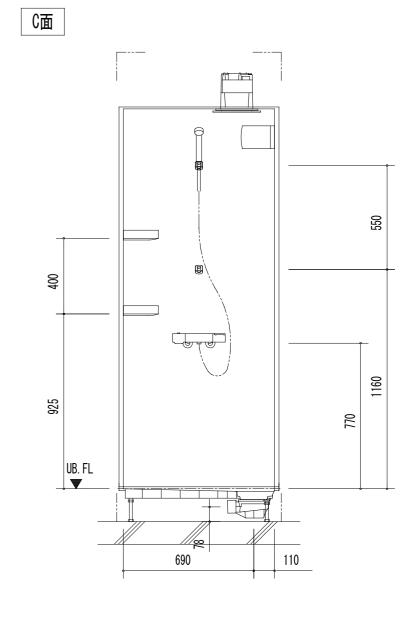
E面

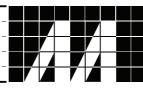












(望月)

CHECK (西村)

ユニットバス詳細図

A - 23Scale

鳥取県

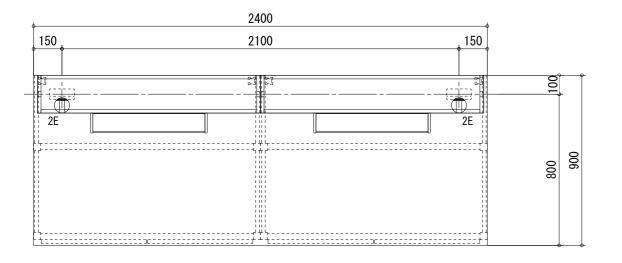
令和5年度 J 2300498 総務部営繕課

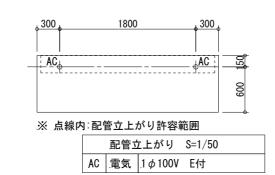
壁付検査台<参考:(株)島津理化 FS1-M24特>

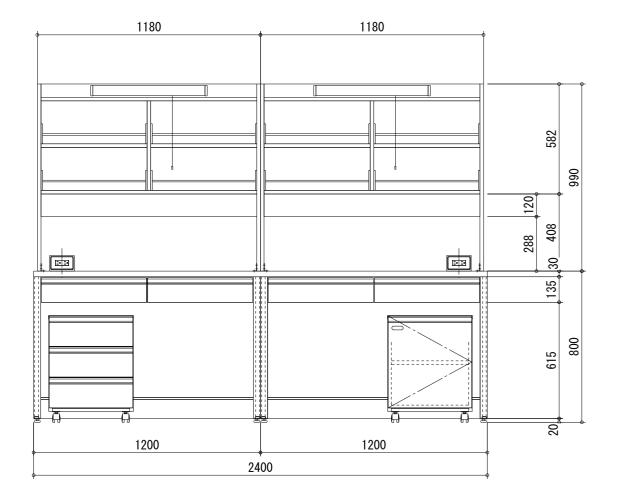
符号	階 数	部	屋	名	台数
Ą	1 階	精密検査	室		1 台
В	1 階	細菌検査	室		1 台

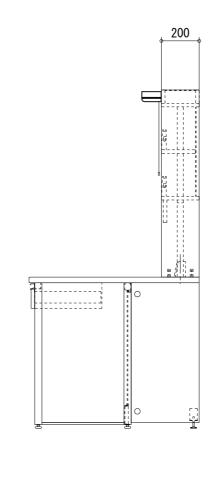
<u>,</u>		
天 板	サイファス t=30mm	
	エッジ:ポリプロピレン製 コーナーR	
本体主材	角鋼管フレーム 耐薬品性焼付け塗装 レベルアジャスター付き	
	色:ライトグレー	
.側 板	低圧メラミン両面化粧パーチクルボード F☆☆☆☆ t=19mm	
	色:ホワイト	
試 薬 棚	低圧メラミン両面化粧パーチクルボード F☆☆☆☆ t=19mm	
	二段式セーフティパイプ φ9.0mm	
付属品	卓上コンセントボックス(片面用)	2
	ACコンセント(125V・15A・2P・2連・7-ス付)	2
	システムワゴン E1-A(引出し3段, ソフトクローズ仕様)	.1
	システムワゴン E1-C(開き戸, ソフトクローズ仕様)	.1
	LED照明	2
	試薬棚固定用金具	.8

※引出しをソフトクローズ仕様とする



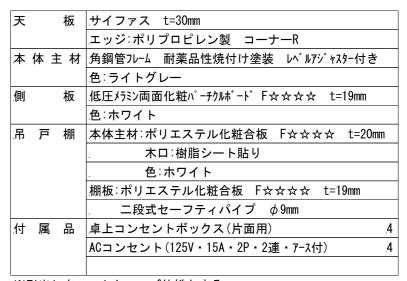




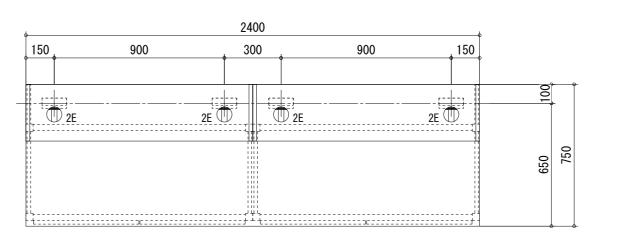


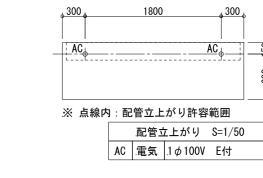
壁付台 <参考:(株)島津理化 FS1-24特>

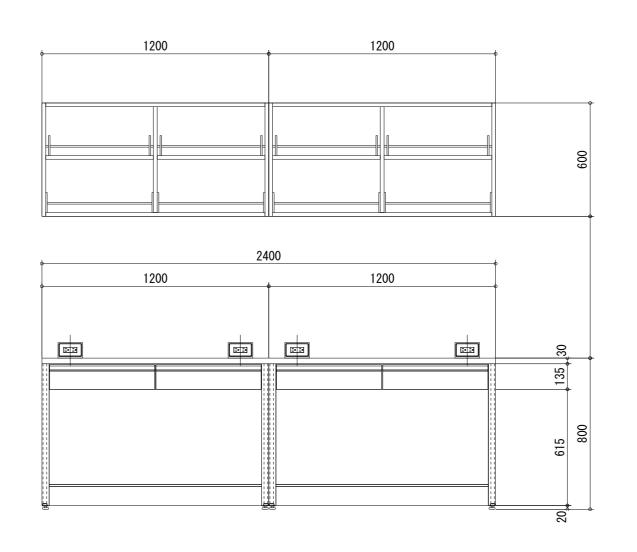
符号	階 数	部 屋	名	台数
C	1 階	一般検査室		1 台
D	1 階	精密菌検査室		2 台

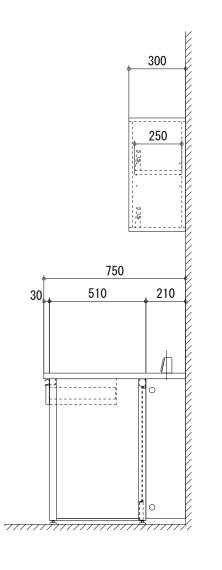


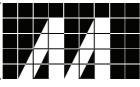
※引出しをソフトクローズ仕様とする







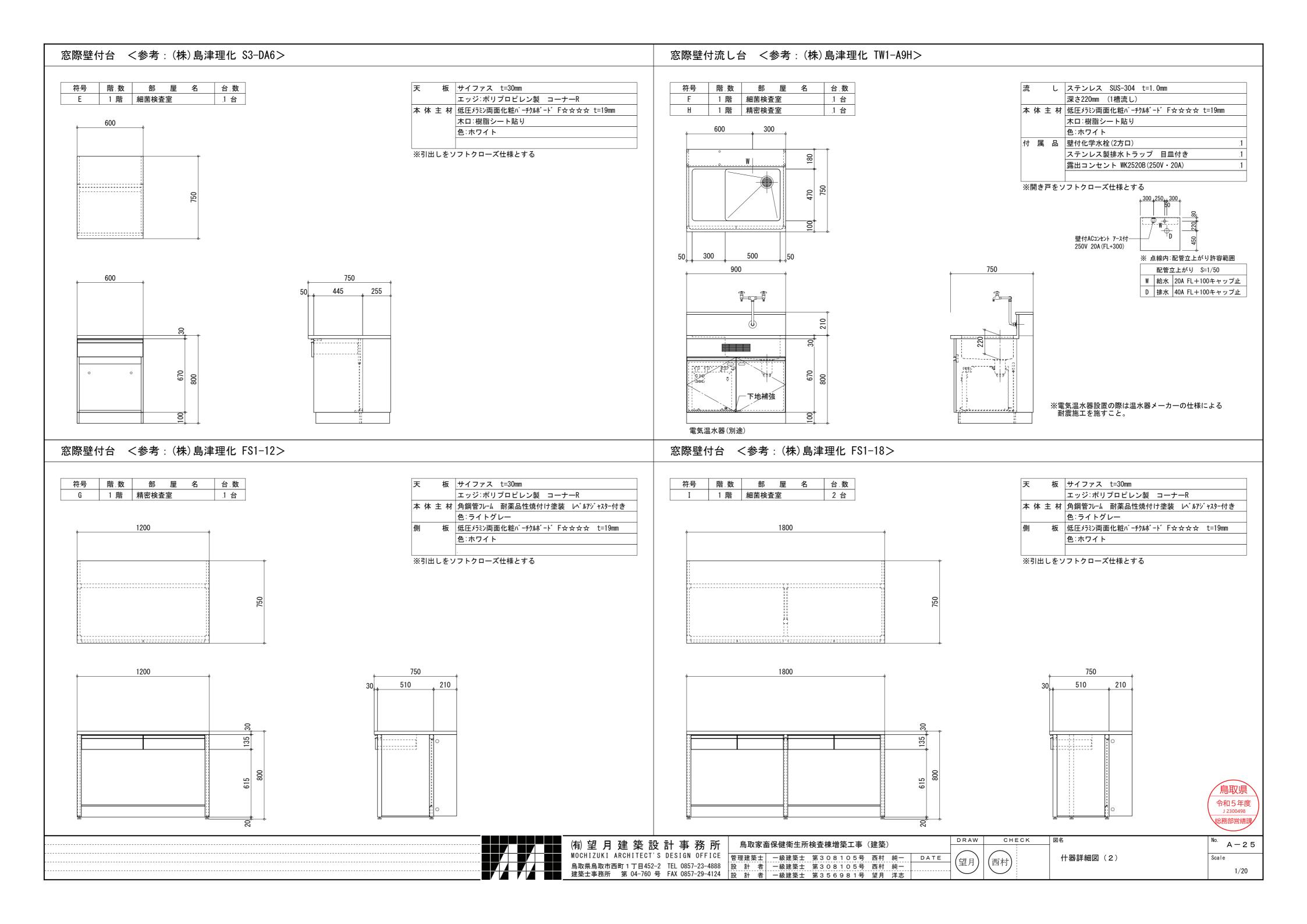


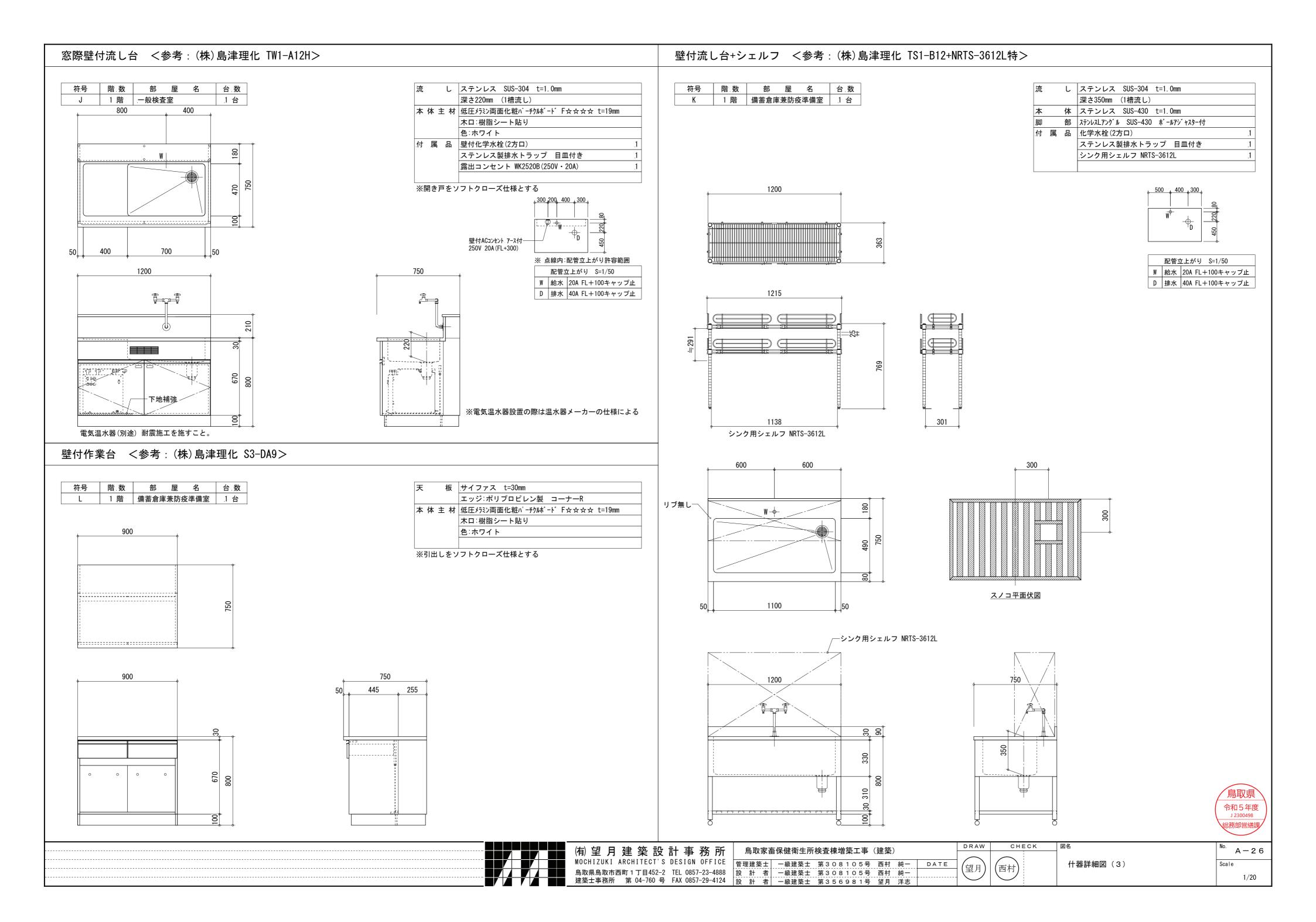


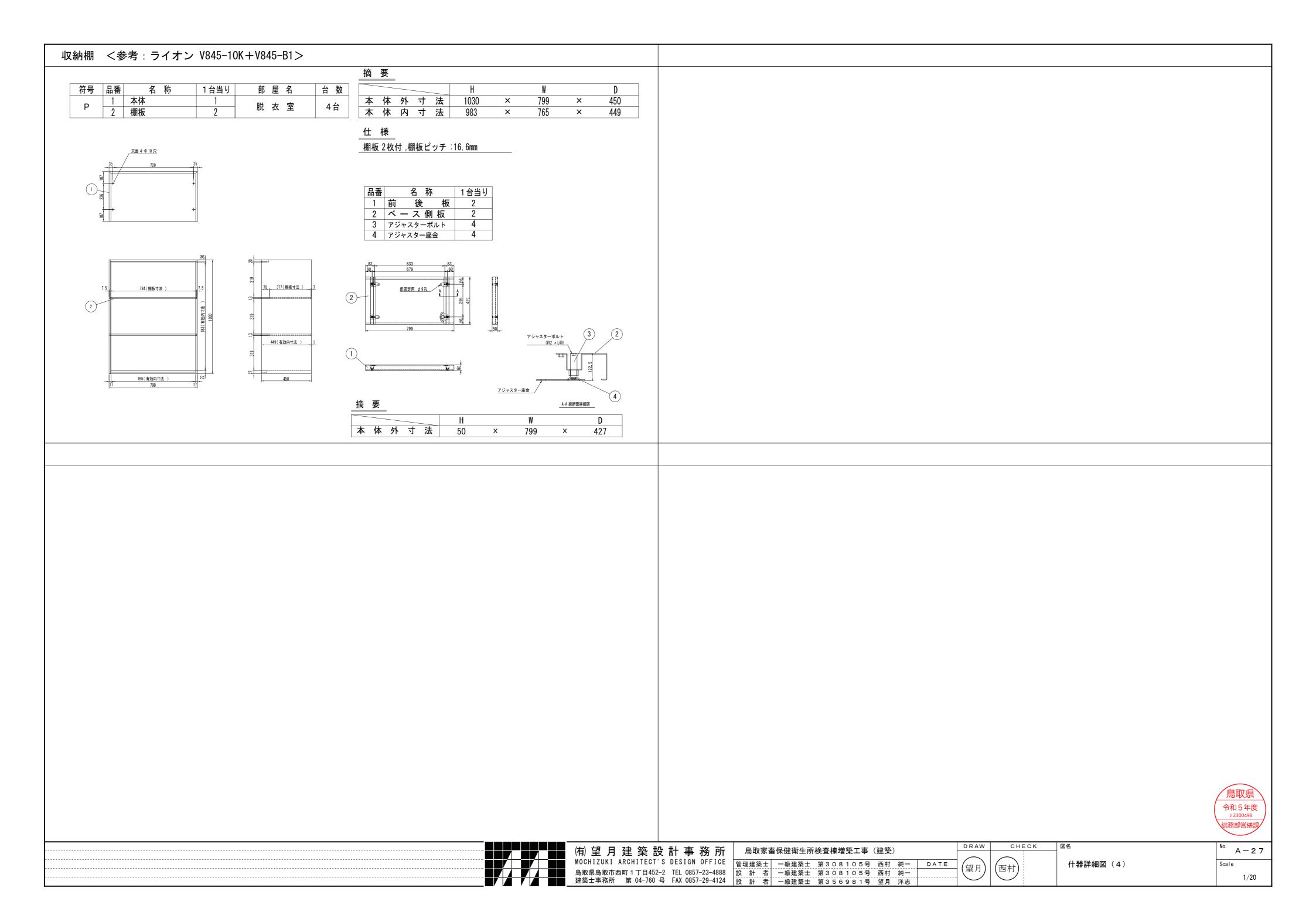
(西村) (望月)

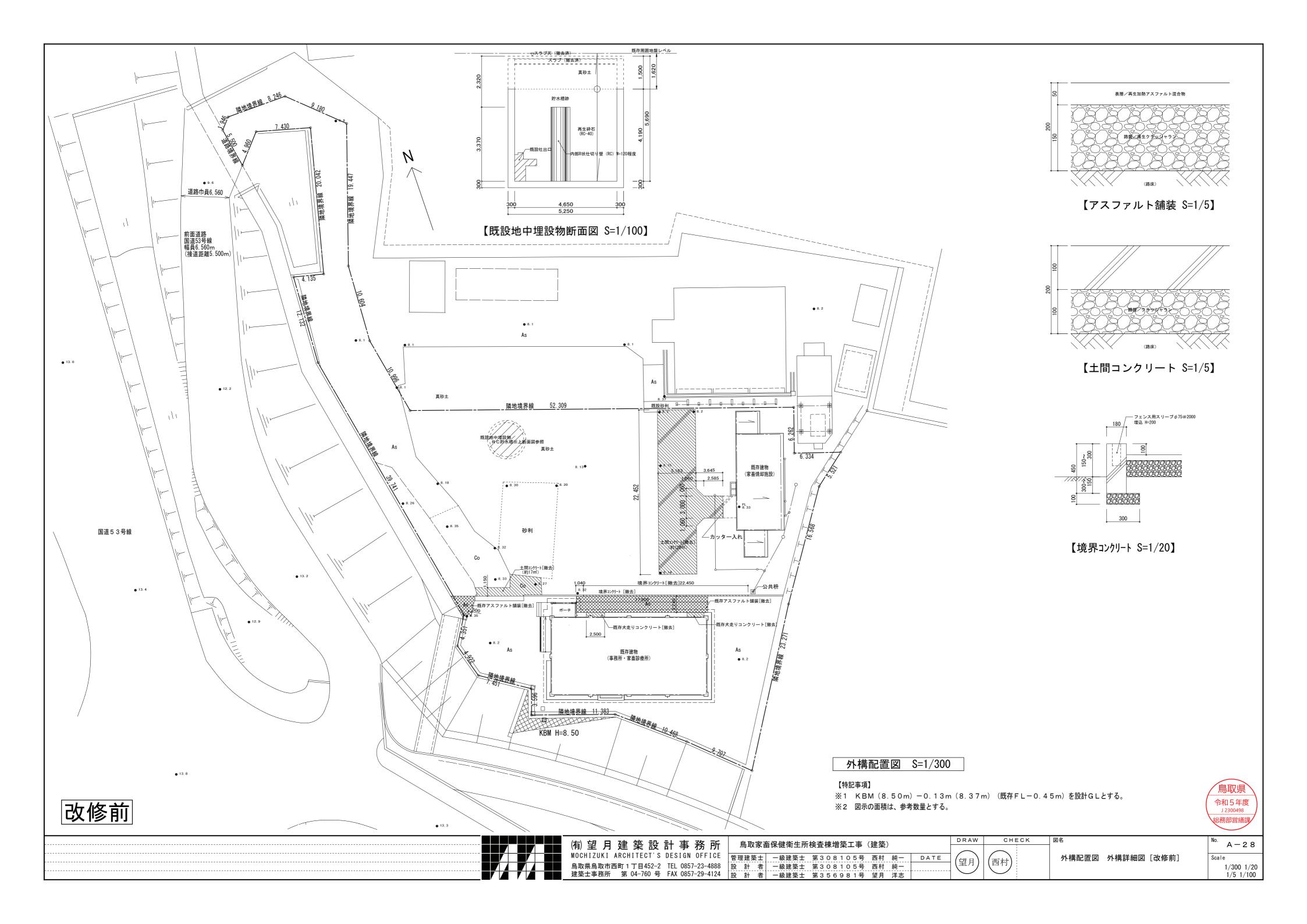
什器詳細図(1)

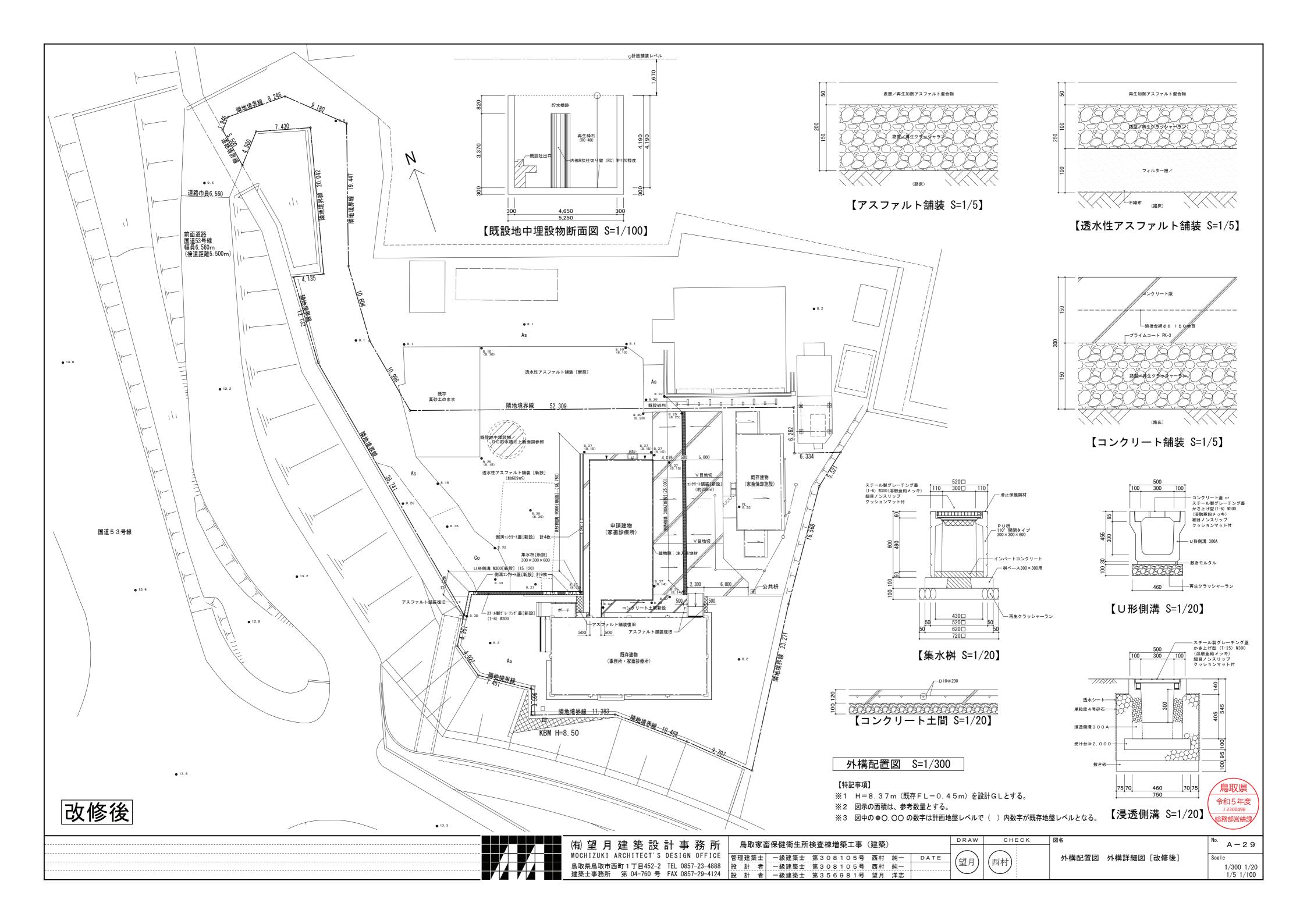
A - 24Scale

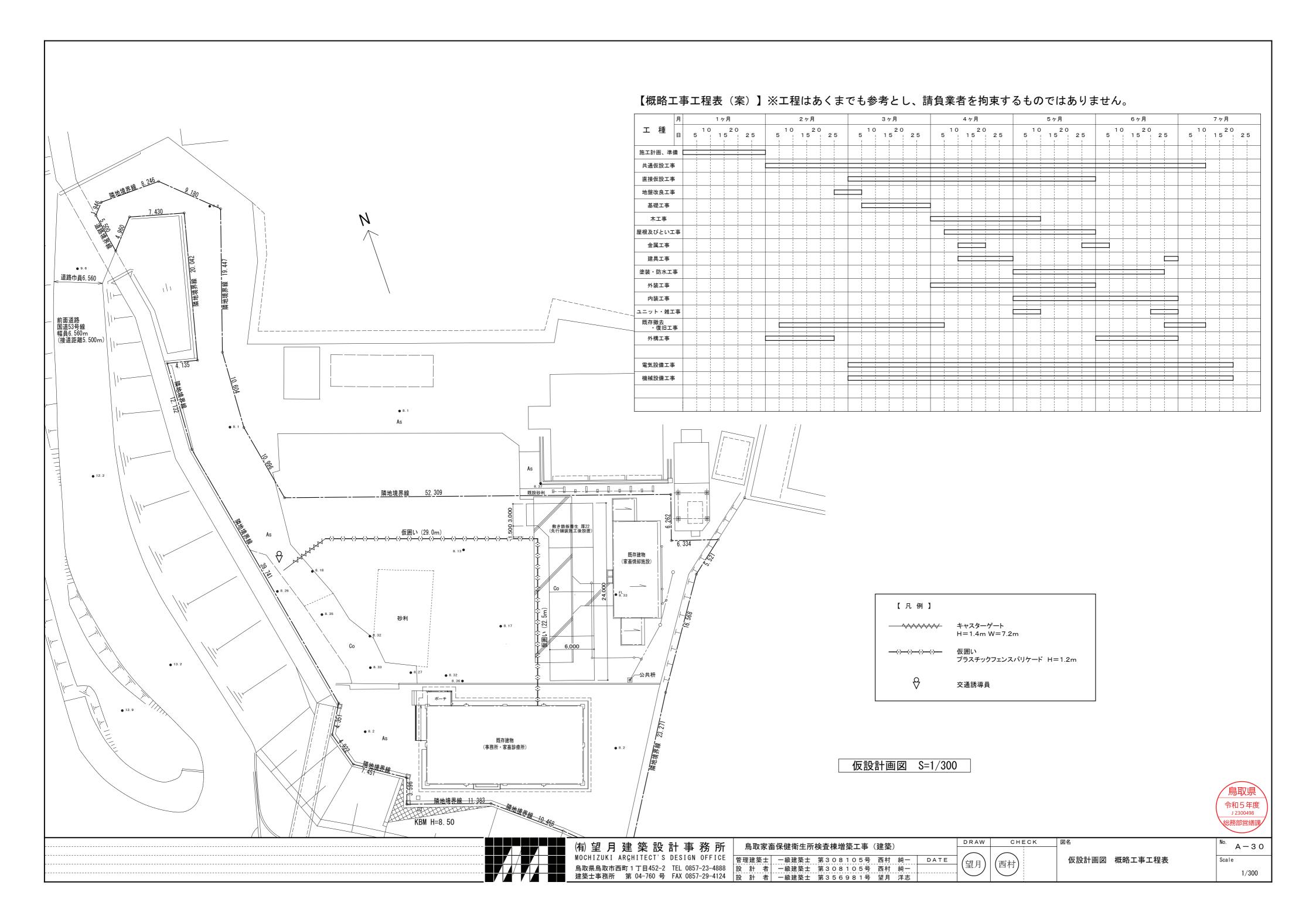












木造構造関係共通事項 (配筋標準図)

1 総則

- 1.1 適用範囲
- (1) 木造構造関係共通事項は構造関係の共通的事項と、配筋詳細図から構成される。
- (2) 配筋詳細図は鉄筋コンクリート部分における配筋の加工、組立等の一般的な標準図とする。

- (1) 設計図書間で配筋方法に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。
- 1. 特記仕様書
- --- 2-1 下記2-2以外の図面
- 2-2 木造構造関係共通事項(配筋標準図)

(1) 異形鉄筋の径(本文、図、表において「d」で示す)は、呼び名に用いた数値とする。

3. 国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」

(2)長さ、厚さ等の単位は、特記なき限り㎜とする。

1.4 記号 設計図中で使用する記号は、表1.1~表1.4を標準とする。

		表1.1 錺	特筋の断面表	示				
区分	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
建築	•	×	Ø	•	0	0	\otimes	0

	表1.2 各階伏図における記号		
記号	説明	記号	説明
S*	スラブ配筋種別	+	杭の位置
\Diamond	スラブ厚さ	-	試験杭の位置
\bigcirc	階段の配筋種別	7////	打増しの範囲
DO	土間コンクリート		スラブ開口
	コンクリートブロック壁(CB壁)	-	ボーリング位置
	梁・スラブの上がり下がりの範囲	(±)	FLからの上がり下がり
EWOO	耐力壁の種別		

		表1	1.3 梁	貫通孔記	号						
分	径 50 75 100 125 150 175 200 225 250 275 300									300	

	表1.	4 スリーブ材質の凡例		
管 名	鋼管	溶融亜鉛めっき鋼管	硬質塩化ビニル管 (薄肉管)	つば付き鋼管(黒管)
記号 (建築用)	SP (白管)	GA	VU	RS

2 鉄筋の加工

鉄筋の折曲げ内法直径及びその使用箇所は、表2.1を標準とする。

※建築用以外のスリーブ材質は各工事による。

表2.1 鉄路の坂曲げ肉は直径

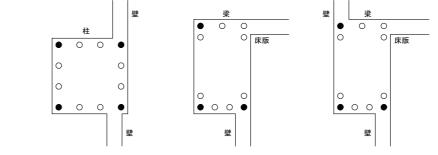
	10.2.	1 鉄筋の折曲げ内流	4E.I		
			折	曲げ内法直径(D)
折曲げ 角 度	折曲げ図 (余長)	鉄筋の種類	SD295、	SD345	SD390
		呼び名	D16以下	D 1 9	D 1 9
		1,01	2.0%1	~D38	~D38
180°		O Md以上			
135°	-8-				
9 0°	ರ%∷ =====	8 d ii. i	3 d以上	4 d 以上	5d以上
135° 及び 90°	4444 F	——— —8° ¤			
(幅止め筋)	-98	Z Z			

- (注) 1. 片持スラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合は、余長は4d以上
 - 2.90°未満の折曲げの内法直径は特記による。

3 異形鉄筋の末端部

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。

(1)柱の四隅にある主筋(図3.1の●)で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合 (2) 梁主筋の重ね継ぎ手が、梁の出隅及び下端の両端 (図3.1の●) にある場合 (基礎梁を除く)



- (3) 杭基礎のベース筋
- (4)帯筋、あばら筋及び幅止め筋

4 鉄筋の継手及び定着

(a)鉄筋の重ね継手

- (1) 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋径による。
- (2) 鉄筋の重ね継手の長さは、表4.1による。
- (3) 主筋及び耐力へ木の鉄筋の重ね継手の長さは、40 dと表4.1の重ね継手長さのうち大きい値とする。

表4.1 鉄筋の重ね継手の長さ

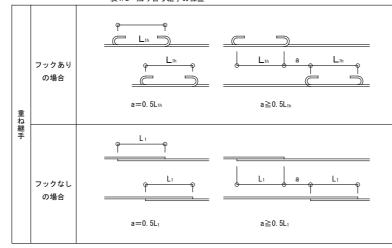
	コンクリートの		
鉄筋の 種 類	設計基準強度	Lı (フックなし)	Lih (フックあり)
性 規	Fc (N/mm2)		
	18	45d	35d
SD295	21	40d	30d
30290	24、27	35d	25d
	30、33、36	35d	25d
	18	50d	35d
00045	21	45d	30d
SD345	24、27	40d	30d
	30、33、36	35d	25d
	21	50d	35d
SD390	24、27	45d	35d
	30、33、36	40d	30d

- (注) 1. Li 、Lih : フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ。
- 2. フックありの場合のLm は、図4.1に示すようにフック部分 l を含まない。
- 3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

図4.1 フックありの場合の重ね継手の長さ

- (3) 建築基準法施行令第81条第1項(時刻歷応答解析計算)、第2項第一号(保有水平耐力計算、限界耐力計算、 エネルギー法)以外の計算による場合、主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手を設ける場合にあっては、フック のありなしにかかわらず40d以上とする。 (軽量骨材を使用する場合は50d以上)
- (4) 隣り合う継手の位置は、表4.2による。
- ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合は除く。

表4.2 隣り合う継手の位置

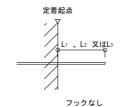


- (1) 鉄筋の定着長さは、表4.3及び図4.2による。
- (2) 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さは、40dと表4.3の定着長さのうち大きい値とする。

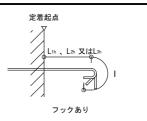
		表4.3	鉄筋	の定着の長	<u></u>
የተ የተ ጥ	コンクリートの			フック	ל ל
鉄肋の					

64 55 A	コングリートの	ノックなし				ノツク	ノめり			
鉄筋の 種 類	設計基準強度	Lı	L ₂	ı	_3	Lih	L _{2h}	L	L _{3h}	
俚規	Fc (N/mm2)	L1	L2	小梁	スラブ	Lih	L2h	小梁	スラブ	
	18	45d	40d			35d	30d			
SD295	21	40d	35d		10d	30d	25d			
SDZ95	24、27	35d	30d	20d	かつ	25d	20d			
	30、33、36	35d	30d		150mm	25d	20d			
	18	50d	40d		以上	35d	30d			
SD345	21	45d	35d			30d	25d	10d	-	
30340	24、27	40d	35d	(片持小梁	(片持スラプ	30d	25d			
	30、33、36	35d	30d	の場合は	の場合は	25d	20d			
	21	50d	40d	25d)	25d)	35d	30d			
SD380	24、27	45d	40d			35d	30d			
	30, 33, 36	40d	35d			30d	25d			

- (注) 1. L₁、L_{1h}: 2. 以外のフックなし直線定着の長さ及びフックあり直線定着の長さ。
- 2. Lz 、Lz :割裂破壊のおそれのない箇所へのフックなし直線定着の長さ及びフックあり直線定着の長さ。 3. L₃ : 小梁及びスラブの下端筋のフックなし直線定着の長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。
- 4. Lah :小梁の下端筋のフックあり直線定着の長さ。
- 5. フックあり直線定着の場合は、図4.2に示すようにフック部分 | を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
- 6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。



梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ



小梁及びスラブの上端筋の

梁内折曲げ定着の投影定着長さ

図4.2 直線定着の長さ

(2)梁主筋の柱内定着の方法又は、小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の方法は、図4.3に示すように、全長を表4.3に示すフックなし 直線定着の長さとし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを表4.4に示す長さ(かつ、梁主筋の柱内定着において は、柱せいの3/4倍以上)のみ込ませる。

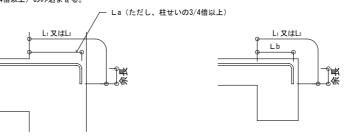


図4.3 定着の方法

	表4.4 鉄筋の投	影定着の長さ	
鉄筋の 種 類	コンクリートの 設計基準強度 Fc (N/mm2)	La	Lb
	18	20d	15d
SD295	21	15d	15d
30293	24、27	15d	15d
	30、33、36	15d	15d
	18	20d	20d
SD345	21	20d	20d
30343	24、27	20d	15d
	30、33、36	15d	15d
	21	20d	20d
SD390	24、27	20d	20d
	30、33、36	20d	15d
	かっけった サばっき の 机シウギ 目		

- 注) 1. La: 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ。
- (基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む。
- 2. Lb:小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ。 (片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。)
- 3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

5 鉄筋のかぶり及び間隔

- (a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表5.1による。
- ただし、柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

車5.1 針紋57パ溶控を網の是小かざけ厚さ (単位・mm)

表5.1 鉄筋及ひ溶接金網の最小かふり厚さ(単位:㎜)					
	構造部分の種別	最小かぶり厚さ			
	スラブ 仕上げあり			20	
	耐力壁以外の壁	仕.	上げなし	30	
土に接し			仕上げあり	30	
ない部分	柱、梁、耐力壁	屋内	仕上げなし	30	
	仕、栄、刪力堂		仕上げあり	30	
		屋外	仕上げなし	40	
	擁壁、耐圧スラブ			40	
土に接す	柱、梁、スラブ、壁			40	
る部分	基礎、擁壁、耐圧スラブ			60	
煙突等高熱を受ける部分				60	
(A) . = 5 ± 1 ± 7 . 5 0 1 - 1 = 1 = 1 + 1 1 1 = 1 + 1					

- (注) 1. この表は、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートんは適用しない。 また、塩害を受けるおそれのある部分等耐久性上不利な箇所には適用しない。
 - 2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ(仕上塗材、塗装等)
- 3. スラブ、壁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。 4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭天端からとする。
- (b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。
- (c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
- (d) 鉄筋相互のあきは図5.1により、次の値のうち最大のもの以上とする。ただし、機械式継手及び溶接継手の場合は、公共建築工事標準仕様書 5章5節及び6節による。
- (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
- (2) 25mm (3) 隣り合う鉄筋の平均径 (呼び名の数値) の1.5倍

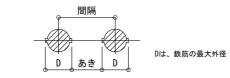


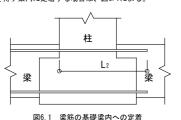
図5.1 鉄筋相互のあき

(a) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

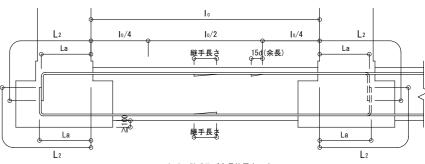
6 基礎及び基礎梁の配筋

6. 1 基礎梁主筋の継手、定着及び余長

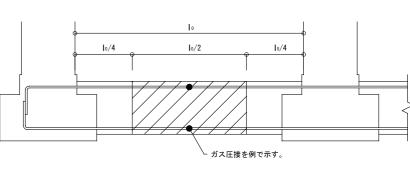
(1) 梁筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。 ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図6.1による。



(2)独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図6.2による。



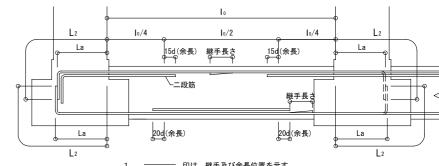
- ──── 印は、継手及び余長位置を示す。 2. 破線は、柱内定着の場合を示す。
- 3. Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。



: 継手の好ましい位置

図6.2 主筋の継手、定着及び余長(その1)

(3)独立基礎で、基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継ぎ手、定着及び余長は、図6.3による。ただし、耐圧スラブが付く場合は(d)による。



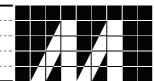
- 1. ===== 印は、継手及び余長位置を示す。
- 2. 破線は、柱内定着の場合を示す。 3. 梁主筋ののみ込み長さ(柱せいの3/4倍以上)

: 継手の好ましい位置

▲ ガス圧接を例で示す。

図6.2 主筋の継手、定着及び余長(その2)

J 2300498



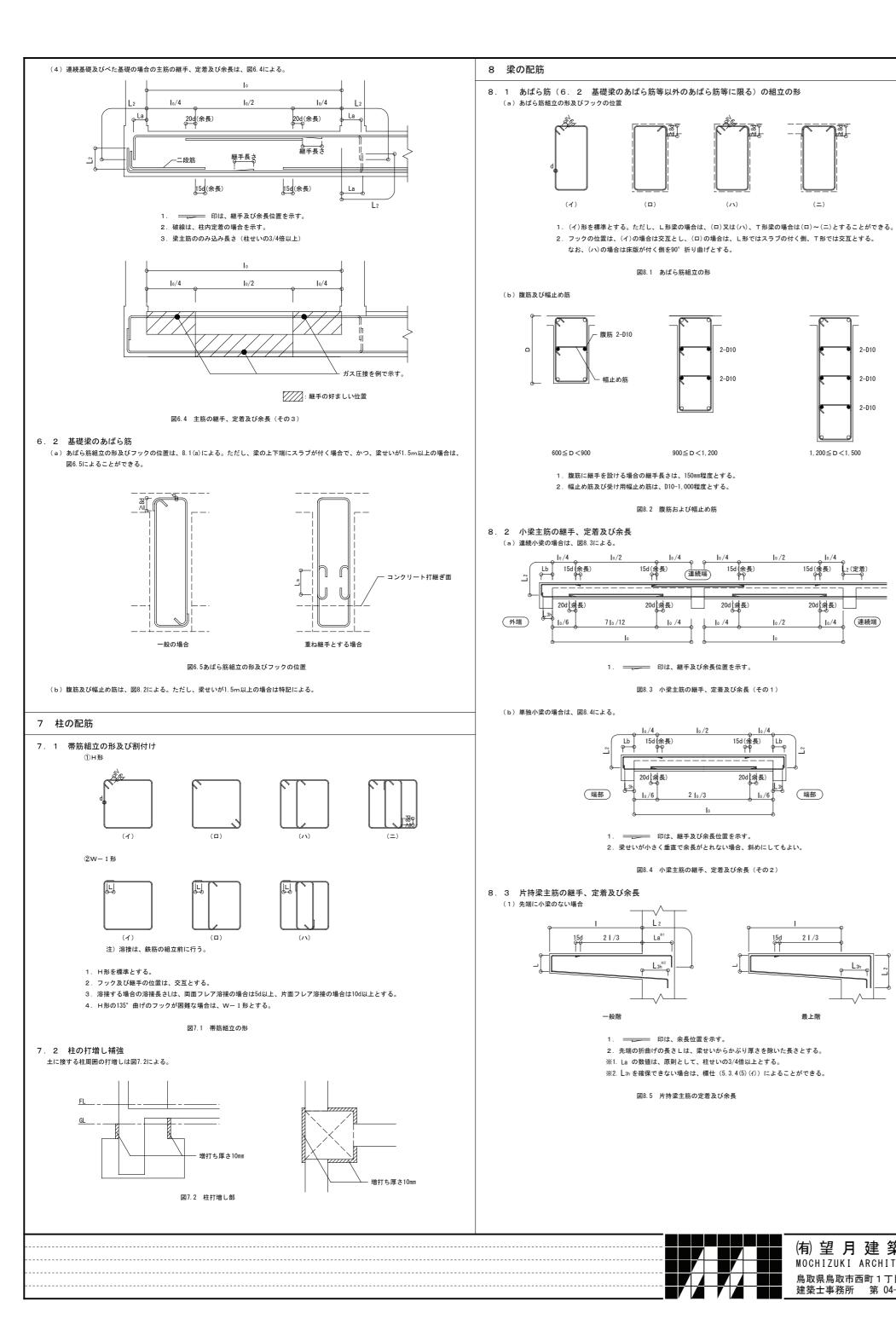
何望月建築設計事務所 鳥取県鳥取市西町1丁目452-2 TEL 0857-23-4888 建築士事務所 第 04-760号 FAX 0857-29-4124

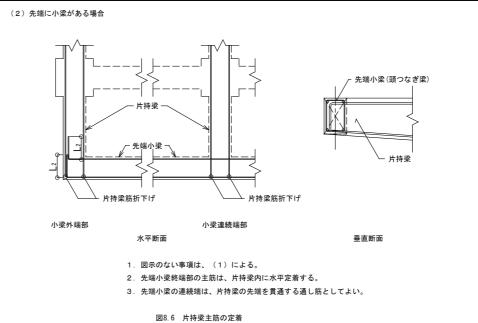
DRAW 鳥取家畜保健衛生所検査棟増築工事(建築) MOCHIZUKI ARCHITECT'S DESIGN OFFICE | 管理建築士 | 一級建築士 第308105号 西村 純一 | DATE (長谷川) (株) 友設計 一級建築士 第327195号 長谷川 信文

CHECK (西村)

木造構造関係共通事項(その1)

S - 0.1Scale





9 スラブの配筋

9. 1 スラブ開口部の補強

(1) スラブ開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13($|=2L_1$)シングルを上下筋の内側に配筋

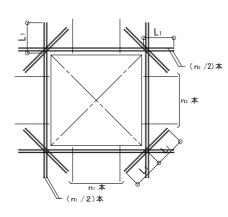


図9.1 スラブ開口部の補強配筋

(2) スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略 することができる。

9. 2 スラブの打継ぎ補強

(1) 土間スラブの打継ぎ補強(基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強)

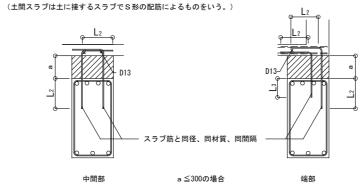


図9.2 打継ぎ補強配筋

(2) 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

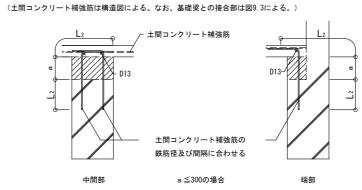


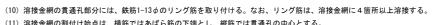
図9.3 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

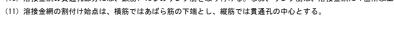
10.1 梁貫通孔の配筋

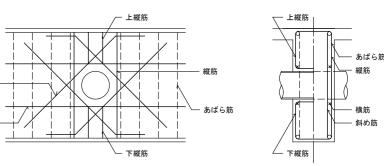
10 梁貫通孔その他の配筋

- (1) 梁貫通孔補強筋の名称等は、図10.1による。
- (2) 孔の径は、梁せいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とする。
- (3) 孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とし、梁中央部下端は梁下端よりD/3 (Dは梁せい) の範囲には設けてはならない。
- (4) 孔は、柱面から原則として、1.5D以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
- (5) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- (6)横筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
- (7)補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図10.2による。
- (8) 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、
- 補強を省略することができる。

(9) 溶接金網の余長は1格子以上とし、突き出しは10mm以上とする。







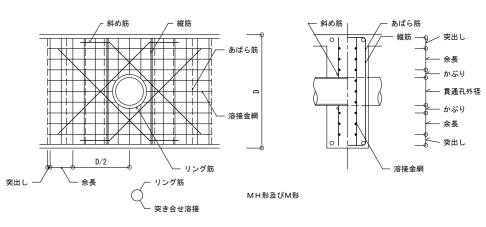


図10.1 梁貫通孔補強筋の名称等

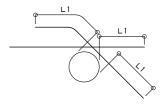


図10.2 補強筋の定着長さ

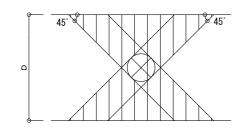


図10.3 他の開孔を設けない範囲

10.2 梁貫通孔の補強形式

(a) 梁貫通孔の補強形式は表10.1により、種別の適用、箇所数は構造図による。

				表10.1	H形配筋
配筋 種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縱筋	
н1	- 2-2-D13	なし	なし	なし	
Н2	2 2 013	2-2-D13	, a C	<i>4</i> 0	
н3	4-2-D13	- 2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
Н4	4-2-D16	2 2 010	2-2-D13	2 2 010	
Н5	4-2-D16				
Н6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
н7	4-2-D22				

- ― は、一般部分のあばら筋を示す。



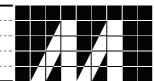


図8.1 あばら筋組立の形

 $900 \le D < 1,200$

図8.2 腹筋および幅止め筋

1. ===== 印は、継手及び余長位置を示す。

1. 甲二 印は、継手及び余長位置を示す。

1. ===== 印は、余長位置を示す。

2. 梁せいが小さく垂直で余長がとれない場合、斜めにしてもよい。

図8.4 小梁主筋の継手、定着及び余長(その2)

2. 先端の折曲げの長さLは、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。

※2. L_{3h}を確保できない場合は、標仕 (5.3.4(5)(4)) によることができる。

※1. La の数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

図8.5 片持梁主筋の定着及び余長

図8.3 小梁主筋の継手、定着及び余長(その1)

1, $200 \le D < 1$, 500

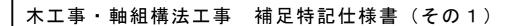
侑望月建築設計事務所 MOCHIZUKI ARCHITECT'S DESIGN OFFICE 管理建築士 鳥取県鳥取市西町 1 丁目452-2 TEL 0857-23-4888 設計者 建築士事務所 第 04-760 号 FAX 0857-29-4124

DRAW 鳥取家畜保健衛生所検査棟増築工事(建築) 一級建築士 第308105号 西村 純一 DATE (株) 友設計 一級建築士 第327195号 長谷川 信文

CHECK 長谷川 (西村)

木造構造関係共通事項(その2)

S - 0.2Scale



1. 一般事項

(1)適用範囲

本仕様書は、建築物及び工作物の構造上主要な部分における木質構造工事に適用する。

(2) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出

工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。

工事に先立ち各種の施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。

プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。

設計図書に基づき、工場の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有する工場を選定し、監督職員の承諾を受ける。 (5) 各種試験・検査報告書の提出

施工者は、各種工事の試験、検査結果ならびに施工記録を提出する。

(6) 構法の変更

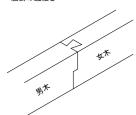
図示以外の構法が適当と判断される場合は、監督職員の承諾を受けて、構法の変更を行うこと。

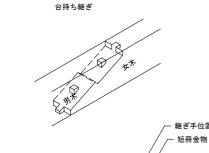
2. 軸組構法接合部の標準仕様

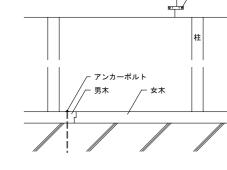
(1) 横架材同士の継手

1. 曲げ応力や引張り力を負担しない継手:腰掛け蟻継ぎ せん断力が大きい場合は台持ち継ぎとする。 長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。 逆せん断力と引張の補強として短冊金物等を併用すること。 柱からの持ち出し位置は、連続梁の長期荷重の反曲点付近とする。

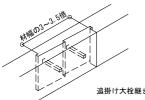


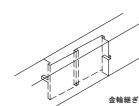


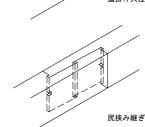


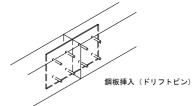


2. 曲げ応力や引張り力を負担する継手 追掛け大栓・金輪・尻狭み継ぎ、鋼板挿入ドリフトピン接合 伝達できるMやTは母材全断面の2割以下と考えること。









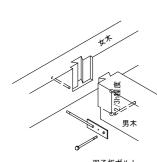
(2) 柱の継手

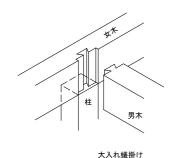
伝達できるMやTは母材全断面2割以下と考えること。 やむを得ず柱の継手を設ける場合は、曲げと軸力による複合応力の検定を行い安全性を確認する。

(3) 横架材同士の仕口

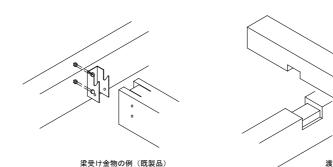
1. せん断力が母材全断面の3割以下の仕口: (大入れ) 蟻掛け 長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。 逆せん断力と引張の補強として羽子板ボルト等を併用する。 男木の梁せいが女木の2/3以下の場合か、仕口直下に柱がある場合には、大入れとしてもよいが、

そうでない場合は、男木のせいの2/3程度の顎をかける。



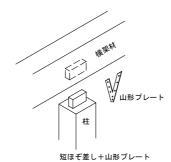


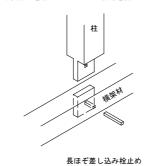
2. せん断力が母材全断面の3割を超える仕口:梁受け金物 既製品の場合は金物メーカーの許容せん断力の値を用い、特注品の場合は構造計算で許容せん断力を算出して安全性を確認すること。 3. 一方を片持ち梁とする場合:レベル差を設け渡り顎掛け 逆せん断の補強として羽子板ボルト等を併用すること。



(4) 柱と横架材の仕口

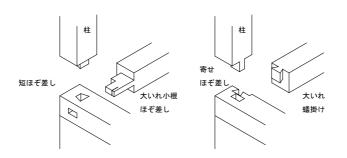
1. 柱の上下端部:短ほぞ差し、長ほぞ差し込み栓止め 短期引張力に対しては、平12建告1460号、N値計算または応力度計算により、必要耐力を有するZマーク金物等を併用すること。





2. 土台の出隅入墨部

土台同士は大入れ小屋ほぞ差し割りくさび締め、大いれ蟻掛け又は片蟻掛け 柱脚部は扇ほぞ差し又は寄せほぞ差し(ただし、柱勝ちの場合、落とし蟻または土台を寄せほぞ差しとする。) 短期引張力に対しては、平12建告1460号、N値計算または応力度計算により、必要耐力を有するZマーク金物等を併用すること。 落とし蟻の場合は、HD金物を用いる。



3. 通し柱と胴差し:小胴付きほぞ差し、傾ぎ大いれほぞ差し、梁受け金物 梁受け金物以外の仕口には、引張りの補強として短冊金物やかね折り金物等を併用すること。



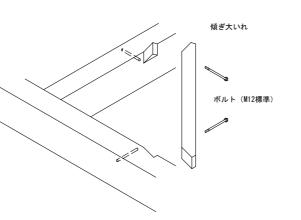


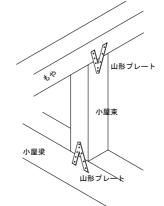
平12建告1460号の例示仕様または同等品とする。

(6) 火打ち、方杖 角材を用いる場合の端部は、傾ぎ大いれ+ボルト締めとする。 Zマーク鋼製火打ち又は同等品としてもよい。

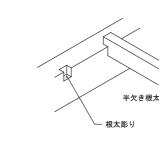


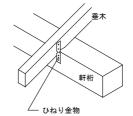
(7) 小屋束の上下端部 短ほぞ差し又は長ほぞ差し込み栓止めとする。 風圧力による引張力の補強として、山形プレート金物同等以上で固定する。



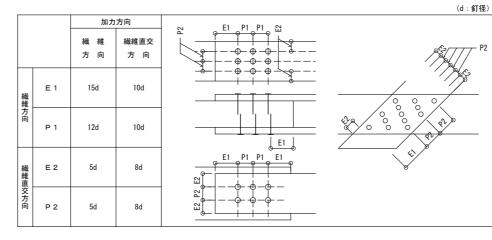


(8) 根太、垂木と横架材 落とし込み根太:横架材に大いれ又は根太掛け+斜め釘 半欠き根太:横架材に大いれ腰掛け+斜め釘 転ばし根太:根太が正角断面の場合、横架材に脳天釘止め 根太が縦長角断面の場合、斜め釘2本止め 垂木:横架材に垂木道を掘り、転ばし根太と同様に止める。 風の負圧の補強:許容応力度計算により必要耐力を有するひねり金物等を取り付ける。

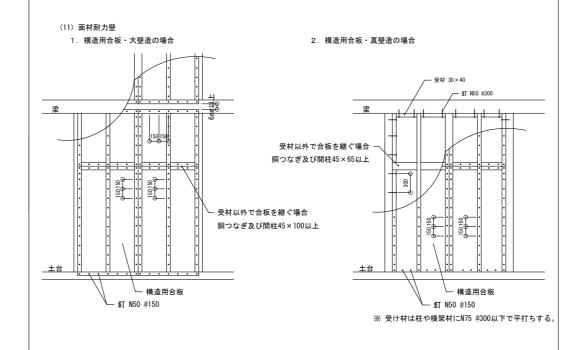


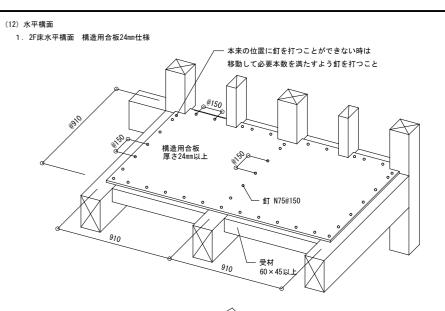


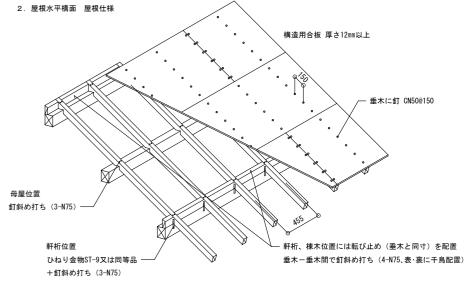
上下横架材に深さ3mm程度大いれ+釘N75斜め釘上部ほぞ差し、下部突き付け+釘N75斜め釘



(d:ボルト径、t:主材厚) (10) ボルトの最小間隔及び最小端あき距離 繊維直交方向 7d (荷重負担側) 4d (荷重非負担側) 2≦t/d<6 t/d>6 1.5d 特記による。特記のない t/d>6 1.5dかつP2/2 場合は以下の数値とする。 4d (荷重負担側) 1.5d (荷重非負担側) P 2



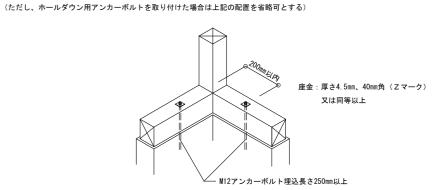




(13) 柱頭・柱脚

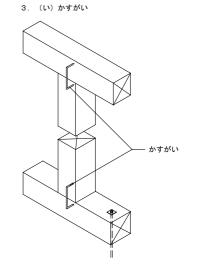
1. 土台用アンカーボルト

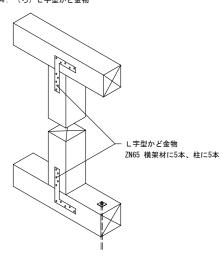
M12アンカーボルトは@2,000以内に配置、基礎への埋込長さは250mm以上とする。 耐力壁の部分は、その両端の柱の下部にそれぞれ200mm以内の位置に配置すること。



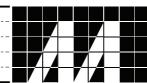
2. アンカーボルトの保持、埋込み工法 · A種 · B種 M12アンカーボルトは@2,000以内に配置、基礎への埋込長さは250mm以上とする。

4. (ろ) L字型かど金物





令和5年度 総務部営繕課



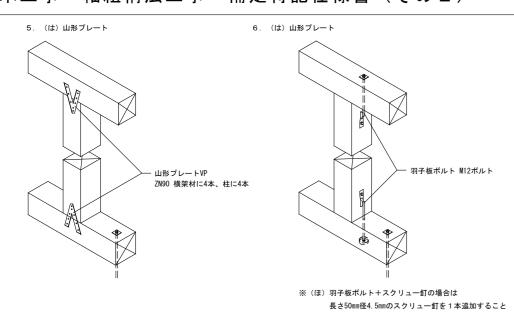
侑望月建築設計事務所 MOCHIZUKI ARCHITECT'S DESIGN OFFICE 鳥取県鳥取市西町1丁目452-2 TEL 0857-23-4888 建築士事務所 第 04-760 号 FAX 0857-29-4124

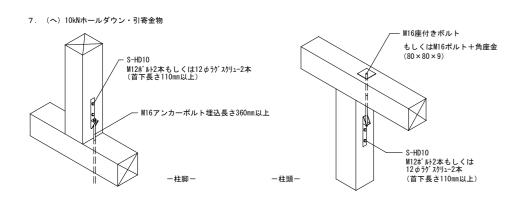
DRAW 鳥取家畜保健衛生所検査棟増築工事(建築) 管理建築士 一級建築士 第308105号 西村 純一 DATE 長谷川 (株) 友設計 一級建築士 第327195号 長谷川 信文

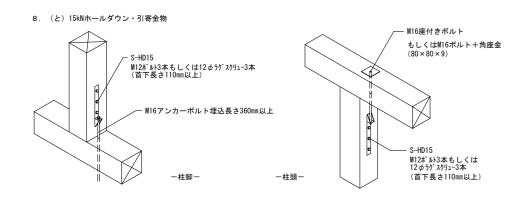
CHECK 木工事・軸組構法工事 補足特記仕様書(その1) (西村)

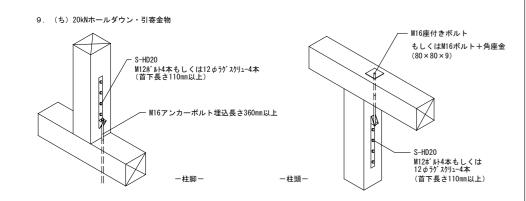
S - 0.3Scale

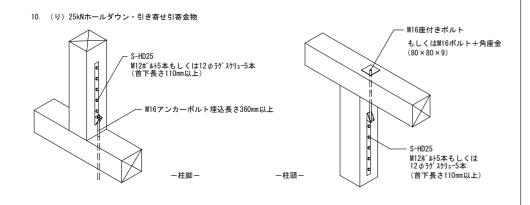
木工事・軸組構法工事 補足特記仕様書(その2)











- (14)筋かい端部の仕口
- ・ 筋かいの種類に応じた接合方法
 - (1) 厚さ30mm以上、幅90mm以上の木材による筋かい
 - 筋かいプレートBPを、筋かいに対して角根平頭ボルトM12締め及び太め釘3-ZN65平打ち、柱に対して太め釘3-ZN65平打ち、横架材に 対して太め釘4-ZN65平打ち

(5.4.2)

- (2) 厚さ45mm以上、幅90mm以上の木材による筋かい
- 筋かいプレートBP-2を、筋交いに対して角根平頭ボルトM12締め及びスクリュー釘7-ZS50平打ち、柱及び横架材に対してそれぞれス
- (3) 厚さ90mm以上、幅90mm以上の木材による筋かいは図示による

・ 耐力壁となる軸組の柱と横架材の仕口

クリュ**ー**釘5-ZS50平打ち

・ 軸組の種類及び柱の位置に応じた仕口の工法は下表による

		平屋部又は	最上階の柱		その他の柱	
	柱の位置	出隅の柱	その他の軸	上階及び当	上階の柱が	上階及び
			組端部の柱	該階の柱が	出隅であり、	該階の柱が
				共に出隅の	当該階の柱	共に出隅の
軸組の種類				柱の場合	が出隅の柱	柱でない
					でない場合	合
厚さ30mm以上	筋かいの下部	(7)	(15)			
幅90mm以上の	が取り付く柱	(ろ)	((1))	(1-)	(7)	(1.)
木材の筋かい	その他の柱	(1-)	(7)	(IC)	(ろ)	(い)
を入れた軸組		(15)	(ろ)			
厚さ45mm以上	筋かいの下部	(7)				
幅90mm以上の	が取り付く柱	(ろ)	(7)	(1)	(I‡)	(3)
木材の筋かい	その他の柱	(17)	(ろ)	(٤)		
を入れた軸組		(ほ)				
右に掲げる面	構造用合板特					
材を大壁造の	類、厚さ7.5					
面材耐力壁又	mm以上					
は真壁造の面	パーティクル					
材耐力壁によ	ボード(曲げ	(ほ)	(ろ)	(ち)	(~)	(は)
る方法で打ち	強さの区分が					
付けた壁を設	8タイプ以外)					
けた軸組	厚さ12mm以上					
	構造用パネル					
厚さ30mm以上幅	190mm以上の					
木材の筋かいを	たすき掛け	(٤)	(は)	(4)	(と)	(15)
に入れた軸組						
厚さ45mm以上幅	190mm以上の					
木材の筋かいを	たすき掛け	(٤)	(12)	(ぬ)	(ち)	(と)
に入れた軸組						

記 号	仕 口 の 工 法				
(い)	短ほぞ差し、かすがいC120若しくはC150打ち又はこれらと同等以上の接合方法としたもの				
(5)	長ほぞ差し込み栓打ち若しくはかど金物CP·Lを、柱及び横架材に対してそれぞれ太め釘5-Z				
(5)	を平打ちしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの				
	かど金物CP·Tを用い、柱及び横架材にそれぞれ太め釘5-ZN65を平打ちしたもの若しくは山田				
(は)	プレートVPを用い、柱及び横架材にそれぞれ太め釘4-ZN90を平打ちしたもの又はこれらと同				
	以上の接合方法としたもの				
	羽子板ボルトSB·F又はSB·E2を用い、柱に対して六角ボルトM12締め、横架材に対して角座金				
(12)	W4.5×40を介してナット締めしたもの若しくは短ざく金物Sを用い、上下階の連続する柱に				
	してそれぞれ六角ボルトM12締めとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの				
	羽子板ボルトSB·F又はSB·Eを用い、柱に対して六角ボルトM12締め及びスクリュー釘ZS50打				
(ほ)	横架材に対して角座金W4.5×40を介してナット締めしたもの又は短ざく金物Sを用い、上下				
(12)	の連続する柱に対してそれぞれ六角ボルトM12締め及びスクリュー釘ZS50打ちとしたもの又				
	これらと同等以上の接合方法としたもの				
	引き寄せ金物HD-B10又はS-HD10を用い、柱に対して六角ボルト2-M12、横架材、布基礎若し				
(~)	は上下階が連続する柱に対して当該引き寄せ金物に留め付けた座金付きボルトM16W(布基礎				
(1)	対してはアンカーボルトM16) を介して緊結したもの又はこれらと同等以上の接合方法とし				
	もの				
	引き寄せ金物HD-B15又はS-HD15を用い、柱に対して六角ボルト3-M12、横架材(土台を除く				
(と)	布基礎若しくは上下階が連続する柱に対して当該引き寄せ金物に留め付けた六角ボルトM16				
(2)	(布基礎に対してはアンカーボルトM16)を介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合				
	法としたもの				
	引き寄せ金物HD-B20又はS-HD20を用い、柱に対して六角ボルト4-M12、横架材(土台を除く				
(ち)	布基礎若しくは上下階が連続する柱に対して当該引き寄せ金物に留め付けた六角ボルトM16				
(-5)	(布基礎に対してはアンカーボルトM16)を介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合				
	法としたもの				
	引き寄せ金物HD-B25又はS-HD25を用い、柱に対して六角ボルト5-M12、横架材(土台を除く				
(IJ)	布基礎若しくは上下階が連続する柱に対して当該引き寄せ金物に留め付けた六角ボルトM16				
(9)	(布基礎に対してはアンカーボルトM16)を介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合				
	法としたもの				

・ 耐力壁でない軸組柱と横架材の仕口

- ・ 柱の上下端とも短ほぞ差しとし、山形プレートVPを当て太め釘8-ZN90を打ち
- · 柱の上下端とも短ほぞ差しとし、かど金物CP·L又はCP·Tを当て太め釘10-ZN65打ち

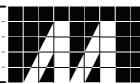
(ぬ) (と) に掲げる仕口を2組用いたもの

- ・ 柱の上下端とも長ほぞ差しとし、込み栓打ち
- ・ 柱の上下端とも短ほぞ差しとし、ひら金物SM-12を当て太め釘4-ZN65打ち ・ 柱の上下端とも短ほぞ差しとし、かすがいC120又はC150打ち

隅柱と土台の仕口

- ・ 扇ほぞ差し又は短ほぞ差しとし、かど金物CP·Lを当て太め釘10-ZN65打ち
- 長ほぞ差しとし、込み栓打ち
- ・ 柱の上下端とも長ほぞ差しとし、込み栓打ち
- ・ 扇ほぞ差し又は短ほぞ差しとし、かすがいC120又はC150打ち
- · 扇ほぞ差し又は短ほぞ差しとし、引き寄せ金物HD-B10又はS-HD10を用いて緊結 ・ 土台小口と隅柱との取り合いを落としありとする場合は、かど金物CP·L又はCP·Tを両面に当て太め釘20-ZN65打ち

令和5年度 J 2300498



侑望月建築設計事務所 鳥取県鳥取市西町 1 丁目452-2 TEL 0857-23-4888 設計者 建築士事務所 第 04-760 号 FAX 0857-29-4124

DRAW 鳥取家畜保健衛生所検査棟増築工事(建築) MOCHIZUKI ARCHITECT'S DESIGN OFFICE 管理建築士 一級建築士 第308105号 西村 純一 DATE (長谷川) (株) 友設計 一級建築士 第327195号 長谷川 信文

CHECK 木工事・軸組構法工事 補足特記仕様書(その2)

(西村)

S - 04Scale

地盤改良特記仕様書(各認定工法の仕様に変更可能)

1. 工事概要

本地業は、スラリー状のセメント系固化材(以下、固化材液と称す)を地盤に注入しながら、

共回り防止翼を装着した撹拌装置を用いて、原地盤土と機械的に撹拌混合し、固化材の固化反応により所要の強度を持つ改良柱体(以下、コラムと称す)を築造 するものである。

2. 一般事項

本工事は、本特記仕様書によるほか「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」(日本建築センター、ベターリビング)および「建築工事 標準仕様書・同解説 JASS 4 杭・地業および基礎工事」(日本建築学会)による。

3. 特記事項

- (1) コラムの径、掘削深度(設計コラム長+空掘長)、本数配置等は設計図書による。ただし、コラムの径・長さ・本数・位置及び固化材液の配合等について 土質や地盤状況により変更した方が適切だと判断される場合は、監督員の承認の下に変更することができる。
- (2) コラムの設計基準強度はFc = 900 kN/m2 (0.90 N/mm2) とする。
- (3) 設計の要求する性能を確保するため、適切な配合管理および品質検査を実施する。

4. 施工計画

- (1) 本工事施工業者は、各工法の施工技術に精通したものとする。
- (2) 施工計画書
 - 工事に先立ち、施工計画書を監督員に提出する。施工計画書は、次の事項を明記する。

・本数・設計基準強度〕

- - (1) 工事件名及び工事場所
 - ② コラム仕様及び数量〔コラム径・掘削深度(設計コラム長+空掘長) ⑧ 施工管理(立会い、管理項目、施工記録)
 - 9 品質検査
 - ③ 工事期間及び工程
 - (4) 工事の組織(建築請負業者の本工事責任者、コラム施工業者名
 - 及び責任者、各種作業の主たる従事者)
 - (5) 施工手順

- (11) 地盤概要 (土質柱状図)

7) 固化材配合条件

(12) コラム伏図

(10) 安全衛生対策

(13) 技術審査証明書(写)

6 施工機器

5. 施工

- (1) 作業地盤は、施工機械が傾斜・転倒しないよう養生する。
- (2) 基本的な施工手順を以下に示す。施工の障害になる事項が出現した場合は、別途検討する。
 - a. 撹拌混合装置をコラム心に合わせる。
 - b. 固化材液を吐出せずに、空掘部を所定の深度まで掘進する。
 - c. 固化材液を吐出しながら掘進・撹拌混合する。
 - d. 注入掘進工程が終了したら、固化材液の吐出を停止し先端部の練り返しを行う。
 - e. 先端部練り返し工程が終了したら、撹拌軸を逆回転し引き上げ撹拌混合する。
- (3) 設計図書に示された支持地盤に着底する長さを実施コラム長とする。
- (4) 本工事により排出される発生残土は場内処分とする。

6. 施工機械

- (1) 共回り現象を防止する機構を有し、固化材液と原位置土を確実に撹拌混合できる撹拌装置を用いること。
- (2) 所定の施工管理項目を計測、記録できる管理装置を用いること。
- (3) 改良機本体は本工事の施工仕様を満足させる施工制御機器を装備したもので、自走式とする。
- (4) ミキシングプラントは、所定吐出量を十分供給できるものとする。

7. 配合管理

- (1) 固化材液に使用する改良材は、セメント系固化材とする。
- (2) 配合強度

変動係数を25%と想定し、9項に規定する抜取ヶ所数N、合格確率80%とした下表を用いて設定する。

N	1	2	3	4~6	7~8	9~
α	2. 163	1. 918	1. 815	1. 719	1. 651	1. 594
$X f = \alpha \times F$	-c [α:	割り増し係	数、Xf:西	记合強度]		

(3) 計画配合仕様

水·固化材比: W/C= 60 %

固化材添加量: αn= 300 kg/m3 (改良対象土1m3あたり)

配合仕様(固化材液の水・固化材比、固化材添加量)は、室内配合試験の結果に基づき、現場室内強度比を考慮し、配合強度を満足するように決定する。 あるいは正確に土質を把握し、かつその土質に対する既存データがある場合は、その結果を用いて配合仕様を決定する。よって、計画配合仕様の変更も有り得る。 本工事における配合試験対象土は「粘性土」とする。

8. 施工管理

- (1) 施工の安定性を確保するため以下に示す項目について施工管理する。
 - (1) 形状·寸法 : 鉛直性

コラム心 掘削深度

コラム径

(2) 固化材 : 材料計量

固化材液の密度

添加量

- ③ 撹拌混合度 : 撹拌混合回数
- 4) 支持地盤 : 仕事量(掘削抵抗値)
- (2) コラムの芯ズレ

コラムの芯ズレが許容値を超えた場合は、監督員(監理者)と協議し、設計検討により応力照査を行った上、安全であると判断した場合、合格とする。

(3) 施工の立会い

建築工事の請負者は、本地業責任者(請負業者の中から選定)及び施工責任者を定め、両者は本地業の施工中は立合うものとする。

9. 品質検査

- (1) 検査対象群、検査対象層及び調査ヶ所数
 - (1) 検査対象群は概ねコラム300本を1単位とする。土層毎に検査対象層を決めるが、最小層厚を0.5mとする。
 - であり、設計対象層を 粘性土 と仮定する。

設計対象層の平均強度は他の検査対象層の平均強度を超えないこと。

超えている場合は、最も低い平均強度の層を設計対象層とする。

③ 調査ヶ所数

頭部コア調査 1 ヶ所 モールドコアによる調査とする。

深度コア調査 4 ヶ所 モールドコアによる調査とする。

(2) コア採取率による調査

深度コア調査の内、検査対象群に1ヶ所の割合でボーリングによりオールコアサンプリングを行い、コア採取率を調査する。 コア採取率が、全長に対して粘性土層90%、砂質土層95%以上、かつ深さ1m毎に粘性土層85%、砂質土層90%以上であることを確認する。

- (3) 合否の判定
 - (1) 設計対象層についての抜取ヶ所数をNとする。1抜取ヶ所当り3個のコア供試体を採取し、その平均強度をその抜取ヶ所の強度とする。
 - (2) 一軸圧縮強度は公的機関あるいは検査員立会いの下に行うものとする。
 - ③ 検査手法は検査手法 A (品質のバラツキを想定する場合の検査手法)による。
 - (4) 検査手法Aによる品質検査

合否の判定は検査対象層におけるNヶ所(抜取ヶ所)の一軸圧縮試験結果が下式を満足すれば合格とする。

- $\overline{X}N \ge XL = Fc + ka \cdot \sigma d$
- XN: Nヶ所の一軸圧縮強度の平均値(N/mm2, kN/m2)
- XL:合格判定値(N/mm2,kN/m2)
- Fc:設計基準強度(N/mm2, kN/m2)
- ka:合格判定係数
- σd: 想定したコア強度の標準偏差(N/mm2,kN/m2)であり、σd = Vd·qud

Vd:変動係数、品質確認書により想定する _ qud : 想定した平均一軸圧縮強さ(N/mm2, kN/m2)/

抜取ヶ所数N	1	2	3	4~6	7~8	9~
合格判定係数ka	1. 9	1.7	1. 6	1. 5	1.4	1.3

10. 報告

工事完了後、次の事項について施工報告書をまとめ、監督員に提出する。

- ① コラム伏図及び番号 ⑤ 固化材の配合と使用量 ⑥ コア圧縮強度試験結果 ② コラムの施工日 ③ コラムの径及び改良長 ⑦ 合格判定結果
- ④ 掘削深度

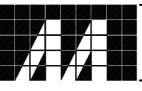
11. その他

施工にあたっては、セメント系固化材等を使用した改良土の六価クロム溶出試験を実施し、環境庁告示46号の土壌環境基準値(検液1Lにつき0.05mg)以下で

試験方法は、平成13年4月20日付国官技第16号国営建第1号「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領(案)の一部変更に ついて」による。

試験方法及び試験の個数:配合設計の段階で実施する環境庁告示46号溶出試験、 1 検体





鳥取県鳥取市西町 1 丁目452-2 TEL 0857-23-4888 [設計 者 (株) 友設計

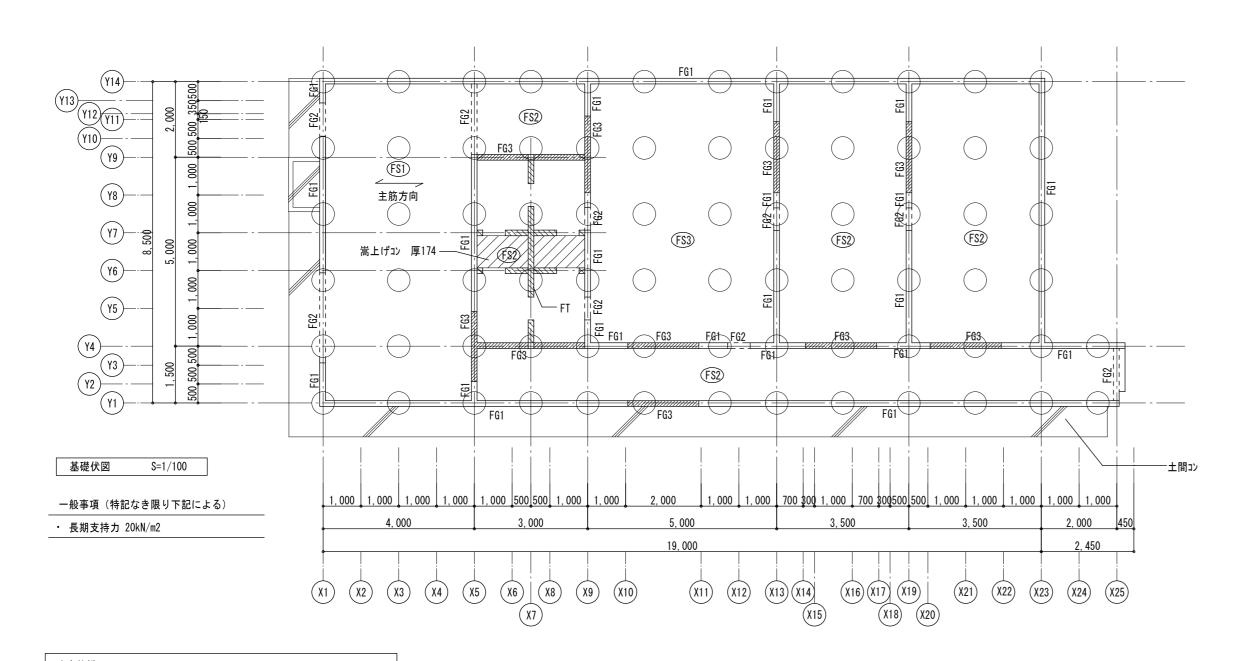
鳥取家畜保健衛生所検査棟増築工事(建築) 管理建築士 一級建築士 第308105号 西村 純一 DATE

一級建築士 第327195号 長谷川 信文

DRAW CHECK 長谷川) (西村)

地盤改良特記仕様書

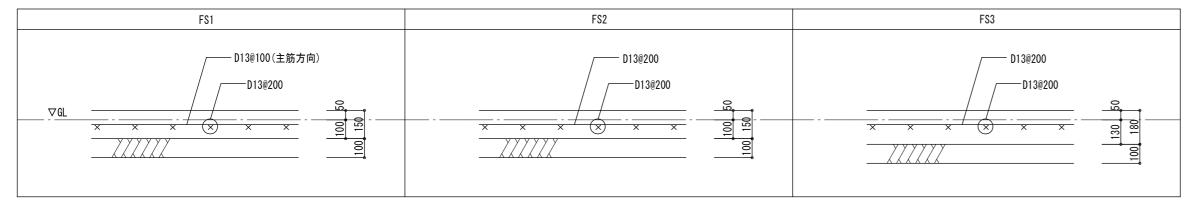
S - 0.5Scale

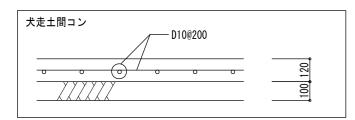


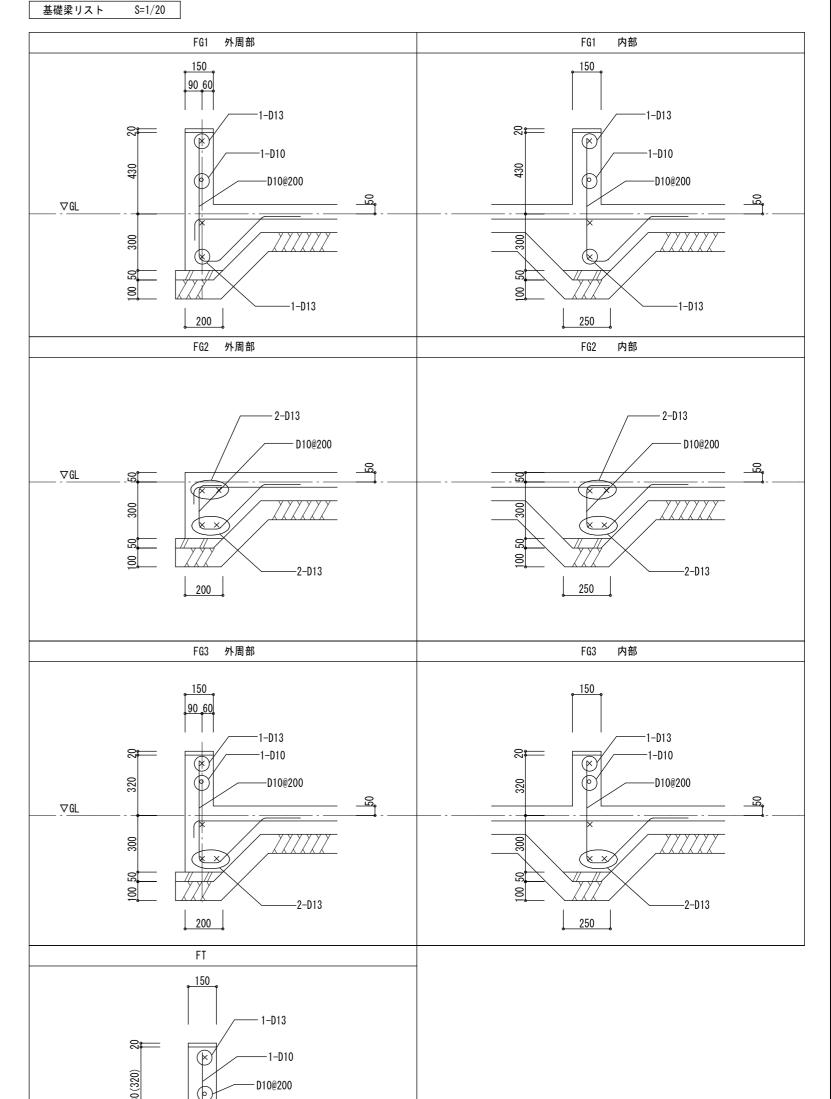
改良仕様
図中 は、柱状改良杭 600 Φ を表す。 @2,000以内 74セット
改良深さはGL-2.0mとする
改良体天端はGL-450mm 改良上の地盤は十分に転圧すること

基礎構造使用材料		
コンクリート	土間コン	Fc=21N/mm2
	基礎	Fc=24N/mm2
鉄筋	SD295	

耐圧盤リスト S=1/20







 (有) 望月建築設計事務所
 鳥取家畜保健衛生所検査棟増築工事(建築)

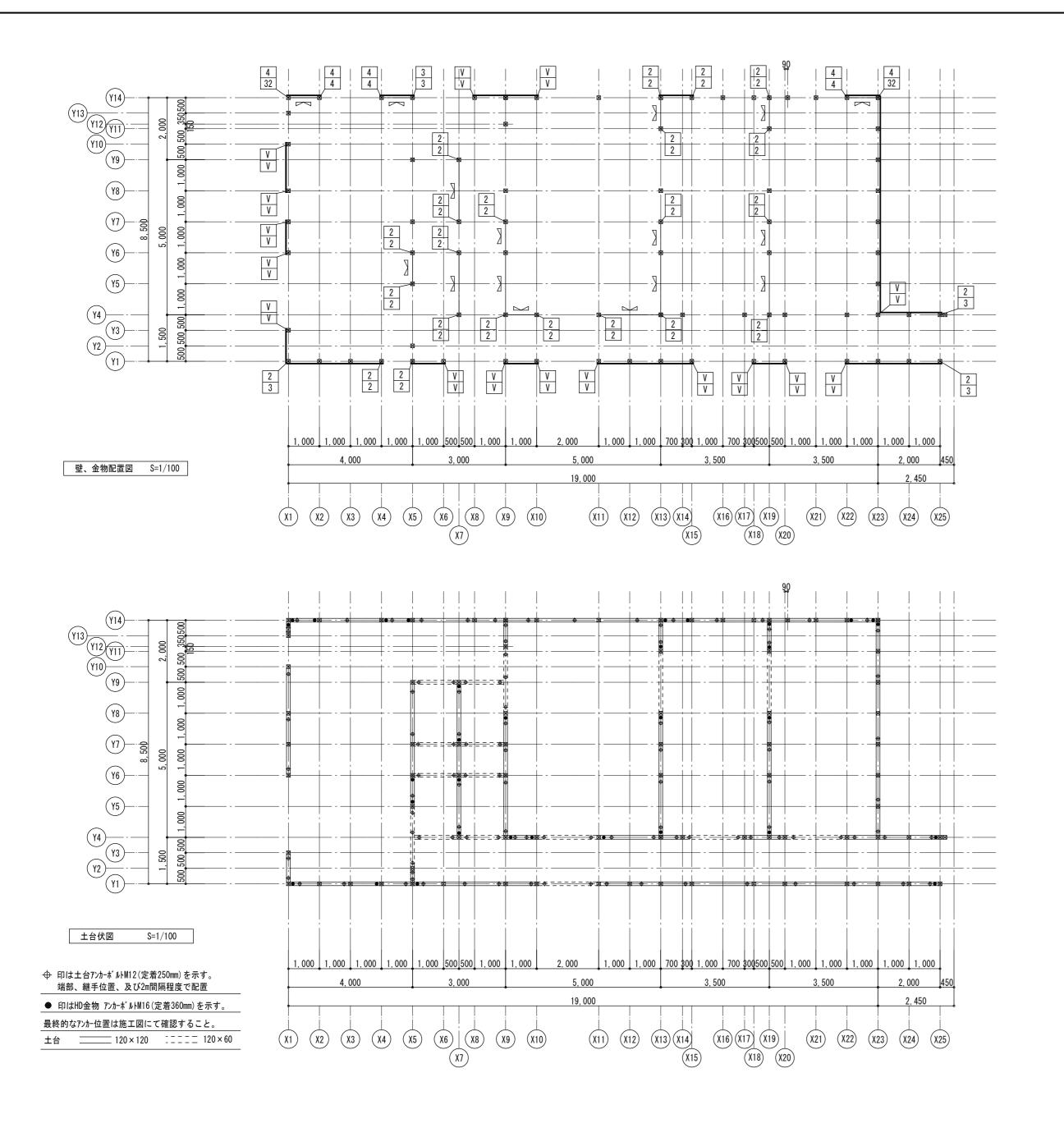
 MOCHIZUKI ARCHITECT'S DESIGN OFFICE 鳥取県鳥取市西町 1 丁目452-2 TEL 0857-23-4888 建築士事務所 第 04-760 号 FAX 0857-29-4124
 高取家畜保健衛生所検査棟増築工事(建築)

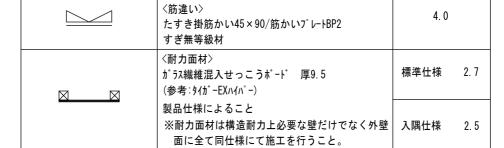
 高取県鳥取市西町 1 丁目452-2 TEL 0857-23-4888 建築士事務所 第 04-760 号 FAX 0857-29-4124
 一級建築士 第 3 2 7 1 9 5 号 長谷川 信文

DRAW CHECK (長谷川) (西村)

S - 06Scale 1/100,1/20

鳥取県 令和5年度 J 2300498 総務部営繕課





接合部凡例	表記以上の金物を使用すること	
15 H HP7 LP3	表記無し柱は全て CP-T 以上とする	
記号	仕様	倍率
L	CP-T	0. 65
V	山型プレート	1. 00
2	10KN用引き寄せ金物	1. 80
3	15KN用引き寄せ金物	2. 80
4	20KN用引き寄せ金物	3. 70
32	15KN用引き寄せ金物×2	5. 60

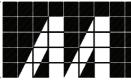
凡例

耐力壁

	15 6 4/	
	柱頭金物	
	柱脚金物	

倍率

鳥取県 令和5年度 J 2300498 総務部営繕課



 (有) 望月 建築 設計 事 務 所
 鳥取家畜保健衛生所

 MOCHIZUKI ARCHITECT'S DESIGN OFFICE
 管理建築士 - 級建築士

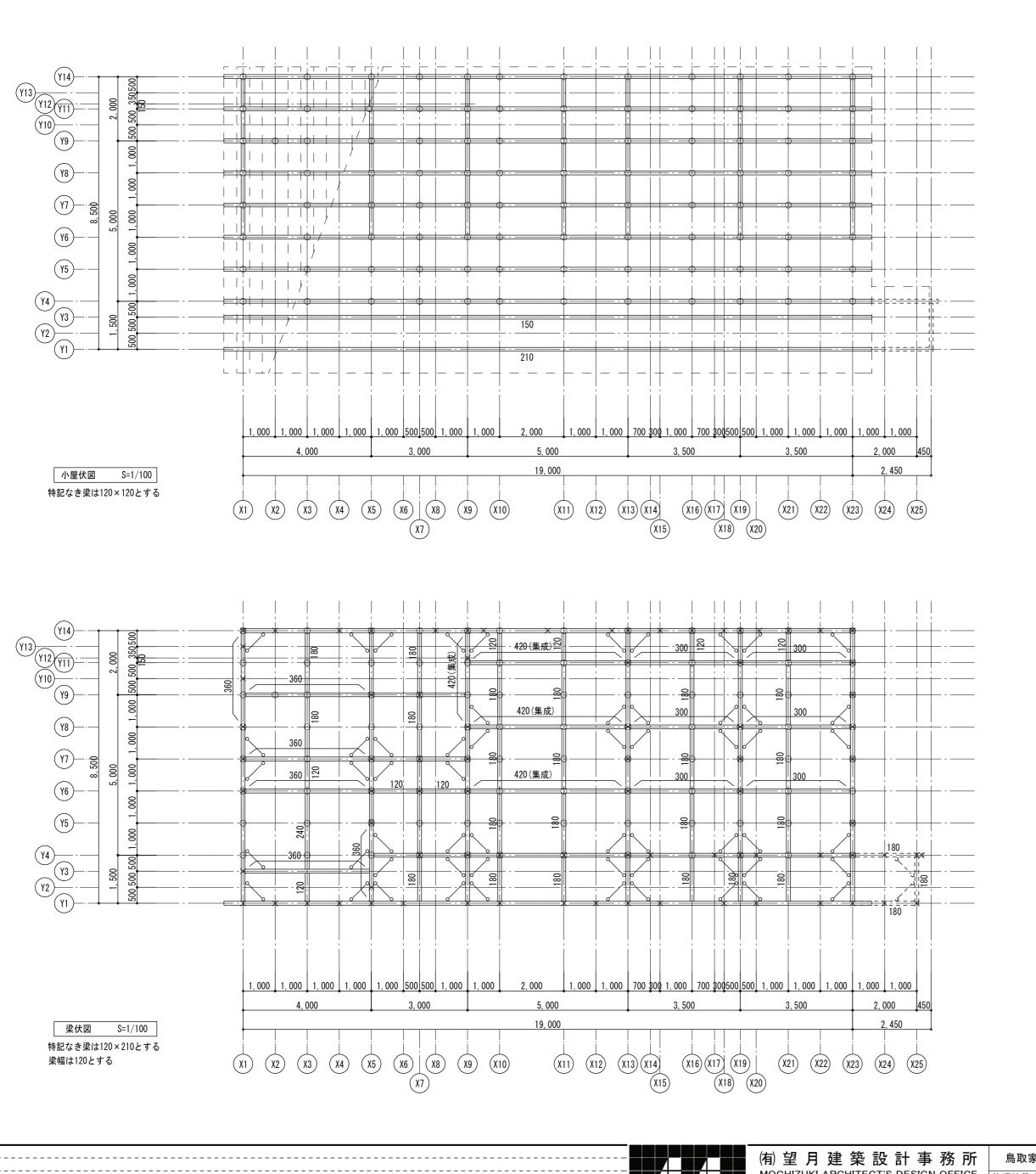
 鳥取県鳥取市西町 1 丁目452-2 TEL 0857-23-4888
 設計 者(株) 友設計

 建築士事務所 第 04-760 号 FAX 0857-29-4124
 一級建築士

BAW CHECK 西村

構造伏図(1)

No. S - 0 7



 (有) 望月建築設計事務所
 鳥取家畜保健衛生所検査棟増築工事(建築)

 MOCHIZUKI ARCHITECT'S DESIGN OFFICE
 管理建築士 - 一級建築士 第308105号 西村 純一 DATE

 鳥取県鳥取市西町1丁目452-2 TEL 0857-23-4888
 設計者 (株) 友設計

 建築士事務所 第04-760号 FAX 0857-29-4124
 一級建築士 第327195号 長谷川 信文

ひのき (加圧注入 防腐処理)

ST-9 以上

転び止め付

すぎ かすがい2本打ち

すぎ かすがい2本打ち

構造用合板

(軒及び継目部分)

集成材はE105F300

すぎ

すぎ

すぎ

□ 図名 □ 構造伏図(2)

 \boxtimes

 \bigcirc

 120×120

小屋束

下階柱

小屋筋違 15×90(2-N50) すぎ

構造用製材の機械等級区分はE50とする

加圧注入材及び105角未満の部材は除く

│天井吊受け材│ 90×90 すぎ @1,000 以下

仕口は大入り蟻掛け、羽子板ボルト以上とする

|継手は腰掛け蟻継ぎ+短ざく金物以上とする

火打ち 90×90 すぎ

No. S - 0 8
Scale
1/100

局取県 令和5年度 J 2300498 総務部営繕課

 凡例(特記なき限り下記とする)

 土台
 120×120 120×60

 120×120

 30×120

120 × 120

120 × 120

t=12

120 (梁巾) ×

60×75 @400以下 すぎ

柱

梁

間柱

小屋束

母屋

屋根面

使 用 垂木 材

